



年 報

2020（令和2）年度

Annual Report 2020

Niigata Agro-Food University

はじめに

新潟食料農業大学学長 渡辺好明

この度、新潟食料農業大学の「年報第3号」を取りまとめました。

新潟食料農業大学は開学から3年が経過し、令和3年4月には1年生から4年生までのすべての学年が揃い、大学としての完成年度を迎えます。これまで、学生・教職員は互いに力を合わせ、また地域社会の期待に応えながら、建学の理念と精神に沿った教育・研究に邁進してきました。

ここに実績の一端を報告し、広く一般社会にその成果を問いたいと存じます。これまでを振り返ることは、本学の現在地を確認し、将来への展望を明らかにすることにつながります。同時に、ご批判をいただくことで、自らが新しくなり前進することができると思えるからです。

さて、2020年度（令和2年度）は、「新型コロナウイルス感染症」パンデミックの下で、前期の諸行事は中止、授業もオンラインでの実施を強いられ、学生、教職員には多くの活動・行動に制限をお願いすることとなりました。慎重な感染予防対策を講じることで、後期からはようやく対面での授業が再開・継続できる環境を整備することができ、制約の多い状況ではありましたが、知恵と工夫と熱意でこれを乗り越える取り組みを実践してきました。こうした背景を考慮に入れて2020年度の成果をご覧いただき、ご批判も仰ぎたいと存じます。

教育・研究面では、科学研究費をはじめとする各種の研究助成費の獲得、企業・団体ならびに地方公共団体との連携推進、インドネシアなど海外の大学との連携協定締結への調整、そして大学付属の研究機関として「新潟食料健康研究機構」の発足に取り組んでまいりました。学生の活動に目を向けると、自らが栽培したイタリア野菜を使った料理の試食会、地域の農産物のブランド化に向けたプロジェクト活動などが展開され、スポーツの面でも、指定強化部である自転車競技部、柔道部、男子ラグビー部が顕著な成績を残しました。また、第1期生の卒業・就職に向け、キャリアセンターが中心となり、就職先の開拓およびきめ細かい就職支援活動を推進し、卒業生が“食のジェネラリスト”としてさまざまなフィールドで活躍することが期待されます。

年報の役割には、教職員の自己チェックへの有効活用もあります。縦割りになりがちだと言われるコースの壁を越え、積極的に共同しながら教育・研究に臨んでいるかを振り返り、自己点検することで、今後の教育・研究への自信と更なる努力にもつながります。また、他の教員の業績を知ることで、自らのポジションを確認することも可能です。

時代は、大きな転換点を迎えてつつあります。これからは、地域・流域・環境・循環などが大きくクローズアップされるでしょう。これまでの実績を基に、さらにステップを進め、「変えてはならないことと変えなければならないことをしっかり見極めて」改革に取り組むのです。

これまでの教育・研究活動が、一過性ではなく蓄積され、歴史の中で評価されつつ発展する過程の中で、この年報が大いに活用されることを期待します。

目 次

はじめに

1. 大学の基本理念	
1) 基本理念	1
2) 教育内容の特色等	1
(1) 食・農・ビジネスを一体的に学ぶ	1
(2) サイエンス・テクノロジー・ビジネスを三位一体に学ぶ	2
(3) 課題の解決に前向きに取り組む人材を育成する	2
(4) 実社会に直結する研究開発	3
2. 沿革	4
3. 組織	
1) 組織図	5
2) 役職者	6
(1) 新潟食料農業大学	6
3) 教員数(2020年5月1日現在)	6
(1) 教員数	6
(2) コース別教員数	6
4. 学年暦	7
5. 管理運営	
1) 総務会	20
(1) 学則・規程について	20
(2) 制度・組織・人事・業績・評価について	20
(3) 教育について	20
(4) 学生について	21
(5) 研究について	21
(6) 学生募集・入学選考試験について	21
(7) 国際交流について	21
(8) 社会連携について	21
(9) その他	21
2) 教授会	21
(1) 学則・規程について	22
(2) 制度・組織・人事・業績・評価について	22
(3) 教育について	22
(4) 学生について	22
(5) 研究について	23
(6) 学生募集・入学選考試験について	23

(7) 国際交流について	23
(8) 社会連携について	23
(9) その他	23
3) 各種委員会活動	23
(1) 将来計画機構運営委員会	23
(2) 人権委員会	24
(3) 遺伝子組換え実験安全委員会	24
(4) 社会連携推進委員会	24
(5) 図書・情報委員会	25
(6) 自己点検・評価委員会	26
(7) ヒトを対象とする研究に関する倫理委員会	26
(8) 教務委員会	26
(9) 学生委員会	29
(10) 入試・広報委員会	30
(11) FD・SD委員会	31
(12) 国際交流委員会	32
(13) 環境整備委員会	33
6. 大学の公開と広報	
1) 講演会等	34
2) 広報活動	34
(1) 大学広報誌の発行	34
(2) 各種広報物の作成	34
(3) ホームページの管理・運営	34
(4) オープンキャンパスの実施	34
(5) 進路相談会等への参加	34
(6) 高校教諭対象大学説明会の実施	35
(7) メディア広報	35
(8) その他	35
7. 研究活動	
1) 食料産業学部	36
(1) 食料産業学科	36
2) 学長裁量研究費, 学長特別研究費	70
(1) 学長裁量研究費採択一覧表	70
(2) 学長特別研究費採択一覧表	70
3) 外部資金の獲得	71
(1) 文部科学省((独)日本学術振興会)科学研究費助成事業採択一覧表	71
(2) 厚生労働省科学研究費補助金採択一覧表	71
(3) その他の外部資金獲得一覧表	71

(4) 新潟県内国公立大学の科学研究費助成事業配分額一覧 (2020年度).....	72
8. 図書館	
1) 蔵書数.....	73
2) 年間受入冊数.....	73
3) 利用状況.....	73
(1) 開館日数.....	73
(2) 開館時間.....	73
(3) 入館人数.....	73
(4) 貸出冊数.....	73
4) データ推移.....	73
(1) 蔵書データ.....	73
(2) 利用データ.....	73
9. 学生関係	
1) 収容定員.....	74
2) 入試広報活動.....	74
(1) オープンキャンパス等の開催.....	74
(2) 進学相談会.....	75
(3) 高校ガイダンス・高校出張講義.....	75
3) 入学者選抜方法.....	75
(1) 食料産業学部 食料産業学科.....	75
4) 入学者選抜試験結果.....	75
(1) 1年次入学者選抜試験結果.....	75
(2) 3年次編入学選抜試験結果.....	75
5) 在籍学生数 (2021年3月31日現在).....	76
(1) 学部.....	76
6) 異動学生数 (2021年3月31日現在).....	76
(1) 学部.....	76
7) 学生生活.....	76
(1) 学生生活に関する指導.....	76
(2) オリエンテーション.....	76
(3) 健康診断.....	79
(4) 心理相談.....	79
(5) 奨学金制度 (2021年3月31日現在).....	79
(6) 学友会.....	80
(7) 大学祭.....	80
(8) クラブ活動.....	80
(9) 学生表彰.....	80

1. 大学の基本理念

1) 基本理念

新潟食料農業大学の基本理念は下記である。

『地域社会と国際社会の発展に寄与し、地球規模での課題解決も志向しながら、新しい食料・農業界をリードする人材育成および研究開発を行う。』

新潟食料農業大学は「食の総合大学」を目指す高等教育機関であり、地域経済の基盤である「農」、人々の健康を支える「食」、新たな食料産業を創造する「ビジネス」を一体的に教育・研究し、新しい食料・農業界をリードする人材を育成し、この分野における先端的な研究開発を行うことを基本としている。

【参考】

設置認可申請書「大学設置の趣旨」（2016年10月提出）

いま、人の健康を支える「食」と、日本の地域経済の基盤である「農」の新たな進む道を示すためには、食料・農業分野において個性ある発展を遂げてきた地域である新潟に、地域社会と国際社会の発展に寄与し、地球規模での課題解決も志向しながら、新しい食料・農業界をリードする人材育成および研究開発を担う高等教育機関の設置が必要不可欠と考える。また、本学の設置は、地方創生の時代における地域の主産業である食と農に関する知識・技術の中核形成を目指すものであり、さらには、地方からの発信、地方からの改革に繋がる次代に向けた地域活性化の重要な拠点として位置づけられる。（中略）「食」と「農」を一体的に教育する高等機関として、「新潟食料農業大学」を設置することとした。

建学の精神

「自由、多様、創造」

自己規律に裏打ちされた「自由 (Liberty)」のもと、他者の考え方や行動を尊重する「多様性 (Diversity)」と、常に好奇心をもって取り組む「創造力 (Creativity)」を育む。

大学の目的

生命、環境、社会を科学する力と、食と農に関する広い知識と技術を総合的に身につけ、課題の解決に前向きに取り組む人材を育成するとともに、実社会に直結する研究開発を通じて地域と国際社会の発展に貢献する。

人材育成方針

建学の精神に基づき、食と農に関する広い知識と技術を総合的に身につけ、新しい価値を創出し、地域の活性化や国際社会の発展に寄与できる人材を育成する。

2) 教育内容の特色等

新しい食料・農業界をリードする人材育成および研究開発を行うために、従来にはない新しい教育内容を含むカリキュラム体系の構築が必要であり、本学では、以下のような特色ある内容の教育を実施している。

(1) 食・農・ビジネスを一体的に学ぶ

食と農に関する広い知識と技術を総合的に身につけるためには、食・農・ビジネスを一体的に学ぶことが必要である。

従来の大学では、大学の役割は各分野の専門家、またはその卵を育てることであり、関連分野を含めて広い知識をもつジェネラリストへと育てるのは企業に任せるといった考え方が一般的であった。しかし、いま、企業や社会が求めているものは、即戦力人材である。食と農の分野で求められている即戦力

人材は、“高度の専門性を持った食のジェネラリスト”である。これは、食・農・ビジネスを一体的に教育することによって育成できる。

食・農・ビジネスの一体的教育は以下の3点に留意して実施されている。すなわち、食料産業を支えるフードチェーンの総理解、マーケットインの発想、現場での体験である。

①フードチェーンの総理解

生産地で作られた生産物は、加工、流通、販売を経て食卓へと届けられるが、生産・加工・流通・販売の各段階は、別々に存在するのではなく、一連の流れとして強い繋がりを持って存在している。フードチェーンと呼ばれるこの繋がりを総合的に理解することが不可欠である。

②マーケットインの発想

フードチェーンの駆動力は、“ものを作り売ること”，それを加速するのは，“マーケット（消費者・市場）のニーズ”である。

マーケットのニーズや消費者・市場の声を重視したものの作りをマーケットインとよぶが、マーケットインの発想に基づいた生産、加工、流通、販売を総合的に学ぶことによって、食のジェネラリストが育成される。

③現場で学ぶ

実社会で活躍するには現場を知らなければならない。とくに食料産業は地域と密着した産業である。山・平野・川・海などの地勢、気温、風、雨、土壌、水、交通など地域の特性に合わせて農産物などの生産が行われ、地域特性に合った製造・加工が行われる。また、地域の特性に合わせて流通・販売の形態が決まる。

本大学では、入学直後の田植えから始めて、地域の朝市への出店、地域住民との意見交換、地域活性化の提案、企業見学など、生産・加工・流通・販売の現場に入り、現場を体験する。これらにより、フードチェーンを形成する基盤である地域や現場に直接触れて理解を深める。また、起業家や現場の専門家を招聘しての講義やディスカッションを通じて、生産や流通・販売の現場の今を学ぶ。

(2) サイエンス・テクノロジー・ビジネスを三位一体に学ぶ

食や農に関わる分野で活躍するためには、食物のほとんどは生命によって生み出されていることを常に意識し、生き物がどのように生まれ、どのように育ったかを理解する必要がある。生命に加え、環境、社会を“科学する力”を身につけるために、サイエンスは必須である。

生物を育て、生産物を加工・保蔵・流通させるためには、テクノロジーが必要となる。技術改変や新規開発にはさらに高度なテクノロジーを身につける必要がある。

生産物や加工品を食卓に届けるためには、ビジネスが必要となる。

このように安全安心な食物を消費者の元に届けるためには、サイエンス・テクノロジー・ビジネスの存在が必須である。また、ビジネスは、ものを食卓に届ける下流方向だけではなく、食卓のニーズや加工・流通の過程におけるニーズを生産者や加工業者に伝えるといった上流に向かう情報の流れも担っている。

サイエンスを理解した上でビジネスを展開する、ビジネスの視点をもってサイエンスを行うなど、サイエンス・テクノロジー・ビジネスを三位一体に学び、包括的に身につけることが、新たな食料産業を構築する人材が持つべき能力である。

(3) 課題の解決に前向きに取り組む人材を育成する

食・農・ビジネスの現場で活躍するためには、眼前の課題解決に留まるのではなく、サイエンス・テクノロジー・ビジネスの三位一体の視点を持って、論理的・創造的な科学思考を行うことによって、将来に繋がる解決策を導き出す必要がある。論理的・創造的な科学思考を持って、課題に対して前向きに取り組む、合理的な思考プロセスを通して課題に挑戦することにより、様々な課題を短期間で解決に導く力を身につけることができる。

(4) 実社会に直結する研究開発

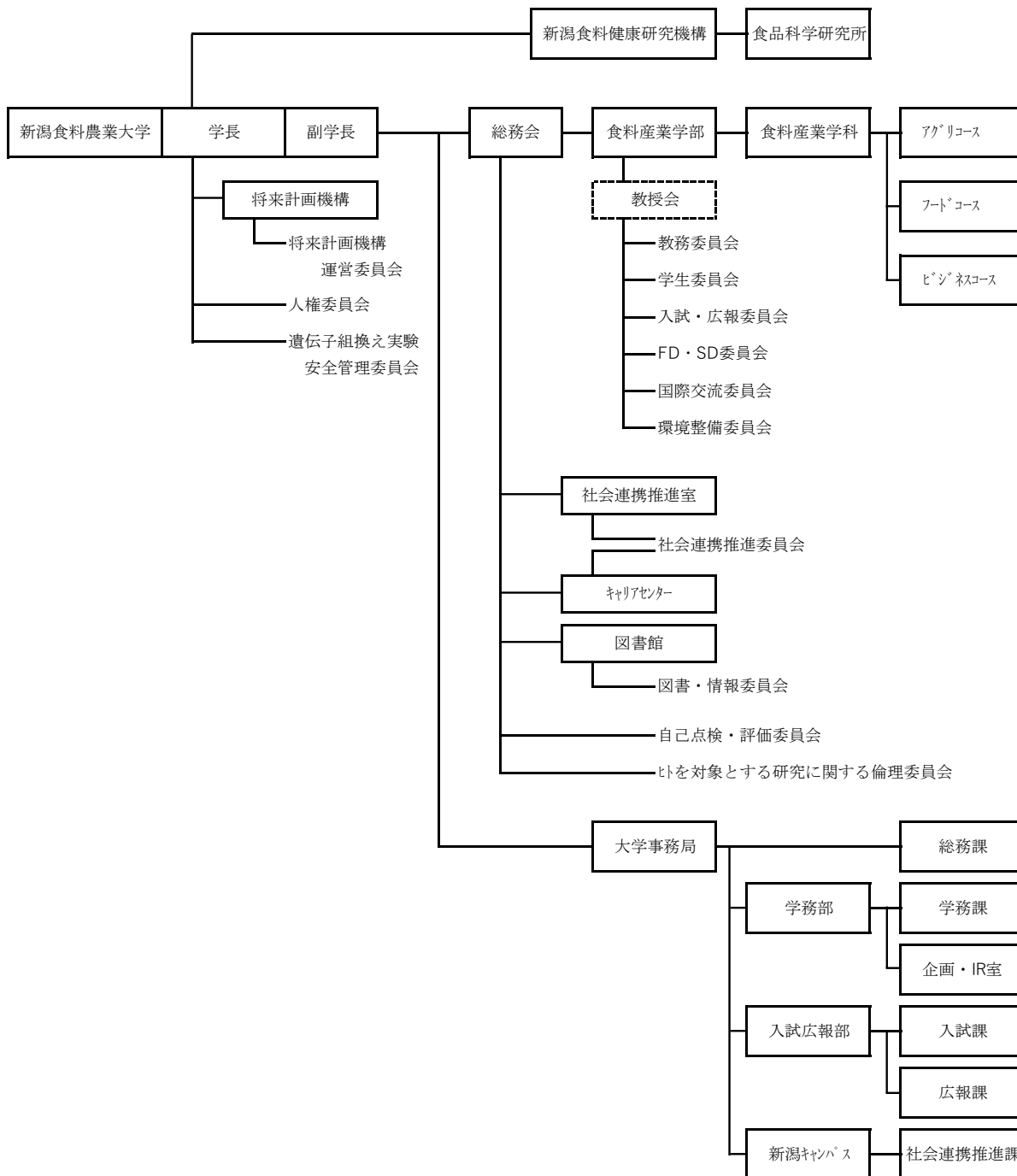
本学では、サイエンスのためのサイエンスではなく、実社会で活用される技術、すなわち実装可能な技術開発に直結する研究を実施する。社会に直結する研究開発を通じて地域と国際社会の発展に貢献する。また、学生は、自らが研究を行うこと、教員が実施する研究を傍らで見ることによって、社会実装に繋がる研究のあり方や、研究を進める姿勢を身につけることができる。

2. 沿革

年	月	事 項
2014 年 (平成 26 年)	4 月 6 月	大学設置準備室設置 第 1 回大学設置委員会開催
2015 年 (平成 27 年)	1 月	第 1 回大学設置準備委員会開催
2016 年 (平成 28 年)	10 月 10 月	大学設置認可申請書提出 (文部科学省) 学校法人新潟総合学園 寄付行為変更認可申請書提出 (文部科学省)
2017 年 (平成 29 年)	8 月 8 月 8 月 11 月	胎内キャンパス (胎内市平根台 2416) 校地・校舎 竣工 新潟食料農業大学設置認可 (文部科学省) 学校法人新潟総合学園 寄付行為変更認可 (文部科学省) 新潟キャンパス (新潟市北区島見町 940) 校地・校舎 竣工
2018 年 (平成 30 年)	2 月 3 月 4 月 6 月 10 月	新潟食料農業大学 竣工式 株式会社日本政策金融公庫新潟支店との産学連携の協定に関する覚書の締結 新潟食料農業大学 開学 (1 学部 1 学科設置) ・初代学長 渡辺 好明 ・食料産業学部 食料産業学科 (入学定員 180 名/収容定員 720 名) ・学士 (食料産業学) 新潟食料農業大学 第 1 回入学式 新潟食料農業大学 開学記念式典 胎内市・JA 胎内市との包括連携協定の締結
2019 年 (平成 31 年) (令和元年)	1 月 4 月 7 月 8 月 9 月 11 月	糸魚川市との包括的連携協定の締結 新潟食料農業大学 第 2 回入学式 新発田市との包括的連携協定の締結 ホーチミン市オープン大学 (ベトナム) との国際交流協定の締結 新潟県「産学連携による人材育成・定着促進支援事業」(5 ヵ年事業) に採択 ニジニー・ノブゴロド国立農業アカデミー (ロシア) との国際交流協定の締結 第 1 回大学院修士課程設置準備部会開催
2020 年 (令和 2 年)	4 月 12 月	新潟食料農業大学 第 3 回入学式 (新型コロナウイルス感染防止のため WEB 形式で実施) 新潟食料農業大学新潟食料健康研究機構食品科学研究所 設立 村上市との包括的連携協定の締結
2021 年 (令和 3 年)	3 月	胎内キャンパス 第 8 駐車場 竣工

3. 組織

1) 組織図



2) 役職者

(1) 新潟食料農業大学

学 長	渡辺好明
副学長	中井 裕
学部長	中井 裕
学科長	中井 裕
アグリコース長	伊藤豊彰
フードコース長	丸山純一
ビジネスコース長	武本俊彦
図書館長	岩坂健志
大学事務局長	森 常不

3) 教員数 (2020年5月1日現在)

(1) 教員数

学部専任教員数 33 名

(注) 学長・副学長を含む.

(2) コース別教員数

食料産業学部	教授	准教授	講師	助教	助手	合計
アグリコース	5	0	6	0	0	11
フードコース	5	1	2	2	1	11
ビジネスコース	6	1	2	0	0	9
計	16	2	10	2	1	31

4. 学年暦

- 4月 1日(水) ・辞令交付式
2020年4月就任教員9名に辞令を交付
・総在籍学生数392名にて新年度スタート
- 1日(水)～2日(木)
・新任教職員オリエンテーション実施(胎内キャンパス)
内 容／副学長による大学理念, 教育方針等に関する講話, 事務局による組織体制,
講義関係, 学生生活, 施設設備, 就業規則, 図書館等の説明
対 象／2020年4月就任教職員
- 3日(金) ・遠隔授業導入説明会
内 容／本学の遠隔授業の在り方, 使用ソフト等の説明
対 象／全教職員
- 6日(月)～7日(火)
・在学生オリエンテーション【中止】
代 替／資料配布および動画配信にて対応
- 8日(水) ・第3回入学式【中止】
代 替／学長式辞, 新入生代表挨拶等をWEBサイトに掲載
・第1回新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催
内 容／対策基本方針, 学事暦変更, 遠隔授業の導入等を決定
- 9日(木) ・前期授業開始日【延期】
対 応／原則, すべての科目をオンライン(時間割に合わせたリアルタイム型)授業
とし, 授業開始を5月11日に延期
- 11日(土) ・オープンキャンパス【中止】
- 16日(木) ・第1回SD研修開催(オンライン)
内 容／「Office365 Teamsの活用方法について」
講 師／遠隔授業ワーキンググループ(事務職員)
対 象／全職員
- 17日(金) ・第1回FD・SD研修開催(オンライン)
内 容／「Office365 Teamsでの遠隔授業の実施方法について」
講 師／遠隔授業ワーキンググループ(教員)
対 象／全教員および学務課・総務課職員
- 22日(水) ・第2回新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催
内 容／5月6日(水・祝)までの基本方針および対応を策定, 遠隔授業実施の基
本方針, 具体的な方法等について決定
- 23日(木) ・大学休業措置
新潟県知事による緊急事態措置(休業要請)に伴い, 5月6日までを当面の期間と
して入構禁止, 教職員のテレワーク等を実施
- 29日(水・祝)～5月10日(日)
・第2回WEBオープンキャンパス開催
内 容／大学紹介・模擬授業等の動画配信, オンライン個別相談など
参加者／アクセス人数1,197名
- 5月 7日(木)～8日(金)
・新入生オリエンテーション実施(胎内キャンパス)
※複数日程・複数会場を設定し, 検温等対策の上, 集合形式で実施

- 内 容／学事暦, カリキュラム, 履修登録, 遠隔授業の受講方法等
- 8 日 (金) ・第 3 回新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催
内 容／5 月 31 日 (日) までの基本方針および対応を策定. 活動制限の期間延長, 授業開始以降の出勤体制等を決定
- 9 日 (土) ・プレイメントテスト実施 (オンライン)
内 容／英語, 数学, 化学, 生物のテストをオンラインにて実施
- 11 日 (月) ・前期授業 (オンライン授業) 開始
- 11 日 (月) ~17 日 (日)
・履修登録期間
- 12 日 (火) ・就職支援セミナー開催 (オンライン)
内 容／スタートアップ講座~就職活動スケジュールや心構え等の解説~
講 師／株式会社マイナビ
- 18 日 (月) ・第 2 回 FD・SD 研修開催 (動画配信)
内 容／「数学の基礎を教えて」
講 師／アグリコース 浅野 亮樹 講師
対 象／全教職員
- 19 日 (火) ~22 日 (金)
・就職支援セミナー開催 (動画配信)
内 容／就職活動の基礎知識に関する動画の配信
講 師／株式会社リクルートキャリア
- 21 日 (木) ~22 日 (金)
・履修登録内容修正・確認期間
- 25 日 (月) ・就職支援セミナー開催 (動画配信)
内 容／公務員試験の対策に関する動画の配信
講 師／本学キャリアセンター職員
- 27 日 (水) ・第 4 回新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催
内 容／6 月 18 日 (木) までの基本方針および対応を策定. 6 月 20 日 (土) に予定していたオープンキャンパスを中止とすることを決定したほか, 実験・実習・演習系科目の対面授業再開時期等について検討
・業界研究セミナー開催 (オンライン)
ゲスト／株式会社コメリ
- 30 日 (土) ~6 月 14 日 (日)
・第 3 回 WEB オープンキャンパス開催
内 容／大学紹介・模擬授業等の動画配信, オンライン個別相談など
参加者／アクセス人数 1,462 名
- 6 月 1 日 (月) ・指定強化部 チーム活動開始
対 象／自転車競技部, 柔道部, 男子ラグビー部
新型コロナウイルス感染症防止対策を含めた「活動計画書」を対策本部に提出し, 学長の許可を得た上で, 監督の指示の下で活動を開始
- 1 日 (月) ~7 日 (日)
・第 1 回コース希望調査実施 (1 年生)
結 果／第 1 希望 アグリコース 56 名, フードコース 62 名, ビジネスコース 37 名
- 3 日 (水) ・就職支援セミナー開催 (オンライン)
内 容／業界研究講座~研究の方法, 企業比較のポイント等を解説~
講 師／株式会社リクナビ

- 10日(水) ・就職支援セミナー開催(オンライン)
 内容/エントリーシートで自己PRするためのポイント等を解説
 講師/株式会社リクナビ
- ・業界研究セミナー開催(オンライン)
 ゲスト/新潟市役所(新潟市人事委員会事務局)
- 15日(月) ・第3回FD・SD研修開催(動画配信)
 内容/学生参加を促す授業方法について
 講師/ビジネスコース 松村 順二 准教授
 対象/全教職員
- 16日(火) ・就職支援セミナー開催(オンライン)
 内容/面接対策講座 part1~面接時の注意事項等を解説~
 講師/株式会社マイナビ
- 17日(水) ・第5回新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催
 内容/7月9日(木)までの基本方針および対応を策定。一部実習科目について
 対面方式で実施することを決定したほか、実習科目履修者以外の学生が来学
 できる機会として囲場体験を企画することを決定
- 27日(土)~7月12日(日)
 ・第4回WEBオープンキャンパス開催
 内容/大学紹介、入試対策等の動画配信、オンライン個別相談など
 参加者/アクセス人数1,500名
- 7月2日(木) ・農学系実習科目の対面授業を再開
 ※来学時の検温・マスク着用・3密回避等の対策を徹底
 科目/農学基礎実習(1年次必修科目)毎週金曜
 作物生産科学基礎実験・実習(2年次アグリコース必修)毎週月曜
 栽培科学実験・実習(3年次アグリコース必修)毎週火曜・木曜
- 7日(火)~12日(日)
 ・第1回高校教諭対象大学説明会開催(オンライン&動画配信)
 内容/入試の変更点・特待生制度等の説明、オンライン個別相談
 対象/高等学校等教諭・進路指導担当者
- 8日(水) ・就職支援セミナー開催(オンライン)
 内容/面接対策講座 part2~WEB面接のポイント等を解説~
 講師/株式会社リクナビ
- 9日(木) ・第6回新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催
 内容/7月31日(金)までの基本方針および対応を策定。入学者選抜試験実施ガイ
 ドライン、来場型オープンキャンパス実施ガイドラインを策定したほか、
 学生への経済的支援として学生緊急寄附金を創設し、教職員の寄附による学
 生支援を実施することを決定
- 15日(水) ・第4回FD・SD研修開催(動画配信)
 内容/学生相談の注意点について~臨床心理士の視点から~
 講師/臨床心理士 鈴木 聡美 先生
 対象/全教職員
- 16日(木) ・2020年度コース配属説明会開催(オンライン)
 内容/次年度(2年次)からのコース分属についての説明
 対象/1年生
- 18日(土) ・第1回夏のオープンキャンパス(胎内キャンパス)

- ※参加エリアを限定し、検温・3密回避等の対策の上、来場型で実施
 内 容／大学説明，入試対策，模擬授業，施設見学，個別相談など
 参加者／受付 74 名（内受験生 68 名／前年 59 名），来場 143 名
- 22 日（水） ・就職支援セミナー開催（オンライン）
 内 容／企業研究講座～企業を理解するためのポイント等を解説～
 講 師／本学キャリアセンター職員
- 29 日（水） ・就職支援セミナー開催（オンライン）
 内 容／インターンシップでのマナー等を解説
 講 師／本学キャリアセンター職員
- ・第 7 回新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催
 内 容／8 月 28 日（金）までの基本方針および対応を策定。感染者・濃厚接触者が
 発生した場合の対応フローを策定したほか，アグリコース・フードコースの
 前期実験・実習科目について夏季休暇期間中の 9 月に対面にて集中開講す
 ることを決定
- 8 月 1 日（土）～2 日（日）
- ・北信越学生陸上競技対校選手権大会（北信越インカレ）出場
 出場者／活動支援クラブ「陸上競技部」2 名
 結 果／男子 1,500m 森 崇智 選手（3 年生）11 位
 男子 5,000m 若杉 海杜 選手（2 年生）5 位入賞
- 6 日（木）～10 日（月・祝）
- ・前期定期試験（オンライン）
 すべての科目について，レポート課題またはオンラインにて実施
- 8 日（土） ・第 2 回夏のオープンキャンパス（胎内キャンパス）
 内 容／大学説明，入試対策，模擬授業，施設見学，個別相談など
 参加者／受付 60 名（内受験生 46 名／前年 56 名），来場 104 名
- 10 日（月）～14 日（金）
- ・個別対応型オープンキャンパス開催（来場型／オンライン型）
 ※来場型オープンキャンパス参加自粛を要請した受験生を対象
 内 容／来場型での個別対応，オンラインでの WEB 面接試験体験など
 参加者／受付 37 名（内受験生 35 名／前年未実施），来場 68 名
- 11 日（火）～25 日（火）
- ・前期定期試験 追試験・再試験（オンライン）
- 15 日（土）～23 日（日）
- ・夏季休業期間
- ・第 5 回 WEB オープンキャンパス開催
 内 容／大学紹介，入試対策等の動画配信，オンライン個別相談など
 参加者／アクセス人数 1,169 名
- 25 日（火） ・第 8 回新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催
 内 容／9 月 22 日（火・祝）までの基本方針および対応を策定。後期授業について
 9 月 23 日を開始日とし，10 月 6 日までを遠隔授業，10 月 7 日から対面授
 業で実施することを決定
- 29 日（土） ・創立記念日
- 9 月 1 日（火）～18 日（金）
- ・第 2 回高校教諭対象大学説明会開催（オンライン）
 内 容／入試の変更点・特待生制度等の説明，オンライン個別相談

- 対 象／高等学校等教諭・進路指導担当者
- 5 日 (土) ・全日本学生個人ロードレース大会 出場
 出場者／指定強化部「自転車競技部」6 名
 結 果／渡邊 八起 選手 (2 年生), 檜村 奏太 選手 (1 年生) 予選通過
- 5 日 (土) ～6 日 (日)
 ・第 3 回夏のオープンキャンパス開催 (胎内キャンパス／新潟キャンパス)
 内 容／9 月 6 日 (日) はアカデミック・インターンシップと題して, 2 キャンパス
 にてコース別の教育体験プログラムを実施
 参加者／受付 56 名 (内受験生 53 名／前年 39 名), 来場 94 名
- 7 日 (月) ・大学休業日
 ・前期実験・実習系科目の一部を対面授業にて実施
 科 目／栽培科学実験・実習 (3 年次アグリコース必修) 9 月 11 日まで
 食品科学実験・実習 (3 年次フードコース必修) 9 月 18 日まで
- 12 日 (土) ～27 日 (日)
 ・第 6 回 WEB オープンキャンパス開催
 内 容／大学紹介, 入試対策等の動画配信, オンライン個別相談など
 参加者／アクセス人数 665 名
- 15 日 (火) ～21 日 (月・祝)
 ・夏期集中講義期間
- 17 日 (木) ・第 9 回新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催
 内 容／10 月 6 日 (火) までの基本方針および対応を策定, 授業実施運営, 施設利
 用, スクールバス利用等の感染防止ガイドラインを策定
- 18 日 (金) ・インターンシップ I [選択科目] 実地研修 (1 回目)
 参加者／1 年生 54 名
 研修先／新潟中央青果 (株), (有) 高儀農場, (株) ベジ・アビオ,
 (株) 栗山米菓 (新潟せんべい王国)
- 22 日 (火) ・北信越学生柔道体重別選手権 出場
 出場者／指定強化部「柔道部」4 名
 結 果／男子 66kg 級 佐藤 葵 選手 (1 年生) 準優勝
 ※全国大会出場権獲得の成績であったが, コロナウイルスの感染状況の悪化により全
 国大会が中止
- 23 日 (水) ・後期授業開始
 9 月 23 日～10 月 6 日までの 2 週間はすべての科目を遠隔授業とし, 新潟県の自
 宅・アパート等での受講を義務付け, 健康観察後, 10 月 7 日より対面授業を再開
- 28 日 (月) ～10 月 4 日 (日)
 ・第 2 回コース希望調査実施 (1 年生)
 結 果／第 1 希望 アグリコース 58 名, フードコース 61 名, ビジネスコース 36 名
- 10 月 1 日 (木) ・第 3 回高校教諭対象説明会開催 (胎内キャンパス)
 内 容／入試概要・特待生制度等の説明, 施設見学, 個別相談など
 対 象／高等学校等教諭・進路指導担当者
- 3 日 (土) ・オープンキャンパス開催 (胎内キャンパス)
 内 容／大学説明, 入試対策講座, 模擬授業, 個別相談など
 参加者／受付 25 名 (内受験生 20 名／前年 10 名), 来場 29 名
- 5 日 (月) ～9 日 (金)
 ・履修登録内容確認期間

- 6日(火) ・第10回新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催
 内容/11月1日(日)までの基本方針および対応を策定。体調不良者等への来学禁止要請ルール、感染リスクの高い行動を抑制するための行動チェックシートを策定
- ・就職支援セミナー開催(オンライン)
 内容/留学生のための就職支援講座
 講師/株式会社マナーズ
- 7日(水) ・2020年度後期授業再開(対面授業)
 ・1年生対象オリエンテーション実施(胎内キャンパス)
 ・就職支援セミナー開催(新潟キャンパス)
 テーマ/若者を取り巻く雇用情勢と就職支援
 講師/新潟労働局
 ・業界研究セミナー開催(新潟キャンパス&オンライン)
 ゲスト/株式会社タケショー
- 9日(金)~25日(日)
 ・第7回WEBオープンキャンパス開催
 内容/大学紹介、入試対策等の動画配信、オンライン個別相談など
 参加者/アクセス人数459名
- 10日(土) ・総合型選抜 主体性重視型入学者選抜試験 志願者数15名
 ・総合型選抜 スポーツ型入学者選抜試験(A日程) 志願者数33名
 ・外国人留学生入学者選抜試験(A日程) 志願者数15名
 志願者数合計63名(前年実績50名)
 ・3年次編入学者選抜試験(A日程) 志願者数1名
 ・インターンシップI[選択科目] 実地研修(2回目)
 対象/1年生
 研修先/JA胎内市(胎内市農業協同組合)、水澤園芸、新潟製粉(株)、ロイヤル胎内パークホテル
- 10日(土)~11日(日)
 ・2020全日本大学自転車競技大会(トラック) 出場
 出場者/指定強化部「自転車競技部」4名
 結果/男子ケイリン 小田島 湧希 選手(1年生)6位入賞
- 12日(月)~14日(水)
 ・学生健康診断
- 13日(火) ・就職支援セミナー開催(オンライン)
 内容/働きやすい職場環境とハラスメント対策
 講師/新潟労働局
- 17日(土) ・2020全日本大学自転車競技大会(ロード) 出場
 出場者/指定強化部「自転車競技部」3名
 結果/DNF(Did Not Finish)
- 18日(日) ・TOUR DE TAINAI(ツールド胎内)2020開催
 本学を発着地とするサイクリングイベント
 主催/ツールド胎内2020実行委員会
 協力/胎内市、胎内市教育委員会、新潟食料農業大学 他
- 21日(水) ・業界研究セミナー開催(オンライン)
 ゲスト/井関農機株式会社

- 23日(金) ・第1回留学生交流会開催(胎内キャンパス)
 内容/留学生代表挨拶, 日本語による自己紹介など
 参加者/留学生 20名
- 25日(日) ・第2回SD研修開催(オンライン)
 主催/コンソーシアム京都
 内容/新たな価値を生むこれからの大学職員の姿
 講師/東京大学大学院教育学研究科 両角 亜希子 准教授
 対象/全職員
- 29日(木) ・第11回新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催
 内容/11月29日(日)までの基本方針および対応を策定. 冬季休暇明けの授業再開に係る感染防止策を検討
- 30日(金) ・指定強化部 オリエンテーション(胎内キャンパス)
 対象/指定強化部(自転車競技部・柔道部・男子ラグビー部)
 活動支援クラブ(陸上部・卓球部)
 内容/学部長挨拶, クラブ活動と学習の両立, コロナウイルス感染防止など
- 31日(土) ・新潟県国際交流協会委託事業 国際理解セミナー「アジアを知る!」開催
 テーマ/農を軸に新たな日韓関係を築く
 内容/本学教員・韓国人留学生による講演および発表
 会場/新潟食料農業大学 胎内キャンパス
- ・JA 胎内市「秋の総合展示会・収穫感謝祭」出店
 出店者/6次産業化クラブ
 内容/クラブ学生が栽培した野菜の販売など
- 11月 3日(火・祝) ・オープンキャンパス開催(胎内キャンパス)
 内容/大学説明, 入試対策講座, 模擬授業, 個別相談など
 参加者/受付 34名(内受験生 21名/前年 28名), 来場 52名
- 5日(木) ・2021年度科学研究費助成事業申請
 申請数/15名 17件(前年実績 10名 10件)
- 8日(日) ・第3回大学祭「橙和祭」開催(胎内キャンパス&オンライン)
 内容/在学生のみを対象とした来場型の交流イベントおよびクラブ・サークル発表のオンライン配信など
- 9日(月)~10日(火)
 ・就職支援セミナー開催(胎内&新潟キャンパス)
 内容/自己PR講座
 講師/株式会社リクナビ
- 12日(木) ・防災・避難訓練実施(胎内キャンパス)
- 13日(金)~29日(日)
 ・第8回WEBオープンキャンパス開催
 内容/大学紹介, 入試対策等の動画配信, オンライン個別相談など
 参加者/アクセス人数 411名
- 14日(土) ・総合型選抜 スポーツ型入学者選抜試験(B日程) 志願者数 5名
 ・総合型選抜 自己推薦型入学者選抜試験(A日程) 志願者数 7名
 ・総合型選抜 地域選抜型入学者選抜試験 志願者数 4名
 ・学校推薦型選抜 公募制入学者選抜試験(前期日程) 志願者数 1名
 ・学校推薦型選抜 専門・総合制入学者選抜試験(前期日程) 志願者数 0名

- ・学校推薦型選抜 指定校制入学者選抜試験（前期日程） 志願者数 38 名
 - 志願者数合計 55 名（前年実績 35 名）
 - ・3 年次編入学者選抜試験（B 日程） 志願者数 2 名
- 16 日（月）
 - ・防災・避難訓練実施（新潟キャンパス）
 - ・就職支援セミナー開催（胎内&新潟キャンパス）
 内 容／求人票の正しい読み方
 講 師／本学キャリアセンター職員
- 18 日（水）
 - ・業界研究セミナー開催（胎内キャンパス）
 ゲスト／三幸製菓株式会社
- 24 日（火）
 - ・第 12 回新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催
 内 容／1 月 31 日（日）までの基本方針および対応を策定。冬季休暇明けの授業再開に係る感染防止策として、学年別に新潟県内の自宅・アパート等で過ごす 14 日間「健康観察期間」を設定し、当該期間は遠隔授業にて対応することを決定
- 25 日（水）
 - ・第 5 回 FD・SD 研修開催（オンライン）
 テーマ／著作権法の基本について
 講 師／りゅーと法律税務会計事務所 大湊 由香 氏
 対 象／全教職員
 出席者／教員 31 名、職員 18 名
- 27 日（金）
 - ・就職支援セミナー開催（新潟キャンパス&オンライン）
 内 容／2 年生対象の就活スタートに向けた開設講座
 講 師／マイナビ株式会社
- 29 日（日）
 - ・第 57 回全国大学ラグビー選手権大会関東リーグ 5 部最終節出場
 ※新型コロナウイルス対策として短縮日程および入れ替え戦・順位決定戦が中止
 出場者／指定強化部「男子ラグビー部」
 結 果／11 月 8 日 第 1 節 本学 21 - 73 順天堂大学
 11 月 22 日 第 2 節 本学 17 - 12 東京経済大学
 11 月 29 日 最終節 本学 27 - 12 千葉工業大学
- 12 月 1 日（火）～4 日（金）
 - ・就職支援セミナー開催（胎内&新潟キャンパス）
 内 容／エントリーシート作成講座
 講 師／株式会社リクナビ
- 2 日（水）
 - ・業界研究セミナー開催（胎内キャンパス&オンライン）
 ゲスト／日東アリマン株式会社
- 3 日（木）～4 日（金）
 - ・就職支援セミナー開催（胎内&新潟キャンパス）
 内 容／第 1 印象アップ講座
 講 師／青山商事株式会社
- 4 日（金）
 - ・交通安全講習開催（胎内キャンパス&ライブ配信）
 内 容／冬道での交通事故防止に関する講習
 講 師／学校法人新潟総合学園 宮村 広栄 顧問
 参加者／車両通学学生 50 名
- 5 日（土）
 - ・オープンキャンパス開催（胎内キャンパス）
 内 容／一般入試対策講座、WEB 面接体験、個別相談など
 参加者／受付 15 名（内受験生 10 名／前年 19 名）、来場 38 名

- 7日(月)～13日(日)
- ・第3回コース希望調査実施(1年生)
結果/第1希望 アグリコース 49名, フードコース 66名, ビジネスコース 32名
- 9日(水)
- ・就職支援セミナー開催(オンライン)
内容/メイクアップ講座
講師/花王株式会社
 - ・就職支援セミナー開催(胎内キャンパス)
内容/留学生対象ビジネスファッション講座
講師/株式会社マナーズ
- 12日(土)
- ・日本農業技術検定試験受験
試験場/新潟食料農業大学 胎内キャンパス
結果/[2級] 4名合格 18名受験/合格率 22.2%(全国平均 20.9%)
[3級] 25名合格 26名受験/合格率 96.2%(全国平均 66.0%)
- 14日(月)
- ・新潟県高等学校教育研究会 理科部会(化学)開催
会場/新潟食料農業大学 胎内キャンパス
内容/理科部会の会合を本学にて実施. 併せて学長挨拶, 大学紹介, 本学教員の講演, 施設見学などの広報プログラムを実施
参加者/14校 19名
- 14日(月)～15日(火)
- ・就職支援セミナー開催(胎内&新潟キャンパス)
内容/メラビアンの法則で面接に勝つ
講師/株式会社リクナビ
- 14日(月)～1月22日(金)
- ・新潟医療福祉大学メンタルヘルス研修参加
内容/コロナ禍における職場のポジティブメンタルヘルス
講師/一般財団法人健康医学予防協会 診察部長 三間 聡 先生
会場/動画視聴
参加者/本学教職員
- 16日(水)
- ・新潟食料農業大学で栽培したイタリア野菜試食会開催
内容/ホテルイタリア軒とコラボし, 本学で有機栽培したイタリア野菜を使用したオリジナルメニューの試食会
会場/ホテルイタリア軒 12階 ゴンドリーナ
取材/新聞3社, TV局4社
- 17日(木)
- ・第13回新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催
内容/1月31日(日)までの基本方針および対応を一部改訂. 新潟県を除くすべての都道府県を感染拡大の恐れがある地域として指定し原則移動禁止とした他, 2021年度入学式について来場型での開催を基本方針とすることを決定
- 18日(金)
- ・村上市との包括的連携協定締結式挙行
会場/村上市役所
出席者/高橋 邦芳 村上市長, 忠 聡 村上副市長
渡辺 好明 学長, 中井 裕 副学長・学部長 他
- 19日(土)
- ・総合型選抜 スポーツ型入学者選抜試験(C日程) 志願者数 4名
 - ・総合型選抜 自己推薦型入学者選抜試験(B日程) 志願者数 7名
 - ・学校推薦型選抜 公募制入学者選抜試験(後期日程) 志願者数 3名
 - ・学校推薦型選抜 専門・総合制入学者選抜試験(後期日程) 志願者数 0名

- ・学校推薦型選抜 指定校制入学者選抜試験（後期日程） 志願者数 3名
 - ・外国人留学生入学者選抜試験（B日程） 志願者数 10名
 - 志願者数合計 27名（前年実績 22名）
 - ・3年次編入学者選抜試験（C日程） 志願者数 1名
- 19日（土）～1月3日（日）
- ・第9回WEBオープンキャンパス開催
内 容／入試対策講座他70本の動画設置，オンライン個別相談など
参加者／アクセス人数 258名
- 23日（水）
- ・ジブンノミライー NAFU JOB 博 2020 -開催（胎内キャンパス）
内 容／就職講演会および企業ブースでの業界・職種説明会
講演者／株式会社ユニークワン 代表取締役社長 立川 和行氏
参加企業／ブルボン，一正蒲鉾，サトウ食品他，県内企業 15社
参加者／3年生 79名
 - ・第2回留学生交流会開催（胎内キャンパス）
内 容／自国のクリスマス紹介，来年の目標発表など
参加者／留学生 12名
- 24日（木）
- ・年内授業最終日
 - ・日本食品保蔵科学会認定「HACCP 管理者」認定書交付
申請者／フードコース3年 46名（在籍 52名）
認定者／フードコース3年 46名
- 25日（金）～1月4日（月）
- ・冬季休業期間
- 1月7日（木）
- ・後期授業再開
1月7日～31日（3年生は17日まで）の期間について，全科目を遠隔授業期間（新潟県内の自宅・アパート等で受講の上，健康観察）とし，2月1日（3年生は18日）より対面授業を再開
- 7日（木）～29日（金）
- ・転コース申請受付期間
- 13日（水）
- ・業界研究セミナー開催（オンライン）
ゲスト／イカリ消毒株式会社
- 14日（木）
- ・知の再武装「新潟日報人財育成セミナー第5回例会」講演実施
講演者／男子ラグビー部 谷崎 重幸 監督
テーマ／教育は共育 ～組織づくりは個づくり～
会 場／新潟日報メディアシップ
主 催／新潟日報社
- 16日（土）～17日（日）
- ・大学入学共通テスト（新潟医療福祉大学試験場での共同実施）
- 16日（土）～31日（日）
- ・第10回WEBオープンキャンパス開催
内 容／入試対策講座他71本の動画設置，オンライン個別相談など
参加者／アクセス人数 267名
- 18日（月）・21日（木）
- ・就職支援セミナー開催（胎内キャンパス・新潟キャンパス）
内 容／集団面接のポイント
講 師／株式会社リクナビ

- 21日(木)～22日(金)
- ・健康診断振替授業日
- 22日(金)
- ・第14回新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催
内 容／4月11日までを期間とする基本方針を決定。春季休暇期間中の大学入構制限および新年度開始に向け、通学初日(オリテ・入学式等)の前2週間、新潟県内の自宅・アパートで過ごす「健康観察期間」とすることを決定
- 23日(土)
- ・総合型選抜 スポーツ型入学者選抜試験(D日程) 志願者数 0名
 - ・学校推薦型選抜 指定校制入学者選抜試験(第2次募集) 志願者数 0名
志願者数合計 0名(前年実績 3名)
- 26日(火)
- ・就職支援セミナー開催(胎内キャンパス&オンライン)
内 容／就職活動準備総まとめ講座
講 師／株式会社マイナビ
- 27日(水)
- ・第6回FD・SD研修会開催(オンライン)
テーマ／就職活動の全体像と大学における就職支援について
講 師／ベネッセiキャリア 大学企画課 課長 清水 健氏
同 グローバルビジネス開発課 岸 潤一郎氏
同 東日本営業2課 大橋 美優花氏
ベネッセコーポレーション グローバルビジネス開発課 室 雅子氏
対 象／全教職員
出席者／教員 29名, 職員 27名
- 29日(金)
- ・令和2年度胎内市教育員会表彰
受賞者／① 小田島 湧希(1年生)
2020 全日本大学自転車競技大会 男子ケイリン 第6位
② 中井 裕 副学長
廃棄物・浄化槽研究開発功労者として環境大臣表彰
- 29日(金)～2月4日(木)
- ・後期定期試験
- 2月5日(金)～10日(水)
- ・第4回コース希望調査実施(1年生)※最終
結 果／第1希望 アグリコース 46名, フードコース 71名, ビジネスコース 33名
- 5日(金)～16日(火)
- ・後期定期試験 追試験・再試験
- 6日(土)
- ・一般入学者選抜試験(前期日程) 志願者数 73名
 - ・大学入学共通テスト利用入学者選抜試験(A日程) 志願者数 92名
志願者数合計 165名(前年実績 187名)
- 10日(水)～19日(金)
- ・春期集中講義期間
- 12日(金)～3月11日(木)
- ・公務員対策講座実施(オンライン)
主 催／新潟医療福祉大学
内 容／教養試験対策, 時事対策, 論作文対策
講 師／LEC 東京リーガルマインド
- 17日(水)
- ・新潟食料健康研究機構発足記念シンポジウム開催
内 容／第1部 特別講演「食と健康でビジネスチャンスを広げる」
第2部 パネルディスカッション「未来の食と健康を考える」

- ゲスト／株式会社ブルボン 代表取締役社長 吉田 康 氏
 会 場／オンライン+新潟キャンパス
 参加者／185 名（食料産業関連企業，教育・研究機関関係者など）
- 18 日（木）
- ・総合型選抜 自己推薦型入学者選抜試験（C 日程） 志願者数 1 名
 - ・一般入学者選抜試験（中期日程） 志願者数 8 名
 - ・大学入学共通テスト利用入学者選抜試験（B 日程） 志願者数 10 名
 - ・外国人留学生入学者選抜試験（C 日程） 志願者数 8 名
- 志願者数合計 27 名（前年実績 45 名）
- ・3 年次編入学者選抜試験（D 日程） 志願者数 0 名
 - ・留学生対象企業説明会（オンライン）
主 催／事業創造大学院大学
- 19 日（金）
- ・第 15 回新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催
内 容／新年度授業開始後の感染防止策を策定
- 19 日（金）～28 日（日）
- ・第 11 回 WEB オープンキャンパス開催
内 容／研究室紹介他 72 本の動画設置，オンライン個別相談など
参加者／アクセス人数 155 名
- 27 日（土）
- ・第 1 回北國杯全国学生柔道オンライン形競技大会出場
出場者／指定強化部「柔道部」2 名 1 組
取：小木 彪雅（1 年生）／受：佐藤 葵（1 年生）
結 果／投の形 準優勝
- 3 月 6 日（土）
- ・一般入学者選抜試験（後期日程） 志願者数 3 名
 - ・大学入学共通テスト利用入学者選抜試験（C 日程） 志願者数 4 名
- 志願者数合計 7 名（前年実績 12 名）
- 11 日（木）
- ・2 年次コース配属発表（1 年生）
結 果／アグリコース 51 名，フードコース 61 名，ビジネスコース 39 名
 - ・1 年生成績通知
 - ・学内企業説明会（オンライン）
企 業／株式会社キセキ関東甲信越
参加者／3 名（アグリコース 2 名，フードコース 0 名，ビジネスコース 1 名）
- 13 日（土）
- ・春のオープンキャンパス開催（胎内キャンパス）
※コロナウイルス対策として緊急事態宣言地域からの参加自粛要請
内 容／学生による授業紹介，体験プログラム，施設見学ツアーなど
参加者／受付 34 名（内新 3 年生 32 名／前年中止），来場 42 名
- 17 日（水）
- ・総合型選抜 自己推薦型入学者選抜試験（D 日程） 志願者数 0 名
 - ・総合型選抜 スポーツ型入学者選抜試験（E 日程） 志願者数 3 名
 - ・学校推薦型選抜 指定校制入学者選抜試験（第 3 次募集） 志願者数 3 名
 - ・大学入学共通テスト利用入学者選抜試験（D 日程） 志願者数 3 名
 - ・外国人留学生入学者選抜試験（D 日程） 志願者数 2 名
- 志願者数合計 11 名（前年実績 19 名）
- ・3 年次編入学者選抜試験（E 日程） 志願者数 0 名
- 19 日（金）
- ・新潟大学農学部との教育研究交流会実施
内 容／新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター村松ステーションの視察，教育研究に係る情報交換など
参加者／本学教職員 10 名

20日(土)～28日(日)

- ・第1回WEBオープンキャンパス開催
内 容／模擬授業等80本の動画掲載, オンライン個別相談など
参加者／アクセス人数259名

22日(月)

- ・第1回新潟SDGsアワード表彰式および記念講演会での講師対応
内 容／本学講師による記念講演を開催
講 師／ビジネスコース 青山 浩子 講師
会 場／新潟日報メディアシップ+ Zoom ライブ配信
主 催／地域創生プラットフォーム SDGs にいがた事務局

26日(金)

- ・総合型選抜 自己推薦型入学者選抜試験 (E日程) 志願者数 0名
- ・大学入学共通テスト利用入学者選抜試験 (E日程) 志願者数 0名
志願者数合計 0名 (前年実績 1名)
- ・2020年度第2回後援会理事会開催 (書面表決)
内 容／2020年度決算, 2021年度予算, 役員選出の審議など
- ・2年生成績通知
- ・3年生成績通知

以 上

5. 管理運営

1) 総務会

総務会構成員

渡辺好明学長，中井 裕副学長・食料産業学部長・食料産業学科長，伊藤豊彰食料産業学科アグリ
コース長，丸山純一食料産業学科フードコース長，武本俊彦食料産業学科ビジネスコース長，佐久間
俊也新潟総合学園法人事務局長，堀川雅行新潟総合学園企画調整部長，森 常不事務局長
(事務局) 矢田広視(若井和則)新潟キャンパス長兼社会連携推進課長，小船井克洋学務部長兼企画・
IR 室長，奥村雄一入試広報部長，種畑賢二総務課長，刀根 聡入試広報課長，水谷太郎学
務課長

(オブザーバー) 江川 守新潟総合学園参与，佐藤 宏新潟総合学園総務部長，片岡 昇新潟医療福
祉大学総務部長，牧浦秀紀新潟総合学園企画調整部企画課長

主な審議事項および決定事項等

(1) 学則・規程について

- ・特待生規程およびスポーツ特待生規程の改定の承認
- ・入試広報委員会規程の改定の承認
- ・専門科目群フードコース授業科目の追加および学則変更の承認
- ・授業科目の開講時期および開講年次変更に伴う学則変更の承認
- ・新潟食料農業大学学生の懲戒に関する基準改定の承認
- ・ヒトを対象とする研究に関する倫理委員会規程改定の承認

(2) 制度・組織・人事・業績・評価について

- ・客員教授称号の付与の承認
- ・AC 教員審査受審の承認
- ・非常勤講師採用の承認
- ・専任教員補充計画の承認
- ・専任教員候補者採用選考合格の承認
- ・専任教員採用の承認
- ・新潟食料農業大学大学院修士課程設置計画の承認
- ・新潟食料農業大学中長期計画の設定期間の承認
- ・2021 年度入学式実施要綱の承認
- ・令和元年度設置計画履行状況等調査結果の報告
- ・AC 教員審査結果の報告
- ・2021 年度新任教職員対象オリエンテーション実施要項の報告
- ・ビジティング・フェロー称号付与の報告
- ・2021 年度新潟食料農業大学組織体制の報告
- ・2021 年度新潟食料農業大学管理職者の報告
- ・2021 年度新潟食料農業大学総務会構成員の報告
- ・2021 年度新潟食料農業大学各種委員長・センター長の報告

(3) 教育について

- ・2020 年度学事暦の報告
- ・2021 年度学事暦の報告
- ・2021 年度時間割の報告

(4) 学生について

- ・ 困窮学生を対象とした本学独自支援の承認
- ・ 民法改正に伴う入学時の誓約書および身元保証書の変更の承認
- ・ 2020 年度退学・除籍発生状況の報告
- ・ 高等教育の修学支援制度機関認定の更新の報告
- ・ 外国人留学生学習奨励費特別追加採用の報告
- ・ 新潟地域留学生等交流推進会議への入会の報告
- ・ 地方出入国在留管理局における教育機関の適正性の選定結果の報告

(5) 研究について

- ・ 2020 年度学長裁量研究費実施要綱の承認
- ・ 2020 年度学長裁量研究費交付の承認
- ・ 2020 年度学長特別研究費配賦の承認
- ・ 2020 年度科研費採択結果の報告
- ・ 2021 年度科研費申請状況の報告

(6) 学生募集・入学選考試験について

- ・ 2021 年度入学者選抜試験実施概要の承認
- ・ 2021 年度入学者選抜指定校の承認
- ・ 2021 年度入学者選抜合否判定会議 代議員および開催日の承認
- ・ 2021 年度入学者選抜 総合型選抜「地域選抜型」の追加および「地域特待生制度」の創設の承認
- ・ 大学入試共通テスト特例措置追試験の成績の取り扱いの承認
- ・ 2021 年度入学者選抜試験追加実施の承認
- ・ 2020 年度入学選考試験結果の報告
- ・ 2021 年度入学者選抜試験出願結果の報告
- ・ 2021 年度入学者選抜試験結果の報告
- ・ 2020 年度オープンキャンパス動員結果の報告

(7) 国際交流について

- ・ 令和 2 年度国際理解セミナー「アジアを知る！」委託事業申請の承認

(8) 社会連携について

- ・ 村上市との包括的連携協定の承認
- ・ 「ジブンノミライ」NAFU JOB 博 2020 の開催の承認
- ・ 新潟食料健康研究機構発足記念シンポジウム企画の承認
- ・ 酒類等の試験製造免許取得申請の承認
- ・ 秘密保持覚書の報告

(9) その他

- ・ 胎内キャンパス駐車場拡張計画の承認
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策本部会議の報告

2) 教授会

教授会構成員

副学長・学部長，コース長，教授，准教授，講師，その他陪席：助教，助手，事務局

主な審議事項および決定事項等

(1) 学則・規程について

- ・卒業研究に関する申し合わせの承認
- ・専門科目群フードコース授業科目の追加および学則変更の承認
- ・卒業見込証明書発行に関する申し合わせの承認
- ・新潟食料農業大学学生の懲戒に関する基準の改定の報告

(2) 制度・組織・人事・業績・評価について

- ・客員教授称号付与の報告
- ・ビジティング・フェロー称号付与の報告
- ・AC 教員審査結果の報告
- ・大学院修士課程設置の報告
- ・新潟食料農業大学中長期計画の設定期間の報告

(3) 教育について

- ・キャンパス間移動に伴う履修制限の変更の承認
- ・2020 年度編入学生単位認定の承認
- ・2020 年度後期学事暦の変更の承認
- ・2020 年度海外研修非開講の承認
- ・2021 年度フードコース教員担当科目追加の承認
- ・2021 年度時間割確定に伴う科目の開講学期等の変更の承認
- ・2021 年度学事暦の承認
- ・2021 年度時間割の承認
- ・2021 年度卒業論文・要旨執筆要領の承認
- ・2021 年度編入学生の認定単位数等の承認
- ・2021 年度前期時間割（教室分散）の承認
- ・専任教員退職に伴う科目担当教員，授業実施方法変更等の承認
- ・2021 年度「卒業研究Ⅱ」「卒業研究Ⅲ」主・副指導教員の承認
- ・2021 年度 学事暦の報告
- ・2021 年度 時間割の報告
- ・メディア授業の受講に関する禁止事項の報告
- ・2020 年度海外研修の報告
- ・2021 年度コース配属の報告
- ・3 年次進級判定の報告

(4) 学生について

- ・学籍異動（除籍）の承認
- ・学生支援緊急給付金に係る学内審査体制の承認
- ・学籍異動状況の報告
- ・大学祭開催の報告
- ・疾病および障がいをかかえる新入生対応の報告
- ・「学生緊急支援寄附金」による給付対象選考結果の報告
- ・学生満足度調査アンケートの実施の報告
- ・外国人留学生の在籍管理にかかる教育適正性の選定結果の報告

(5) 研究について

- ・学長特別研究費交付の報告
- ・学長裁量研究費交付の報告
- ・2020 年度科研費採択結果の報告
- ・2021 年度科研費申請の報告

(6) 学生募集・入学選考試験について

- ・2022 年度入学者選抜試験日程および 2021 年度オープンキャンパス日程の承認
- ・2020 年度オープンキャンパス日程の報告
- ・2021 年度入学選考試験概要の報告
- ・2021 年度入学選考試験出願結果の報告
- ・2021 年度入学選考試験結果の報告
- ・2021 年度入学選考試験合否判定会議結果の報告

(7) 国際交流について

- ・留学生交流会の実施結果の報告
- ・2020 年度国際理解セミナー「アジアを知る！」実施の報告

(8) 社会連携について

- ・実践行動学の導入の承認
- ・キャリアセンターWeb 面談の報告
- ・村上市との包括的連携協定の報告
- ・新潟食料健康研究機構発足記念シンポジウム企画の報告
- ・「ジブンノミライ」NAFU JOB 博 2020 の開催の報告

(9) その他

- ・新型コロナウイルス感染症対策本部会議の報告
- ・各種委員会の報告
- ・教育経費の執行の報告
- ・教職員健康診断実施についての報告
- ・避難（防災）訓練実施の報告
- ・年報作成についての報告
- ・新入生オリエンテーションスケジュールについての報告
- ・入学式実施要綱についての報告
- ・令和元年度設置計画履行状況等調査結果の報告
- ・胎内キャンパス駐車場拡張計画の報告

3) 各種委員会活動

(1) 将来計画機構運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

中井 裕（委員長），丸山純一（フードコース，副委員長），伊藤豊彰（アグリコース），武本俊彦（ビジネスコース兼教育研究計画 WG），森 常不（事務局長）／事務局：種畑賢二

②会議開催回数 2 回

③審議（検討）事項

該当なし

- ④承認（決定）事項
 - 1) 中長期計画策定スケジュールについて
 - 2) 中長期の策定手順について
 - 3) 完成年度以降のカリキュラム改定について
- ⑤報告事項（説明・案内事項等含む）
該当なし

(2) 人権委員会

- ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）
居城幸夫（アグリコース，委員長），小熊哲哉（フードコース），青山浩子（ビジネスコース），種畑賢二（総務課長）／事務局：佐藤 学
- ②会議開催回数 3回（内メール審議回数は1回）
- ③審議（検討）事項
 - 1) 規則改定時における秘密保持に関する条項の拡充について
 - 2) ハラスメント小パンフレットの作成工程および記載内容の修正について
 - 3) ハラスメント相談窓口の案内内容修正について
 - 4) 教職員向けのハラスメント研修の実施に向けて
- ④承認（決定）事項
 - 1) 胎内市人権教育，同和教育推進協議会への出席者の選出
 - 2) 各年次の4月オリエンテーション時に実施するハラスメント講習の「実施日時・説明内容・担当者」について
 - 3) 学生向けの「デートDVセミナー」の後期（秋頃）の実施について
- ⑤報告事項（説明・案内事項等含む）
 - 1) 胎内市人権教育，同和教育推進協議会への出席者の選出
 - 2) 新任教職員オリエンテーション時に実施するハラスメント研修の内容と担当者の選出
 - 3) 2, 1年次の4月オリエンテーション時に実施する同和問題研修の内容と担当者の選出
 - 4) ハラスメント相談窓口に関する学内外サイトでの普及と今後の対応について

(3) 遺伝子組換え実験安全委員会

- ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）
佐藤豊三（アグリコース，委員長），木下勝一（ビジネスコース），吉岡俊人（アグリコース），小熊哲哉（フードコース），浅野亮樹（アグリコース，安全主任者）／事務局：稲本俊彦
- ②会議開催回数 1回（内メール審議回数 1回）
- ③審議（検討）事項
 - 1) 遺伝子組換え実験安全講習の資料について
- ④承認（決定）事項
 - 1) 本学教員を対象に遺伝子組換え実験の予定について
 - 2) 遺伝子組換え実験予定者に対する講習会実施について
- ⑤報告事項（説明・案内事項等含む）
 - 1) 講習会受講者4名が本学での遺伝子組換え実験が可能となったことについて

(4) 社会連携推進委員会

- ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）
武本俊彦（ビジネスコース，委員長），高力美由紀（ビジネスコース，副委員長），早川喜郎（フードコース），横向慶子（フードコース），松村順二（ビジネスコース，キャリアセンター長），居城幸夫（ア

グリコース), 田副雄士 (アグリコース), 吉井洋一 (新潟食料研究機構) (5月～) /事務局: 矢田
広視 (~12月), 若井和則 (1月～), 宮路 隆, 渡部貴子, 高橋光一郎, 村島敏治, 佐藤江利子, 土
屋妃香里

②会議開催回数 12回

③審議 (検討) 事項

- 1) 実践行動学の実施内容およびスケジュール調整について
- 2) フードメッセ in にいがた 2020 出店企画およびスケジュールについて
- 3) アグロフードセミナー (新潟食料健康研究機構発足記念講演) について
- 4) 村上市との包括的連携協定 (2020年12月18日協定) の協定書について
- 5) ジブンノミライ NAFU JOB 博 (12月23日開催) の詳細について

④承認 (決定) 事項

- 1) 2020年度社会連携推進委員会のスケジュール案について
- 2) 2020年度社会連携推進室事業計画について
- 3) 共同研究, 受託研究, プロジェクト等調査票について
- 4) 大学図書館 SDGs 特設ブースの設置企画について
- 5) SDGs に関わる取り組みおよび大学 HP への情報掲載について
- 6) 社会連携推進事業の在り方について
- 7) 学生の地域連携活動における支援体制について
- 8) 2021年度社会連携推進委員会スケジュールについて

⑤報告事項 (説明・案内事項等含む)

- 1) 新潟の産業・企業を知る講座申請内容について
- 2) キャリアセンターの就職支援活動実績および活動計画について
- 3) フードメッセ in にいがた 2020 出店見送りについて
- 4) インターンシップ I (胎内, 新潟) の実施計画, 運営, 振り返り内容について
- 5) キャリアセンター公式 LINE アカウント運用について
- 6) 就職セミナー参加学生の状況, 就職活動状況について
- 7) インターンシップ II 取り扱いおよび受け入れ企業の状況について
- 8) 進級生オリエンテーション キャリアセンター実施プログラムについて
- 9) 社会連携推進活動について

(5) 図書・情報委員会

①委員名簿 (敬称略, コース, 委員会役職)

岩坂健志 (ビジネスコース, 委員長), 阿部憲一 (フードコース), 西牧和也 (アグリコース) /事務局:
村山陽亮, 多ヶ谷千穂, 高橋里緒

②会議開催回数 13回 (臨時委員会 1回)

③審議 (検討) 事項

- 1) 情報漏洩 (メール誤送信) の対応について
- 2) 紀要の発行について (次年度以降へ継続審議)
- 3) 電子ジャーナルの ID・パスワードの取扱について
- 4) 蔵書点検の実施日について
- 5) 新発田警察署への「留学生」情報の提供について

④承認 (決定) 事項

- 1) コロナウイルス感染拡大防止に関する図書館 (室) の開館時間について
- 2) 個人情報保護テストの教職員向けの実施について
- 3) SDGs 特設ブースを図書館 (室) に期間限定で設置することについて

- 4) 寄贈図書登録・配架の基準作成について
- 5) ウイルスソフト (E-SET) の更新作業の学内周知について
- ⑤報告事項 (説明・案内事項等含む)
 - 1) コロナウイルス感染拡大防止に関する学外者の利用禁止について
 - 2) 新潟キャンパス図書室の寄贈図書整理の完了について
 - 3) 卒業研究 I の講義における「電子ジャーナル・データベースの使用方法」の説明について
 - 4) 図書館システム (E-Cats) のバージョンアップの実施について

(6) 自己点検・評価委員会

- ①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

中井 裕 (委員長), 丸山純一 (フードコース, 副委員長), 伊藤豊彰 (アグリコース), 武本俊彦 (ビジネスコース), 森 常不 (事務局長) / 事務局: 種畑賢二
- ②会議開催回数 0 回
- ③審議 (検討) 事項

該当なし
- ④承認 (決定) 事項

該当なし
- ⑤報告事項 (説明・案内事項等含む)

該当なし

(7) ヒトを対象とする研究に関する倫理委員会

- ①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

横向慶子 (フードコース, 委員長), 伊藤崇浩 (アグリコース), 鈴木孝男 (ビジネスコース), 斎藤トシ子 (学外学識経験者) / 事務局: 種畑賢二
- ②会議開催回数 2 回
- ③審議 (検討) 事項

該当なし
- ④承認 (決定) 事項
 - 1) 倫理審査の申請方法について
 - 2) 倫理審査対象の範囲, 線引きについて
 - 3) 倫理審査について
- ⑤報告事項 (説明・案内事項等含む)

該当なし

(8) 教務委員会

- ①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

長島裕二 (フードコース, 委員長), 鈴木孝男 (ビジネスコース), 吉岡俊人 (アグリコース), 青山浩子 (ビジネスコース), 伊藤崇浩 (アグリコース), 甲斐慎一 (フードコース) / 事務局: 水谷太郎, 曾根夏紀
- ②会議開催回数 20 回 (内メール審議回数は 6 回)
- ③審議 (検討) 事項
 - ・専任教員の UNIPA における学生個人情報の閲覧について
 - ・専任教員の UNIPA における学生個人情報閲覧実施に伴う個人情報・非公開情報の非開示誓約について
 - ・2021 年度時間割について

- ・ 2021 年度学事暦について
- ・ 授業の公欠に係る取扱いについて
- ・ 卒業論文および卒業研究発表に関する申合せについて
- ・ 卒業論文および卒業論文要旨の執筆要領の策定
- ・ 2021 年度開講学期等変更希望科目について
- ・ 卒業見込証明書発行に関する申合せ内容について

④承認（決定）事項

1) 履修・試験等について

- ・ 遠隔授業の導入および遠隔授業の禁止事項の内容について
- ・ 2019 年度成績不振者および編入学生に対する履修指導の対応について
- ・ キャンパス間移動に伴う履修登録制限の変更について
- ・ 2020 年度編入学生の単位認定について
- ・ 2020 年度前期定期試験実施要綱および各種様式について
- ・ 2020 年度前期定期試験時間割について
- ・ 2020 年度後期授業運営方法について
- ・ 履修登録期間後の例外的な履修登録措置について
- ・ 海外から日本に入国できない留学生への対応について
- ・ Microsoft Teams での授業の聴講について
- ・ 後期履修登録確認期間変更について
- ・ 単位取得不振者に対する履修指導について
- ・ 「栽培科学実験・実習」, 「食品科学実験・実習」, 「食品栄養学」, 「HACCP システム論」の成績評価確定日および学生に対する周知内容について
- ・ 2021 年度卒業論文および卒業論文要旨の執筆要領について
- ・ 卒業論文・卒業判定に関するスケジュールについて
- ・ 2020 年度後期定期試験実施要綱および各種様式について
- ・ 2020 年度後期定期試験時間割について
- ・ 成績不振者に対する履修指導実施について

2) 時間割について

- ・ 2020 年度健康診断実施日の前期学期から後期学期への変更について
- ・ 2020 年度前期・3 年次・選択科目「インターンシップⅡ」の非開講について
- ・ 2020 年度前期・1 年次・必修科目「スポーツ実践」および「からだど健康」の時間割変更について
- ・ 2020 年度前期時間割変更について
- ・ 2020 年度前期学事暦の一部変更について
- ・ 2020 年度後期時間割変更について
- ・ 2020 年度後期学事暦変更について
- ・ 「HACCP システム論」(専門科目群)の追加について
- ・ 2 年次・後期・選択科目「海外研修」の非開講について
- ・ 2021 年度「栽培科学実験・実習」および「植物分子科学実験・実習」の日程変更について

3) その他

- ・ 2020 年度「基礎ゼミⅡ」副担任の決定について
- ・ 遠隔システムによるオフィスアワー実施について
- ・ 2020 年度前期・後期「授業評価アンケート」項目について
- ・ 2020 年度前期「遠隔授業に関するアンケート」項目および実施スケジュールについて
- ・ 2020 年度前期遠隔授業アンケート分析結果について

- ・後期学期オリエンテーションの実施方法について
- ・体調不良等による通学自粛要請に伴う公欠期間中の授業対応について
- ・フードコース教員の担当科目追加について
- ・コース配属および進級判定に係るスケジュールの審議・承認
- ・転コースに関する申合せについて
- ・2021 年度教務委員会関連スケジュールについて
- ・2021 年度新学期オリエンテーションスケジュールおよび実施内容について
- ・2021 年度非常勤講師の遠隔講義実施の承認
- ・2021 年度 3 年次編入学生のコース配属および認定単位について
- ・2021 年度「基礎ゼミⅠ」, 「基礎ゼミⅡ」担当教員および「基礎ゼミⅡ」副担任の決定について
- ・2021 年度「卒業研究Ⅱ」, 「卒業研究Ⅲ」主・副指導教員の決定について
- ・2021 年度コース配属および説明会について
- ・3 年次進級判定について
- ・専任教員退職に伴う科目担当教員および授業実施方法等の変更について

⑤報告事項（説明・案内事項等含む）

- ・2020 年度前期授業開始日および遠隔授業の実施内容等について
- ・2020 年度新入生オリエンテーションおよびプレースメントテスト出席状況について
- ・平成 30 年改正著作権法による「授業目的公衆送信補償金制度」施行について
- ・「化学の基礎」担当非常勤講師の就任辞退について
- ・「植物育種学」, 「法学」, 「ICT 農業概論」授業スケジュールについて
- ・遠隔授業実施に伴う「欠席届」の運用方法変更について
- ・2020 年前期授業評価アンケート結果について
- ・2020 年度後期授業科目の担当教員について
- ・2020 年度「コース説明会」について
- ・本年度後期や次年度の各授業科目の実施方法に係る留意点について
- ・9 月の実験・実習, 集中講義予定について
- ・「畜・水産物利用学」非常勤教員の授業実施方法の変更について
- ・2020 年度前期成績登録状況について
- ・2020 年度前期成績の通知について
- ・2 年生・3 年生後期オリエンテーションの実施状況について
- ・2020 年度後期オフィスアワーについて
- ・2020 年度前期オフィスアワー相談回数について
- ・大学設置準備委員会における卒業判定に関する決定事項について
- ・2021 年度担当教員未定科目（非常勤教員）調整状況について
- ・2021 年度新学期オリエンテーションおよび授業等実施に伴う新型コロナウイルス感染防止対策について
- ・英語専任教員の就任について
- ・「経営学」, 「経営学基礎」, 「ICT 農業概論」, 「心理学概論」非常勤教員の就任について
- ・2021 年度前期・後期 集中講義スケジュールについて
- ・後期学期の教室分散に関する問題について
- ・2021 年度教室分散の策定状況について
- ・2020 年度後期授業評価アンケートの結果について

(9) 学生委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

山中 亮（アグリコース・委員長），斎藤 順（ビジネスコース・副委員長），浅野亮樹（アグリコース），
趙 鉄軍（アグリコース），渡邊剛志（フードコース），Llave Yvan（フードコース），高力美由紀（ビ
ジネスコース）／事務局：小船井克洋，門脇裕二，高橋里子，佐藤雄太郎

②会議開催回数 13 回（内メール審議回数は 1 回）

③審議（検討）事項

1) 「新潟食料農業大学学生の懲戒に関する基準」の改定について

④承認（決定）事項

1) 2020 年度の活動方針（予定）について

2) 連続欠席学生の対応について

3) 各コースの学生委員からの新 1 年生の副担任選出について

4) 新型コロナウイルス感染症に伴う，担任教員および各コースの教員による学生面談の実施につい
て

5) 後期開始前の学生相談の実施について

6) 担任制の具体的な役割について

7) 医務室相談「N カフェ」の開設および相談内容，概要の共有について

8) 学生心理相談室の名称変更について

9) UNIPA プロファイル機能を利用しての学生情報共有について

10) 2020 年度上期後援会誌について

11) 後期開始時のオリエンテーションでの注意喚起内容について

12) 2020 年度後期学生指導概要等について

13) 2020 年度後期学内巡視の概要，実施日時等について

14) 学内での喫煙者への対応内容について

15) 本学独自奨学金の募集，選考案について

16) ロータリー米山奨学金事前研修の実施について

17) 学生総合保障制度未加入者への加入促進対応案について

18) 大学祭の実施概要について

19) 学友会所属クラブ・サークル活動許可について

20) 学生満足度アンケート実施概要，アンケート項目について

21) 学生表彰の推薦実施案について

22) 新型コロナウイルス感染者への個人特定行為や誹謗中傷に係る指導の対応案について

23) 2021 年度新入生交流会実施について

⑤報告事項（説明・案内事項等を含む）

1) 連続欠席学生について

2) 自国へ帰国している学生の現況と今後の予定について

3) 2020 年度退学・除籍発生状況について

4) 心理相談室，医務相談室の利用状況について

5) 奨学金の応募状況について

6) ロータリー米山奨学金の結果について

7) 「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』の選考結果について

8) 留学生交流会の実施について

9) 学内巡視の結果について

10) 冬道交通安全講習会の実施結果について

11) 胎内市教育委員会表彰の結果について

- 12) 学生表彰の推薦結果について
- 13) 学友会所属のクラブ・サークルの活動承認結果について
- ⑥その他
 - 1) TA・SA 制度の導入について
 - 2) スクールカウンセラーの配置, 各種支援センターの設置等について

(10) 入試・広報委員会

①委員名簿（敬称略, 所属, 委員会役職）

早川喜郎（フードコース, 委員長）, 金子孝一（ビジネスコース, 副委員長）, 伊藤豊彰（アグリコース）, 佐藤豊三（アグリコース）, 小熊哲哉（フードコース）, 阿部憲一（フードコース）, 斎藤 順（ビジネスコース）／事務局：奥村雄一, 刀根 聡, 岡部 亮, 渡部省太

②会議開催回数 12 回

③審議（検討）事項

- 1) 2021 年度入学者選抜試験における選抜試験区分別の実施概要について
- 2) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う入学者選抜試験概要の変更について
- 3) 2021 年度入学者選抜試験の合否判定会議構成員および開催日程について
- 4) 入学者選抜試験区分の名称変更に伴う各種規程の変更について
- 5) 地域特待生制度の導入について
- 6) 2021 年度学生募集要項の記載事項および出願書類の書式等について
- 7) 2021 年度学校推薦型選抜指定校制における指定高等学校の選出について
- 8) 2021 年度入学者選抜試験における教員の人員配置について
- 9) 2021 年度入学者選抜試験の問題作成および検討部会の担当者について
- 10) 2021 年度入学者選抜試験の選抜試験区分別試験科目の評価方法について
- 11) 2021 年度入学者選抜試験の選抜試験区分別の合否判定の配点について
- 12) 2021 年度一般選抜における得点調整方法について
- 13) 2021 年度編入学選抜試験の実施について
- 14) 2021 年度編入学選抜試験の指定学校の選出について
- 15) 2021 年度入学者選抜試験の採点業務における担当者およびスケジュールについて
- 16) 2021 年度総合型選抜自己推薦型およびスポーツ型, 学校推薦型選抜指定校制, 共通テスト利用選抜の追加実施について
- 17) 高等学校教諭対象大学説明会の実施日程およびプログラム内容について
- 18) 2021 年度オープンキャンパスの日程およびプログラム概要について
- 19) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う非接触型広報（WEB オープンキャンパス, オンラインガイダンス, オンライン出張講義, オンライン個別相談等）の実施について
- 20) アカデミック・インターンシップの実施日程およびプログラム内容について
- 21) 独自ガイダンス（東京）の実施について
- 22) 出張講義の依頼方法および報告書の作成について
- 23) 本学サイトリニューアルについて
- 24) 2021 年度大学案内パンフレットのコンセプトおよびページ構成について

④承認（決定）事項

- 1) 2021 年度入学者選抜試験の選抜試験区分別の実施概要について
- 2) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う入学者選抜試験概要の変更について
- 3) 2021 年度入学者選抜試験の合否判定会議構成員および開催日程について
- 4) 入学者選抜試験区分の名称変更に伴う各種規程の変更について
- 5) 地域特待生制度の導入について

- 6) 2021 年度学生募集要項の記載事項および出願書類の書式等について
 - 7) 2021 年度学校推薦型選抜指定校制における指定高等学校について
 - 8) 2021 年度入学者選抜試験における教員の人員配置について
 - 9) 2021 年度入学者選抜試験の問題作成および検討部会の担当者について
 - 10) 2021 年度入学者選抜試験の選抜試験区分別試験科目の評価方法について
 - 11) 2021 年度入学者選抜試験の選抜試験区分別の合否判定の配点について
 - 12) 2021 年度一般選抜における得点調整方法について
 - 13) 2021 年度編入学選抜試験の実施について
 - 14) 2021 年度編入学選抜試験における指定学校について
 - 15) 2021 年度入学者選抜試験の採点業務における、担当者およびスケジュールについて
 - 16) 2021 年度総合型選抜自己推薦型およびスポーツ型、学校推薦型選抜指定校制、共通テスト利用選抜の追加実施について
 - 17) 高等学校教諭対象大学説明会の日程およびプログラム内容について
 - 18) 2021 年度オープンキャンパスの日程およびプログラム概要について
 - 19) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う非接触型広報（WEB オープンキャンパス、オンラインガイダンス、オンライン出張講義、オンライン個別相談等）の実施について
 - 20) アカデミック・インターンシップの日程およびプログラム内容について
 - 21) 独自ガイダンス（東京）の実施について
 - 22) 出張講義の依頼方法および報告書について
 - 23) 本学サイトリニューアル方針および内容について
 - 24) 2021 年度大学案内パンフレットのコンセプトおよびページ構成について
- ⑤報告事項（説明、案内事項等含む）
- 1) 新入生アンケートの実施説明および結果について
 - 2) 2021 年度入学者選抜試験の出願状況および結果について
 - 3) 各月のオープンキャンパスの動員結果について
 - 4) 本学ホームページのアクセス状況について
 - 5) 出張講義および会場ガイダンスの依頼状況について

(11) FD・SD 委員会

- ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）
鈴木孝男（ビジネスコース，委員長），浅野亮樹（アグリコース），佐藤根妃奈（フードコース）／事務局：水谷太郎
- ②会議開催回数 6 回
- ③審議（検討）事項
該当なし
- ④承認（決定）事項
 - 1) 開催中止となった新任教職員オリエンテーション時の FD・SD 研修の開催方法について
 - 2) 新任教職員オリエンテーション時の FD・SD 研修 臨床心理士 鈴木聡美 氏 研修資料「学生心理相談室の状況および学生から相談を受ける際の注意点について」の音声入りデータ資料の専任教員への公開について
 - 3) 著作権の取り扱いに関する FD・SD 研修の実施について
 - 4) 留学生指導・サポートに関する FD・SD 研修の実施について
 - 5) 就職活動サポートに関する FD・SD 研修の実施について
 - 6) 2020 年度 FD・SD 委員会活動報告書の作成について
 - 7) 2021 年度 心理的な問題を抱える学生対応に関する FD・SD 研修の実施について

- 8) 2021 年度新任教職員オリエンテーションにおける FD・SD 研修について
- 9) 2021 年度 FD・SD 研修およびスケジュールの策定について

⑤報告事項（説明・案内事項等含む）

- 1) 今後の FD・SD 研修テーマおよび方針について
- 2) 2020 年度 FD・SD 研修（WEB・メール公開）実施状況について
- 3) 他大学 FD・SD 研修内容の公開状況について
- 4) 各コースからの FD・SD 研修テーマの要望について

⑥その他（2020 年度 FD・SD 委員会主催 研修実績）

- 1) 第 1 回 FD・SD 研修（新任教職員向け研修）

実施月：2020 年 4 月

テーマ：数学の基礎を教える

講師：浅野亮樹 講師

方法：WEB 動画

- 2) 第 2 回 FD・SD 研修（新任教職員向け研修）

実施月：2020 年 4 月

テーマ：ビジネスプランニング I・II を振り返って

講師：松村順二 准教授

方法：メール

- 3) 第 3 回 FD・SD 研修（新任教職員向け研修）

実施月：2020 年 4 月

テーマ：学生心理相談室の状況および学生から相談を受ける際の注意点について

講師：学生心理相談室 臨床心理士 鈴木聡美氏

方法：WEB 動画

- 4) 第 4 回 FD・SD 研修

実施日：2020 年 11 月 25 日（水）

テーマ：著作権の取り扱いについて

講師：りゅーと法律税務会計事務所 大湊由香氏

方法：遠隔（Microsoft Teams）

出席者：教員 31 名，職員 18 名 計 49 名

- 5) 第 5 回 FD・SD 研修

実施日：2021 年 1 月 27 日（水）

テーマ：就職活動の全体像と大学における就職支援

講師：株式会社ベネッセ i キャリア

事業推進部 大学企画課 課長 清水 謙氏

商品サービス本部 グローバルビジネス開発課 岸 潤一郎氏

大社接続事業本部 東日本営業 2 課 大橋美優花氏

株式会社ベネッセコーポレーション

グローバル事業開発部 グローバルビジネス開発課 室 雅子氏

方法：遠隔（Microsoft Teams）

出席者：教員 29 名，職員 27 名 計 56 名

(12) 国際交流委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

丸山純一（フードコース，委員長），伊藤豊彰（アグリコース），荒木 肇（アグリコース），趙 鉄軍（アグリコース），西牧和也（アグリコース），武本俊彦（ビジネスコース），Llave Yvan（フードコース）

／事務局：小船井克洋，矢田広視，E. ムングンソロンゴ

②会議開催回数 5回（メール審議 3回，Teams 審議 2回）

③審議（検討）事項および④承認（決定）事項

1）授業科目「海外研修」の実施について

2）新潟県国際交流協会委託事業；国際理解セミナー「アジアを知る！」の実施について

3）新潟地域留学生等交流推進会議への入会について

4）2021年度新潟県留学生交流推進員の推薦について

⑤報告事項（説明・案内事項等含む）

1）2020年度新潟県留学生交流委員の任命について

2）春季休暇中に帰国したために入国困難となった，自国にて遠隔授業を受講せざるを得ない留学生について

3）留学生の在留期間更新状況について

(13) 環境整備委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

伊藤豊彰（アグリコース，委員長），田副雄士（アグリコース），松村順二（ビジネスコース），佐藤根妃奈（フードコース）／事務局：種畑賢二

②会議開催回数 4回

③審議（検討）事項

1）学生および教職員で行う年2回（春，秋）の圃場・駐車場周辺の草刈り，落ち葉，ゴミ拾いの実施について

2）2021年度胎内キャンパス卒研用に占有する部屋割りにについて

④承認（決定）事項

該当なし

⑤報告事項（説明・案内事項等含む）

1）2021年度基礎ゼミ実施に伴い使用する部屋割りにについて

6. 大学の公開と広報

1) 講演会等

2020 年度に公開された講演会等

〈2021 年〉

- ・ 2 月 17 日 (水) アグロフードセミナー 新潟食料健康研究機構発足シンポジウム

テーマ：持続可能な社会における食と健康

(記念講演)

演 題：食と健康でビジネスチャンスを広げる

講 師：株式会社ブルボン 取締役社長 (代表取締役) 吉田 康 氏

(パネルディスカッション)

テーマ：「未来の食と健康を考える」

ファシリテーター：新潟食料農業大学

社会連携推進室長 武本俊彦

登壇者：株式会社ブルボン 取締役社長 (代表取締役) 吉田 康 氏

機構長 中井 裕, 所長 丸山純一

2) 広報活動

(1) 大学広報誌の発行

- ・ 2020 年 10 月 第 4 号 発行
- ・ 2021 年 3 月 第 5 号 発行

(2) 各種広報物の作成

- ・ 大学案内パンフレット, 入試ガイド, オープンキャンパス案内 DM, 女子学生紹介リーフレット, 在学生インタビューリーフレット, 「食の匠」就職リーフレット, 出張講義リーフレット, 指定強化部紹介リーフレット, 各種入試案内リーフレット 等

(3) ホームページの管理・運営

- ・ リニューアルによる大学情報の充実
- ・ 動画コンテンツの充実化および情報発信
- ・ 入学者選抜試験概要等の入試情報の発信
- ・ 学部学科情報, 在学生の様子, オープンキャンパス, 入学者選抜試験等の大学情報の発信
- ・ 教育研究上の目的, 授業科目等の教育情報公開に係る情報発信
- ・ ブログによる情報発信 (学生インタビュー, 課外活動, 強化部, 食農大の日常等の記事を掲載) 年間 179 本
- ・ 大学公式 Instagram, Facebook, Twitter, YouTube, LINE @等の各種 SNS による情報発信
- ・ SEO (内部・外部) 施策の充実

(4) オープンキャンパスの実施

- ・ 年間 18 回開催
来場型 (7 月, 8 月, 9 月, 10 月, 11 月, 12 月, 3 月)
WEB 型 (4 月, 6 月, 7 月, 8 月, 9 月, 10 月, 11 月, 12 月, 1 月, 2 月, 3 月)

(5) 進路相談会等への参加

- ・ 会場ガイダンス (ブース参加/オンライン含む) 74 会場/ (資料参加) 4 会場

- ・高校内ガイダンス（オンライン含む） 139 校
- ・高校出張講義（オンライン含む） 31 講座
- ・大学見学の受入れ 2 団体（高校 2 校／中学校 0 校）

(6) 高校教諭対象大学説明会の実施

- ・2020 年 7 月 7 日（火）オンライン型 2 校
- ・2020 年 7 月 8 日（水）～17 日（金）動画視聴型 19 校
- ・2020 年 9 月 1 日（火）～18 日（金）動画視聴型 5 校
- ・2020 年 10 月 1 日（木）来場型（胎内キャンパス） 2 校

(7) メディア広報

- ・TVCM 「オープンキャンパス開催告知」計 368 本（7 月 3 日～7 月 15 日）
「一般入試告知」 計 449 本（12 月 24 日～1 月 24 日）
- ・パブリシティー掲載 TV, 新聞等 年間 46 件掲載

(8) その他

- ・高校訪問活動, 首都圏での説明会開催

7. 研究活動

1) 食料産業学部

(1) 食料産業学科

氏名：中井 裕

1 研究題目

1. 病原性微生物の生態とその防御－とくに動物およびヒトに感染する原虫病－, 2. 微生物機能を活用した食品産業廃棄物の処理・利用, 3. 牛のルーメン（第一胃）微生物を活用したセルロース系有機廃棄物の処理および利用

2 著書

1. 中井裕. 単著. デンマーク「希望の絆」東日本大震災から10年の記憶と記録. 書籍. 1版. 東京：マイティブック；2021：179-186（発刊済）
2. 中井裕. 単著. 復興農学テキスト. 書籍. 1版. 仙台：東北復興センター；2020：1-21（発刊済）

3 論文

1. Takizawa S, Abe K, Fukuda Y, Feng M, Baba Y, Tada C, Nakai Y. 共著（コレスポンディングオーサー）. Recovery of the fibrolytic microorganisms from rumen fluid by flocculation for simultaneous treatment of lignocellulosic biomass and volatile fatty acid production. 原著論文. Journal of Cleaner Production. 2020；DOI：10.1016/j.jclepro.2020.120626（発刊済）
2. Takizawa S, Baba Y, Tada C, Fukuda Y, Nakai Y. 共著（コレスポンディングオーサー）. Sodium dodecyl sulfate improves the treatment of waste paper with rumen fluid at lower concentration but decreases at higher condition. 原著論文. Journal of Material Cycles and Waste Management. 2020；22：656-663（発刊済）
3. Lee CG, Baba Y, Asano R, Fukuda Y, Tada C, Nakai Y. 共著（コレスポンディングオーサー）. Identification of bacteria involved in the decomposition of lignocellulosic biomass treated with cow rumen fluid by metagenomic analysis. 原著論文. Journal of Bioscience and Bioengineering. 2020；130(2)：137-141（発刊済）
4. Asano R, Hayakawa A, Fukushima J, Nakai Y. Shimura Y, Abe M, Inamoto T. 共著. IChanges in Bacterial Communities in Seawater-Flooded Soil in the Four Years After the 2011 Tohoku Tsunami in Japan. 原著論文. Journal of Marine Science and Engineering. 2020；8(2)：76-76（発刊済）
5. Mori Y, Tada C, Fukuda Y, Nakai Y. 共著（コレスポンディングオーサー）. Diversity of Sulfur-oxidizing Bacteria at the Surface of Cattle Manure Composting Assessed by an Analysis of the Sulfur Oxidation Gene soxB. 原著論文. Microbes & Environments. 2020；35(3)：ME18066, 1-5（発刊済）
6. 中井裕. 単著. 自然災害からの再生・復興に向けた取り組み－畜産経営の早期再生・復興に向けた備えや支援－. 総説・解説. 畜産コンサルタント. 2020；57(3)：16-20（発刊済）
7. 中井裕. 単著. 食料産業を変革する“即戦力人材”を育成する！ 新潟食料農業大学・食料産業学部. 総説・解説. 農業と経済. 2020；86(4)：88-89（発刊済）
8. 中井裕. わが国の畜産と畜産環境の課題. 畜産の研究 74（1）11-22（2020）

4 報告書

1. 阿部憲一, 中井裕. 受託研究. と畜・解体処理（特に牛の背割り）の自動化・効率化に関する研究開発. 研究成果報告書. 2020（研究代表者）

5 学会活動

1) 所属学会

日本畜産環境学会, 日本畜産学会, 日本獣医学会, 日本寄生虫学会, 日本原生物学会, 日本水環境学会, 東北畜産学会, 日本獣医史学会

2) 学会, 学術団体等の役職

日本畜産環境学会 理事長, 日本畜産学会 理事, 日本獣医学会 理事, 日本寄生虫学会 理事, 日本原生生物学会 理事, 日本水環境学会, 東北畜産学会, 日本獣医史学会 理事

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等(講座・講演・研修・講習会名, 内容, 役割, 対象者, 開催地, 開催年月日の順に記載)

- ・高校教諭対象大学説明会, 大学説明, 副学長, 教諭, 胎内, 2020.10.1
- ・出雲崎高校大学説明会, 大学説明, 副学長, 高校生, 胎内, 2020.10.21
- ・山形県議研修会, 大学説明, 副学長, 県議会議員, 胎内, 2020.10.20
- ・新潟県議研修会, 教育講演, 講師, 県議会議員, 胎内, 2021.1.20

2) TV 出演, ラジオ出演, 新聞または一般雑誌への掲載等

(出演したメディアの種類・番組・掲載誌名, タイトル・放映内容, 出演・掲載年月日の順に記載)

- ・農業と経済, 農業系・地域系学部の最前線 No.22, 2020.4.1
- ・長野日報, ハケ岳山麓 動物ふれあい日記, 2020.7.17
- ・日本経済新聞, ツールド胎内, 2020.10.15

3) 社会活動への参加・協力(参加・協力先名称, 活動内容, 役割, 対象者, 活動地域, 活動日数の順に記載)

- ・(株)長岡食肉センター, 汚水処理に関する検討, 座長, センター・長岡市担当者, 長岡市, 2020.12.3
- ・(株)シムラ, 豚糞の堆肥化方法の提案, 座長, 社担当者, 胎内市, 2020.4.1-21.3.31
- ・アグロフードセミナー, 鼎談, 登壇者, 一般市民, 新潟市, 2021.2.17

4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の名称と役職

大崎市バイオマス産業都市構想検討委員会 委員長, 長野県食肉流通合理化検討会 委員長 座長, 胎内市ツールド胎内準備委員会 委員

5) 法人及び職能団体(各協会, 士会等)の役職

(公財)日本環境整備教育機構 浄化槽管理士試験委員, (公財)日本環境整備教育機構 浄化槽管理士講習委員, (公財)日本食肉生産技術開発センター 牛の背割り機の研究開発事業プロジェクト委員会 委員長

6) 他の教育機関における評価委員

新潟県立新発田農業高等学校 学校評議員, 石川県立大学大学院生物資源環境学研究所 博士論文審査委員会 委員

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

[科研費]

- ・2017-20, 科研費基盤 A, 機能性ルーメン微生物群集の高密度・コンパクト化による非食用バイオマスのメタン発酵, 研究代表者(継続)

[民間グラント, 受託研究等]

- ・2020, 受託研究, と畜・解体処理(特に牛の背割り)の自動化・効率化に関する研究開発, 研究代表者(継続)

2) 表彰・学位取得・資格取得

- ・環境大臣表彰, 2020.10.22
- ・胎内市教育委員会表彰, 2021.2.19

3) 学内部活動の実績

- ・自転車競技, 第54回新潟県自転車競技選手権(トラック), ポイントレース 多田雄飛 優勝, 弥彦村, 2020.7.25(部長(監督))
- ・自転車競技, 第54回新潟県自転車競技選手権(トラック), スクラッチ 渡邊八起 優勝, 弥彦村, 2020.7.25(部長(監督))
- ・自転車競技, 第54回新潟県自転車競技選手権(トラック), スプリント 小田島湧希 3位, 弥彦村,

2020.7.25 (部長 (監督))

- ・自転車競技, 第 54 回新潟県自転車競技選手権 (トラック), ケイリン 小田島湧希 2 位, 弥彦村, 2020.7.25 (部長 (監督))
- ・自転車競技, 第 54 回新潟県自転車競技選手権 (トラック), ケイリン 酒井翔 6 位, 弥彦村, 2020.7.25 (部長 (監督))
- ・自転車競技, 2020 全日本学生個人ロードレース大会, ロード 渡邊八起 予選 18 位通過 決勝敗退, 群馬県みなかみ町, 2020.9.5 (部長 (監督))
- ・自転車競技, 2020 全日本学生個人ロードレース大会, ロード 檜村奏太 予選 18 位通過 決勝敗退, 群馬県みなかみ町, 2020.9.5 (部長 (監督))
- ・自転車競技, 2020 全日本学生個人ロードレース大会, ロード 澁谷倅平 予選敗退, 群馬県みなかみ町, 2020.9.5 (部長 (監督))
- ・自転車競技, 2020 全日本学生個人ロードレース大会, ロード 畑山駿一 予選 38 位, 群馬県みなかみ町, 2020.9.5 (部長 (監督))
- ・自転車競技, 2020 全日本学生個人ロードレース大会, ロード 小田島湧希 予選 33 位, 群馬県みなかみ町, 2020.9.5 (部長 (監督))
- ・自転車競技, 2020 全日本学生個人ロードレース大会, ロード 米内裕都 予選敗退, 群馬県みなかみ町, 2020.9.5 (部長 (監督))
- ・自転車競技, 2020 全日本学生個人トラック自転車競技大会, ポイントレース 多田雄飛 悪天候のため中止, 福島県泉崎村, 2020.9.12 (部長 (監督))
- ・自転車競技, 2020 全日本学生個人トラック自転車競技大会, スクラッチ 小田島湧希 悪天候のため中止, 福島県泉崎村, 2020.9.12 (部長 (監督))
- ・自転車競技, 2020 全日本学生個人トラック自転車競技大会, スクラッチ 酒井翔 悪天候のため中止, 福島県泉崎村, 2020.9.12 (部長 (監督))
- ・自転車競技, 2020 全日本学生個人トラック自転車競技大会, スクラッチ 谷村晟宰 悪天候のため中止, 福島県泉崎村, 2020.9.12 (部長 (監督))
- ・自転車競技, 2020 全日本大学自転車競技大会 (インカレ), ケイリン 小田島湧希 6 位, 長野県松本市, 2020.10.10 (部長 (監督))
- ・自転車競技, 令和 2 年度新潟県自転車競技連盟トラック・レース, ケイリン 小田島湧希 優勝, 弥彦村, 2020.10.31 (部長 (監督))
- ・自転車競技, 令和 2 年度新潟県自転車競技連盟トラック・レース, スクラッチ 小田島湧希 優勝, 弥彦村, 2020.10.31 (部長 (監督))
- ・自転車競技, 令和 2 年度新潟県自転車競技連盟トラック・レース, エリミネーション 小田島湧希 優勝, 弥彦村, 2020.10.31 (部長 (監督))
- ・自転車競技, 令和 2 年度新潟県自転車競技連盟トラック・レース, 200mTT 原田龍治 3 位, 弥彦村, 2020.10.31 (部長 (監督))
- ・自転車競技, 令和 2 年度新潟県自転車競技連盟トラック・レース, 1kmTT 谷村晟宰 3 位, 弥彦村, 2020.10.31 (部長 (監督))
- ・自転車競技, 令和 2 年度新潟県自転車競技連盟トラック・レース, エリミネーション 酒井翔 4 位, 弥彦村, 2020.10.31 (部長 (監督))
- ・自転車競技, 令和 2 年度新潟県自転車競技連盟トラック・レース, 200mTT 相原拓海 5 位, 弥彦村, 2020.10.31 (部長 (監督))

8 学内委員会活動

自己点検・評価委員会 (委員長), 議題検討会議 (委員長), 新型コロナウイルス感染症対策本部会議 (委員長), 将来計画機構運営委員会 (委員長), 新潟食料健康研究機構 (機構長), 新潟食料健康研究機構運営会議 (議長), 総務会, 新潟総合学園学内連絡会, 新潟総合学園大学調整会議

氏名：伊藤 豊彰

1 研究題目

1. 生態系保全に貢献する水田農業の確立, 2. 水稲生産における水田生物の活用技術の開発：イトミミズ類, タニシ類, 3. 夏期高温による水稲の品質低下のケイ酸資材による緩和技術の構築, 4. イネ体養分分析による水田土壌の広域肥沃度評価手法の開発

2 著書

1. T. Ito, M. Shibata, T. Takahashi. 共著. 4. 3 Andosols, In World Soils Book Series, The Soils of Japan, https://doi.org/10.1007/978-981-15-8229-5_4. 専門書 (eBook). 1 版. Singapore : Springer Nature Singapore Pte Ltd. ; 2020 : 82-90 (発刊済)
2. T. Ito, H. Nasukawa, T. Uno, R. Tajima, M. Saito. 共著. 6. 6. 1 Calcium Silicate Application in Tsunami-Affected Soils, In World Soils Book Series, The Soils of Japan, https://doi.org/10.1007/978-981-15-8229-5_6. 専門書 (eBook). 1 版. Singapore : Springer Nature Singapore Pte Ltd. ; 2020 : 222-224 (発刊済)

3 論文

1. T. Uno, R. Tajima, K. Suzuki, M. Nishida, T. Ito and M. Saito. 共著. Rice yields and the effect of weed management in an organic production system with winter flooding. 原著論文. Plant Production Science (JCR). 2020 ; <https://doi.org/10.1080/1343943X.2020.1865823> : 1-13 (発刊済)

4 報告書

1. 伊藤豊彰, 田副雄士. 受託研究. 製鋼スラグ系ケイ酸質肥料による酒造好適米の品質・収量改善に関する研究. 研究成果報告書. 2020 (研究代表者)

5 学会活動

1) 所属学会

日本土壤肥料学会, 日本ペドロロジー学会, 日本有機農業学会, 土壤物理学会, 日本雑草学会, 森林立地学会, 日本作物学会東北支部会, 新潟土壤肥料懇話会

2) 学会, 学術団体等の役職

日本ペドロロジー学会 評議員, 日本土壤肥料学会 代議員

3) 学会, 学術団体等でのその他の活動

- ・日本土壤肥料学会, 論文査読, 審査員, 2020.6.3
- ・日本土壤肥料学会, 論文査読, 審査員, 2020.8.25
- ・日本有機農業学会, 論文査読, 審査員, 2020.11.09
- ・日本有機農業学会, 学会が主催する大会と研究会の企画・検討, 研究活動委員, 2020.5.16, 8.9, 2021.1.11

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等 (講座・講演・研修・講習会名, 内容, 役割, 対象者, 開催地, 開催年月日の順に記載)

- ・酒田市稲作研修会 (酒田市主催), 「水田土壌の特徴と生産性」について講演, 講師, 生産者, 山形県酒田市, 2020年10月21日
- ・みやぎ農業未来塾 (宮城県栗原農業改良普及センター主催研修会), 「水田土壌の特徴と土づくり」について遠隔講演, 講師, 生産者, 宮城県栗原市, 2020年11月15日
- ・鶴岡市農業経営者育成学校での講義, 「土壌診断を深く理解する」について遠隔講演, 講師, 生産者, 山形県鶴岡市, 2021年1月15日
- ・ハヶ岳中央農業実践大学校公開講座, 「連作障害を防ぐ土壌管理」について遠隔講演, 講師, 生産者, 大学校教員, 長野県諏訪郡原村, 2021年2月9日
- ・土壌診断講習会 (JA 全農にいがた肥料農薬部主催), 「気象変動下での水稲の高品質安定生産における土づくり資材の重要性」について講演, 講師, JA 営農指導員, 新潟県新潟市, 2021年2月22日

- 2) 社会活動への参加・協力（参加・協力先名称，活動内容，役割，対象者，活動地域，活動日数の順に記載）
- ・NPO 法人田んぼ，1年間の活動実績と次年度の活動計画に対して助言，副理事長，市民，宮城県大崎市，0.5日
 - ・スマート農林水産業ビジネス研修会（新潟県農林水産部主催），スマート農業技術の具体化に関して生産者と企業をマッチング，アドバイザー，農家，民間企業，長岡市，1日
 - ・山形県農業総合試験場，試験場の研究計画について指導・助言，技術相談，研究員，山形市，1日
 - ・JA 全農にいがた，イネに対するケイ酸肥料の効果に関する技術相談および共同調査，技術相談，JA職員，胎内市，2日
 - ・山梨県総合農業技術センター，試験場の研究成果情報について書面で指導・助言，技術相談，研究員，胎内市，1日
 - ・新潟市北区産業振興課，北区の野菜栽培へのICT等の新技術導入促進のための助言，アドバイザー，市役所職員，新潟市，1日
- 3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の名称と役職
山梨県総合農業技術センター／客員研究員，令和2年度山形県農畜産研究領域アドバイザー・ボード（生産環境）／委員，新潟市北区「次世代農業」推進事業（ICT等の新技術導入）検討会議／委員
- 4) 法人及び職能団体（各協会，士会等）の役職
新潟土壌肥料懇話会 副会長
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
〔民間グラント，受託研究等〕
- ・2020，奨学寄附金（鉄鋼スラグ協会），鉄鋼スラグの農業利用に関する研究助成，研究代表者（継続）〔学長裁量経費による活動等〕
 - ・2020，地域貢献，中山間地での減農薬・無化学肥料水稻栽培の探求および生産者への提案－中山間地帯集落における持続可能な稲作のあり方とは？－，研究分担者（新規）
 - ・2020，研究開発，リビングマルチを利用したサツマイモの有機栽培技術の開発，研究分担者（新規）
- 8 学内委員会活動
環境整備委員会（委員長），国際交流委員会，自己点検・評価委員会，議題検討会議，総務会，将来計画機構運営委員会（委員），入試・広報委員会（委員）

氏名：丸山 純一

- 1 研究題目
1. 食品安全マネジメントシステムの構築および導入のスキーム作り， 2. 危害因子の分析および測定
の簡易化・迅速化， 3. 小規模事業者，一般消費者への HACCP を普及・啓発するためのメソッド開発
- 2 学会活動
- 1) 所属学会
日本食品保蔵科学会，日本食品免疫学会
- 3 社会活動
- 1) 社会活動への参加・協力（参加・協力先名称，活動内容，役割，対象者，活動地域，活動日数の順に記載）
- ・株式会社峰村商店，技術アドバイス（玄米甘酒），メンバー，社員および関係者，新潟県，2日
 - ・愛宕福祉会，共同研究（乾燥野菜の利用，嚥下困難食の開発），メンバー，社員および関係者，新潟県，10日
 - ・株式会社 NSG ホールディングス，米粉創造企業「株式会社 RICE」プロジェクト，メンバー，社員および関係者，新潟県，2日
- 2) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の名称と役職
農林水産省産学官連携による食品安全専門人材育成研究会・委員

3) 法人及び職能団体（各協会、士会等）の役職

特定非営利活動法人黒にんにく国際会議・黒にんにくに関する食品安全専門部会・委員，一般財団法人日本品質保証機構・FSMS 技術委員会・委員長，株式会社エルメックス・社外取締役

4 学内委員会活動

総務会（構成員），自己点検・評価委員会（委員），新型コロナウイルス感染症対策本部（構成員），国際交流委員会（委員長），大学院設置準備委員会，将来計画機構運営委員会（委員）

氏名：武本 俊彦

1 研究題目

1. 6次産業化のビジネスモデルの在り方（雇用労働・外国人労働問題を含む），2. 地域資源を活用した再生可能エネルギー事業の取り組みの在り方，3. 地域振興への取り組みの在り方（「土地利用制度の在り方」を含む）

2 論文

1. 武本俊彦. 単著. 土地の過少利用時代における農地の所有・利用の在り方. 総説論文. 地域開発（専門誌）. 2020；636：50-54（発刊済）

3 学会等研究発表

1. 武本俊彦. 新しい食料・農業・農村基本計画に対するコメント～ 岩間浩氏「新しい食料・農業・農村計画について」も参考としつつ～. 一般発表（口述）. 2020年度日本農業法学会年次学術大会. ②. Web開催，2021.11.14

4 学会活動

1) 所属学会

日本農業法学会，フードシステム学会，アグロメディカルフーズ研究機構

2) 学会，学術団体等の役職

日本農業法学会常任理事

5 学内委員会活動

教育研究計画機構（WG長），社会連携推進委員会（委員長），将来計画機構運営委員会（委員），自己点検・評価委員会（委員），国際交流委員会（委員）

氏名：荒木 肇

1 研究題目

1. 緑肥を導入した農業生産体系に関する研究，2. ホームセンター需要のための砂丘地におけるアスパラガス根株生産に関する研究，3. 青汁用ケールの周年栽培に関する研究，4. 新潟地域における西洋野菜の生産性に関する研究，5. 自然エネルギーを活用した野菜生産に関する研究

2 著書

1. Muchanga, A. Rafael and Araki Hajime. 共著. Chapter: Cover crop residue management for effective use of mineralized nitrogen in greenhouse tomato production. In edited by T. Ohyama and K. Inubushi, 'Nitrogen in agriculture - Physiological, agricultural and ecological aspects'. ISBN; 978-1-83968-492-0. 書籍. 1版. London: Intechopen; 2021: 156-177（発刊済）

2. 荒木 肇, 他多数. 共著. アスパラガス大事典 アスパラガス光合成特性と草姿. 書籍. 1版. 東京: 農文協; 2021: 33-37（発刊済）

3. 荒木 肇, 他多数. 共著. アスパラガス大事典 国際アスパラガス品種比較試験. 書籍. 1版. 東京: 農文協; 2021: 259-261（発刊済）

3 論文

1. Muchanga, A. Rafael, Hirata Toshiyuki, Uchida Yoshitaka, Hatano Ryusuke and Araki Hajime. 共著（コレスポンディングオーサー）. Soil Carbon and Nitrogen and Tomato Yield in Response to

- Cover Crop Management. 原著論文. Agronomy Journal. 2020 ; 112 : 1636-1648 (発刊済)
2. Muchanga A. Rafael, Uchida Yoshitaka, Hirata Toshiyuki, Hatano Ryusuke and Araki Hajime. 共著 (コレスポンディングオーサー). Dynamics of N Derived from ¹⁵N-labeled Rye in Soil-Tomato System as Influenced by Cover Crop Residue Management. 原著論文. The Horticulture Journal. 2020 ; 89(4) : 394-402 (発刊済)
 3. Muchanga A. Rafael, Hirata Toshiyuki. and Araki Hajime. 共著 (コレスポンディングオーサー). Effects of hairy vetch and livestock compost on soil properties and quality of fresh-market tomato fruit. 原著論文. Acta Horticulturae. 2020 ; 1286 : 91-98 (発刊済)
 4. Yufita Dwi Chinta, Yoshitaka Uchida, Hajime Araki. 共著 (コレスポンディングオーサー). Availability of nitrogen supply from cover crops during residual decomposition by soil microorganisms and its utilization by lettuce (*Lactuca sativa* L.). 原著論文. Scientia Horticulturae. 2020 ; 270 : 109415 open journal (発刊済)
 5. Yufita Dwi Chinta, Yoshitaka Uchida, Hajime Araki. 共著 (コレスポンディングオーサー). Improvements of soil biological properties with hairy vetch (*Vicia villosa* Roth.) and rye (*Secale cereale* L.) and the contributions to lettuce (*Lactuca sativa* L.) production. 原著論文. Acta Horticulturae. 2020 ; 1286 : 111-118 (発刊済)
 6. Tanaka Shizuyuki, Masaki Iritani and Hajime Araki. 共著 (コレスポンディングオーサー). Combination Effects of Sowing and Transplanting Time on Harvest Time in Some Onion (*Allium cepa* L.) Cultivars with Different Photoperiod Requirements in Hokkaido. 原著論文. The Horticulture Journal. 2020 ; 89(4) : 432-444 (発刊済)
 7. Nikaido Kana, Jishi Tatsuru, Maeda Tomoo, Suzuki Takashi, Yokota Tomio and Araki Hajime. 共著 (コレスポンディングオーサー). Utilization of snow cooling for preservation of asparagus spears. 原著論文. Acta Horticulturae. 2020 ; 1301 : 199-205 (発刊済)
 8. Araki H., Nakano H., Ichikawa S., Kawai T., Jishi T., Yamagata S. and Kamide M. 共著 (コレスポンディングオーサー). Winter asparagus production with hot water heated by pellets boiler. 原著論文. Acta Horticulturae. 2020 ; 1301 : 117-122 (発刊済)
 9. Araki Hajime and Huang, L. 共著 (コレスポンディングオーサー). Onion set cultivation as a system for overcoming yield reduction by the unstable climate during the establishment period. 原著論文. Acta Horticulturae. 2020 ; 1273 : 361-368 (発刊済)
 10. Takahama Masayoshi, Nicola Silvna, Suzuki Takashi and Araki Hajime. 共著 (コレスポンディングオーサー). Effect of salinity application on yield and quality in the hydroponically grown baby-leaf vegetables. 原著論文. Acta Horticulturae. 2020 ; 1296 : 851-859 (発刊済)
 11. Kumano Takahiro and Araki Hajime. 共著 (コレスポンディングオーサー). The relationship between color profiles of asparagus (*Asparagus officinalis* L.) spears and light intensity in Fusekomi forcing culture. 原著論文. Acta Horticulturae. 2020 ; 1296 : 637-644 (発刊済)
- 4 報告書
1. 荒木肇. 受託研究 (科学研究費補助金). 基盤 (B)・一般 課題名「緑肥導入体系における土壤微生物および小動物の動態と作物生産性」. 研究成果報告書 (全 140 ページ). 2018-2020 (代表者)
- 5 学会等研究発表
1. Yufita Dwi Chinta, Yoshitaka Uchida, Hajime Araki. A field study of cover crops to improve soil biochemical properties in bulk and rhizosphere soils of lettuce (*Lactuca sativa* L.). 一般 (口述). Third Asian Horticulture Congress. ①. バンコク (オンライン), 2020.12.15~12.17
 2. Takahama Masayoshi, T. Noda, R. Ueno, S. Munekata and H. Araki. Evaluation of eating quality and starch properties of sweet potato produced in northern Japan. 一般 (口述). Third Asian Horticulture Congress. ①. バンコク (オンライン), 2020.12.15~12.17

3. 荒木肇, 伊藤崇浩. 砂丘地でのアスパラガス根株生産におけるマルチと灌水の効果. 一般 (口述). 日本農作業学会 2021 年春季大会. ②. 東京 (オンライン), 2021.3.22~3.23

6 学会活動

1) 所属学会

園芸学会, 日本農作業学会, 国際園芸学会, アメリカ農学会, アメリカ園芸会

2) 学会, 学術団体等でのその他の活動

- ・学術雑誌 Agronomy, 英語論文の査読, 査読者, 2020
- ・学術雑誌 Scientia Horticulturae, 英語論文の査読, 査読者, 2020
- ・学術雑誌 Horticulture J., 英語論文の査読, 査読者, 2020-21
- ・学術雑誌 Scientia Agricola., 英語論文の査読, 査読者, 2020-21
- ・学術雑誌 Japan. J. Farm Work Res., 英語論文の査読, 査読者, 2020
- ・学術雑誌 Vietnam J. Agriculture, 英語論文の査読, 査読者, 2020

7 社会活動

1) TV 出演, ラジオ出演, 新聞または一般雑誌への掲載等

(出演したメディアの種類・番組・掲載誌名, タイトル・放映内容, 出演・掲載年月日の順に記載)

- ・日経新聞電子版, 新潟食料農業大学が育てた野菜の試食会 新潟のホテル, 2020 年 12 月 16 日

2) 社会活動への参加・協力 (参加・協力先名称, 活動内容, 役割, 対象者, 活動地域, 活動日数の順に記載)

- ・ホテル・イタリア軒, イタリア野菜の供出, 野菜の説明, 招待者, 新潟, 0.5 日 (2020 年 12 月 16 日 PM)
- ・新潟大学農学部フィールド科学センター, 教育研究交流会, 企画調整, 新潟大学: 5 名 新潟食料農業大学: 10 名, 新大農学部 FC 村松 ST, 0.5 日 (2021 年 3 月 19 日 PM)

8 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

[科研費]

- ・2018, 基盤 (B)・一般, 緑肥導入体系における土壌微生物および小動物の動態と作物生産性, 研究代表者 (継続)

[民間グラント, 受託研究等]

- ・2020, 共同研究 (相手: 株 Bejo Japan), 新潟地域におけるヨーロッパ野菜の生産に関する研究, 研究代表者 (新規)

[学長裁量経費による活動等]

- ・2020, 地域貢献を目的とした研究, 分析, 胎内市で生産・加工・宅配を手掛ける青汁産業のマーケットイン視点での経営解析と将来予測, 代表 (新規)

2) 表彰・学位取得・資格取得

- ・日本農業工学会賞 2020. 課題名「カバークロープによる農耕地環境改善と作物生産性向上に関する研究」, 2020 年 10 月 31 日

3) 学外兼務講師等

- ・北海道大学, 環境科学院博士学位審査委員, 2021 年 1 月 26 日~1 月 28 日

9 学内委員会活動

国際交流委員会 (委員)

氏名：居城 幸夫

1 研究題目

1. ニホンナシの水浸状果実の軽減技術の開発に関する研究, 2. 輸出用ナシ接ぎ木用花芽穂木の休眠性に関する研究, 3. 果樹の低樹高栽培技術開発に関する研究, 4. 難発芽性花卉種子の発芽要因解明に関する生理学的研究, 5. ジャンボムカゴの形成・肥大に関する研究, 6. 球根植物の形成・肥大に関する研究, 7. オキザリスけん引根の機能性成分解明に関する研究, 8. 園芸植物(果樹・野菜・花卉)への新規植物の導入に関する研究, 9. 屋上緑化・壁面緑化植物に関する研究, 10. 園芸福祉と園芸療法に関する研究, 11. コンパニオンプランツ, 12. ファイトレメデーション

2 報告書

1. 居城幸夫, 稲本俊彦, 松本辰也. 受託研究. 多雪地や水田地転換畑でも可能な「実をとらない高収益果樹栽培技術」の開発 (2) 輸出用穂木の専用栽培技術開発イナシ穂木の休眠特性と花芽接ぎ栽培での優位性の解明 b ニホンナシの自発休眠打破に必要な低温積算量の解明. 研究成果報告書. 2020 (代表者)
2. 居城幸夫, 稲本俊彦, 松本辰也. 受託研究. 多雪地や水田地転換畑でも可能な「実をとらない高収益果樹栽培技術」の開発 (2) 輸出用穂木の専用栽培技術開発イナシ穂木の休眠特性と花芽接ぎ栽培での優位性の解明 c 「新興」の自発休眠打破に及ぼす低温処理の影響. 研究成果報告書. 2020 (代表者)
3. 居城幸夫, 稲本俊彦, 松本辰也. 受託研究. 多雪地や水田地転換畑でも可能な「実をとらない高収益果樹栽培技術」の開発 (2) 輸出用穂木の専用栽培技術開発 a ニホンナシの低温積算量の地域間差異. 研究成果報告書. 2020 (代表者)
4. 居城幸夫, 早川喜朗, イヴァン ラベ, 松村順二. 受託研究. 佐渡柿加工品の新商品・高品質化に繋がる加工技術の研究. 研究成果報告書. 2020 (代表者)

3 学会等研究発表

1. 稲本俊彦, 神村武, 松本辰也, 居城幸夫. ニホンナシ「新興」の休眠特性と花芽接ぎ栽培に関する研究. 一般発表(ポスター). 園芸学会令和3年度春季大会. ②. オンライン, 2021.3.27~3.28
2. 趙鉄軍, 佐藤根妃奈, 稲本俊彦, 伊藤崇浩, 居城幸夫, 浅野亮樹, 王政, 安藤聡, 上田浩史. 新潟県での異なる栽培方法におけるミニトマトの収量および品質の品種差異. 一般発表(ポスター). 園芸学会令和3年度春季大会. ②. オンライン, 2021.3.27~3.28

4 学会活動

1) 所属学会

園芸学会, 日本農業作業学会, 日本農業教育学会, 日本生物環境工学会, 植物化学調節学会

2) 学会, 学術団体等の役職

日本農業教育学会 評議員

5 社会活動

- 1) 社会活動への参加・協力(参加・協力先名称, 活動内容, 役割, 対象者, 活動地域, 活動日数の順に記載)
 - ・MD-Farm 株式会社, イチゴの組織培養技術相談, 企業職員, 胎内市, 数時間
 - ・佐渡市羽茂農業協同組合, カキとイチジクの栽培技術相談, 農家, 組合員, 市職員, 佐渡市, 一日
 - ・農業活性化研究センター, 施設野菜先進技術視察研修会, センター研究員, 胎内市, 数時間

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

[民間グラント, 受託研究等]

- ・2020, 委託研究, ナシ穂木の休眠特性と花芽接ぎ栽培での優位性の解明, 居城幸夫(継続)
- ・2020, 委託研究, 佐渡市加工専用果実生産支援事業, 居城幸夫(新規)

7 学内委員会活動

人権委員会(委員長), 社会連携推進委員会(委員)

氏名：佐藤 豊三

1 研究題目

1. 国産薬用作物の病害調査と診断法の開発, 2. もやしなどのスプラウト野菜を汚損する菌類の解明, 3. 新潟県で発生する作物病害及び食品汚損微生物の原因究明と教育的利用に関する研究

2 著書

1. 五十嵐元子, 一木(植原)珠樹, 井上聡, 甲村浩之, 佐藤豊三, 白石豊, 田村隆幸, 菱田敦之, 瀧野裕之, 諸橋修一, 安永真, 矢野孝喜, 由井秀紀, 横井直人. 共著. 国内生産拡大に向けた薬用作物の栽培技術 2020 トウキ. 小冊子. 1版. 茨城県: 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター; 2020: 27-29 (発刊済)
2. 五十嵐元子, 一木(植原)珠樹, 井上聡, 甲村浩之, 佐藤豊三, 白石豊, 田村隆幸, 菱田敦之, 瀧野裕之, 諸橋修一, 安永真, 矢野孝喜, 由井秀紀, 横井直人. 共著. 国内生産拡大に向けた薬用作物の栽培技術 2020 ミシマサイコ. 小冊子. 1版. 茨城県: 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター; 2020: 28-29 (発刊済)
3. 川原信夫, 菱田敦之, 五十嵐元子, 瀧野裕之, 高橋京子, 高浦佳代子, 甲村浩之, 野下俊郎, 横井直人, 小野直毅, 高橋玲子, 諸橋修一, 田村隆幸, 由井秀紀, 米田健一, 安永真, 白石豊, 月足公男, 伊東寛史, 吉田勝一郎, 高橋恒久, 佐々木聡子, 井上聡, 村上則幸, 横田聡, 高田明子, 大渦直樹, 一木珠樹, 佐藤豊三, 尾島一史, 川嶋浩樹, 矢野孝喜. 共著. 薬用作物栽培の手引き ~薬用作物の国内生産拡大に向けて~ トウキ編. 小冊子. 1版. 香川県: 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 西日本農業研究センター; 2021: 18, 38 (発刊済)
4. 川原信夫, 菱田敦之, 五十嵐元子, 瀧野裕之, 高橋京子, 高浦佳代子, 甲村浩之, 野下俊郎, 横井直人, 諸橋修一, 田村隆幸, 由井秀紀, 種石始弘, 久松奨, 安永真, 高木和彦, 津田毅彦, 白石豊, 鈴木達郎, 一木珠樹, 佐藤豊三, 尾島一史, 川嶋浩樹, 矢野孝喜. 共著. 薬用作物栽培の手引き ~薬用作物の国内生産拡大に向けて~ ミシマサイコ編. 小冊子. 1版. 香川県: 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 西日本農業研究センター; 2021: 16, 29 (発刊済)
5. 菱田敦之, 五十嵐元子, 高橋京子, 高浦佳代子, 澁谷幸憲, 井上聡, 村上則幸, 藤田直聡, 一木珠樹, 佐藤豊三, 尾島一史, 川嶋浩樹, 矢野孝喜. 共著. 薬用作物栽培の手引き ~薬用作物の国内生産拡大に向けて~ カンゾウ編. 小冊子. 1版. 香川県: 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 西日本農業研究センター; 2021: 12, 22 (発刊済)
6. 三瀧忠道, 秋葉秀一郎, 小林大輔, 渡辺均, 高橋京子, 高浦佳代子, 江川孝二, 山田真孝, 久保堅司, 岡崎圭毅, 一木珠樹, 佐藤豊三, 尾島一史, 川嶋浩樹, 矢野孝喜. 共著. 薬用作物栽培の手引き ~薬用作物の国内生産拡大に向けて~ オタネニンジン編. 小冊子. 1版. 香川県: 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 西日本農業研究センター; 2021: 17, 26 (発刊済)
7. 川原信夫, 菱田敦之, 五十嵐元子, 林茂樹, 渡辺均, 高橋京子, 高浦佳代子, 小林泰子, 三井友宏, 一木珠樹, 佐藤豊三, 尾島一史, 川嶋浩樹, 矢野孝喜. 共著. 薬用作物栽培の手引き ~薬用作物の国内生産拡大に向けて~ シャクヤク編. 小冊子. 1版. 香川県: 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 西日本農業研究センター; 2021: 17, 28 (発刊済)

3 論文

1. Uzuhashi, S., Igarashi, M., Hishida, A., Kawahara, N., Uehara-Ichiki, T., Sato, T. 共著 (コレスポンディングオーサー以外). Seedling rot of *Panax ginseng* caused by *Pythium myriotylum* in Japan. 原著論文. Journal of General Plant Pathology. 2020; 86: 154-156 (発刊済)
2. Yokosawa, S., Eguchi, N., Sato, T. 共著 (コレスポンディングオーサー以外). Characterization of the *Colletotrichum gloeosporioides* species complex causing grape ripe rot in Nagano Prefecture, Japan. 原著論文. Journal of General Plant Pathology. 2020; 86: 163-172 (発刊済)
3. Mori M., Misawa, T., Sato, T. 共著 (コレスポンディングオーサー以外). First report of stem and root rot of monkshood caused by *Rhizoctonia* spp. in Japan. 原著論文. Journal of General Plant

Pathology. 2020 ; 86 : 224-226 (発刊済)

4 報告書

1. 一木珠樹, 佐藤豊三. 受託研究. 薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発. 研究成果報告書. 2016~2020 (共著または分担 (コレスポンディングオーサー以外))

5 学会等研究発表

1. 佐藤里香, 菟島綾華, 市橋葵, 佐藤豊三, 林茂樹, 安食菜穂子, 菱田敦之, 川原信夫, 廣岡裕史. *Neofusicoccum* sp. によるテンダイウヤク緑葉枯病 (新称). 一般発表 (口述). 日本植物病理学令和2年度大会 (佐藤里香ら (2020) 日植病報 86(3) : 166.). ②. かがしま県民交流センター, 2020.3.19~21 見なし開催で昨年度8月 講演要旨が学会報に印刷された
2. 柴田紗帆, 吉井淳, 六郎田直人, 佐藤豊三, 三澤知央, 高橋好範, 五十嵐元子, 菱田敦之, 松田悠, 廣岡裕史. *Rhizoctonia solani* によるカノコソウ株腐病の発生 (新称). 一般発表 (ポスター). 令和2年度日本植物病理学会関東支部会. ②. 千葉大学大学院園芸学研究科, 2020.9.28~29 オンデマンド型 Web 開催
3. 柴田紗帆, 遠藤力也, 佐藤豊三, 廣岡裕史. *Laurobasidium hachijoense* と *Acaromyces ingoldii* は同一種か?. 一般発表 (口述). 日本菌学会第64回大会. ②. 大阪市立自然史博物館, 2020.6.19~21 見なし開催で昨年度講演要旨が公開された. https://www.jstage.jst.go.jp/article/msj7abst/64/0/64_31_2/_article/-char/ja/

6 学会活動

1) 所属学会

日本植物病理学会, 日本菌学会, 日本菌学会関東支部, 日本微生物資源学会

2) 学会, 学術団体等でのその他の活動

- ・日本植物病理学会, 英語原著論文2編審査, 和文原著論文1編審査, 論文審査, 2020.4.13~10.17
- ・日本菌学会, 和文原著論文1編審査, 論文審査, 2020.4.3~4.28
- ・日本微生物資源学会, 英語原著論文1編審査, 論文審査, 2021.3.8~3.29

7 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等 (講座・講演・研修・講習会名, 内容, 役割, 対象者, 開催地, 開催年月日の順に記載)
 - ・北陸病害虫技術研究会, 北陸地域の病害虫担当者の研究成果検討, 情報共有など, 病害分科会話題提供の講師 (遠隔講演), 北陸4県と農研機構の病害虫担当者, 新潟県上越市, 2021.3.8~3.9
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞または一般雑誌への掲載等
(出演したメディアの種類・番組・掲載誌名, タイトル・放映内容, 出演・掲載年月日の順に記載)
 - ・新潟日報, 自宅栽培 観察じっくり 新潟食農大 オンライン実習 遠隔授業中の本人写真が掲載された. 本人コメントなし., 2020年6月11日
 - ・日経新聞, 遠隔講義 取り組み進む 新潟・長野県内の大学 遠隔授業中の本人写真が掲載された. 本人コメントなし., 2020年5月13日
 - ・NHK新潟, 新潟食料農業大学 後期日程では対面再開 自宅栽培キットのイネとともに遠隔授業中の本人写真が放映された. 本人コメントなし., 2020年9月25日
- 3) 社会活動への参加・協力
 - ・東京生薬協会, 薬用植物ミシマサイコの病害診断 (送付された罹病植物の診断), 飯田修, 胎内市, 20日
 - ・杵築市役所農林水産課園芸畜産係, ミシマサイコとシャクヤクの生育障害に関する問い合わせ対応, 尾畠慧星, 胎内市, 0.5日 (メール対応)
 - ・山形県農業総合研究センター, イネ病害の診断 (送付された罹病植物の診断), 後藤元, 胎内市, 10日
 - ・新潟県病害虫防除所, 腐敗サツマイモ塊根の原因調査 (新潟県内産の罹病芋の診断), 石川浩司, 胎内市, 2か月
 - ・他県の一般農業者, 罹病サツマイモ塊根の原因調査 (神奈川県内産の罹病芋の診断), 在学生 (沖津和明) の親族, 胎内市, 2日

- ・三富実業株式会社, 技術相談:豆もやし汚損菌分離菌株の同定 (送付菌株の同定), 田中圭一, 胎内市, 7日
- ・島根県農業技術センター, イネ病原菌の形態などに関する問い合わせ対応, 磯田淳, 胎内市, 2日 (メール対応)
- ・一般社団法人 岩手県植物防疫協会, リンゴの果実汚損菌に関する問い合わせ対応, 赤坂安盛, 胎内市, 0.5日 (電話・メール対応)
- ・全農新潟県本部 米穀部, 墨汁臭米の原因究明と防止助言 (持参された被害米穀の鑑定), 風間秀樹, 胎内市, 7日
- ・大阪薬科大学, 薬用作物の未知病害の診断と防除対策 (送付された罹病植物の診断), 芝野真喜雄, 胎内市, 10日
- ・山梨県果樹試験場栽培部, ブドウ晩腐病菌の同定に関する問い合わせ対応, 綿打享子, 胎内市, 0.5日 (メール対応)
- ・農研機構・中央農業研究センター (北陸研究拠点), ダイズ黒根腐病菌の雑草宿主に関する問い合わせ対応, 高橋真実, 胎内市, 2日 (メール対応)
- ・福岡県農林業総合試験場病害虫部, ナシ炭疽病菌の同定に関する問い合わせ対応, 菊原賢次, 胎内市, 0.5日 (メール対応)

4) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の名称と役職

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 (農研機構)「イノベーション創出強化研究推進事業」評議委員

8 学内委員会活動

遺伝子組換え実験安全委員会 (委員長), 入試・広報委員会 (委員)

氏名: 吉岡 俊人

1 研究題目

1. 新規花成制御候補遺伝子 *PSVI* の機能解明研究, 2. 絶滅危惧 I 類植物アゼオトギリの保全生態学的研究, 3. 野生植物資源を利活用した新規健康食品の開発研究

2 学会等研究発表

1. 鈴木雄登, 吉岡俊人, 水口亜樹. 異なる土壌養分条件に対するマルバルコウにおける種子生産性の地域系統間差. 一般発表. 日本雑草学会第 59 回大会. ②. Web (長野), 2020.4.11~4.12
2. 鈴木雄登, 早川宗志, 渡邊修, 吉岡俊人, 水口亜樹. 現地調査と標本調査に基づく福井県の帰化アサガオ類 5 種 1 変種の分布の変遷. 一般発表. 日本雑草学会第 59 回大会. ②. Web (長野), 2020.4.11~4.12

3 学会活動

1) 所属学会

日本雑草学会, 日本作物学会, 日本植物学会, 日本植物生理学会, 種生物学会, 北陸作物・育種学会

2) 学会, 学術団体等の役職

日本雑草学会 理事

3) 学会, 学術団体等でのその他の活動

- ・日本雑草学会, 研究課題補助事業選考委員会, 委員長, 2020年3月1日~2021年2月28日
- ・日本雑草学会, 60周年記念事業実行委員会, 委員, 2020年3月1日~2021年2月28日
- ・日本雑草学会, 学会賞選考委員会, 委員, 2020年3月1日~2021年2月28日
- ・種生物学会, 学会賞選考委員会, 委員, 2020年1月1日~2020年12月31日

4 社会活動

1) 社会活動への参加・協力 (参加・協力先名称, 活動内容, 役割, 対象者, 活動地域, 活動日数の順に記載)

- ・国交省三重河川国道事務所, アゼオトギリ保全活動および報告書作成, アドバイザー, アゼオトギリ

- 勉強会参加者, Web 会議, 2 日
- ・ 文化的景観保存活用計画策定委員会, 重要文化的景観登録, アドバイザー, 福井市, 越前町, 南越前町
担当者, Web 会議, 0.5 日
- 2) 法人及び職能団体 (各協会, 士会等) の役職
特定非営利活動法人 雑草科学研究所 理事, 特定非営利活動法人 「草と緑」 編集委員
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
[民間グラント, 受託研究等]
・ 2020, 寄附金 (福井県立大学), 個人研究に対する総合的助成, 研究代表者 (新規)
[学長裁量経費による活動等]
・ 2020, 学長裁量経費, リビングマルチにおける雑草発生相の調査, 分担 (新規)
 - 2) 学外兼務講師等
・ アカデミック・インターンシップ, 顕微鏡観察実験, 2020 年 9 月 6 日
・ 佐渡高校 (出張講義), 大学案内および研究紹介, 2020 年 8 月 20 日
- 6 学内委員会活動
教務委員会 (委員), 遺伝子組み換え実験安全委員会 (委員), 遠隔授業アンケート WG (とりまとめ者)

氏名: 小熊 哲哉

- 1 研究題目
 - 1. 有用物質を生産する微生物の探索と有用物質生産, 2. ゲノム編集技術を活用した醸造発酵微生物の育種と実用化, 3. 醸造微生物を活用した機能性物質生産の研究開発と事業者支援
- 2 著書
 - 1. 小熊哲哉, 稲津康弘, 山下賢治, 山崎勝利, 高田充康, 松永藤彦, 前川幸子, 朝田良子, 土戸哲明, 重松亨, 井口晃徳, 小堺博, 土井豊彦, 秦哲志, 佐藤懇一, 松本隆志, 大西宏輔, 小関成樹, 磯部博史, 森永康, 大嶋秀克, 猪口由美, 森田幸雄, 猪野毅, 上村典子, 稲津早紀子 (松永藤彦, 稲津早紀子 監修). 共著. 実践 微生物制御による食品衛生管理: 品種別に見た重要管理点 (CCP) と一般衛生管理の勘所 しょうゆ加工品. 書籍. 1 版. 東京: 株式会社エヌ・ティー・エス; 2020: 225-232 (発刊済)
- 3 論文
 - 1. 小熊哲哉. 単著. 令和元年における醤油の研究業績. 総説論文 (Review). 日本醸造協会誌 (JCR*); 2020: 115(6): 327-356 (発刊済)
* 日本醸造学会との共同雑誌
- 4 学会等研究発表
 - 1. 栗林喬, 畠山明, 浅野宏文, 古田悟, 原崇, 鈴木一史, 城斗志夫, 金桶光起, 小熊哲哉, 渡邊剛志. 新潟県内の清酒製造場における「蔵付き酵母」の分離とその醸造特性. 一般発表 (口述). 令和 2 年度日本醸造学会大会. ②. 東京 (オンライン), 2020 年 10 月 21 日
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会
日本応用糖質科学会, 日本醸造学会, 日本乳酸菌学会, 日本醤油研究会
 - 2) 学会, 学術団体等の役職
日本応用糖質科学会 評議員
 - 3) 学会, 学術団体等でのその他の活動
・ 日本醸造協会, 令和 2 年度技術賞選考委員会, 技術賞選考委員, 2020 年 5 月 13 日~6 月 30 日
・ 日本醸造学会, 投稿報文査読, 編集委員, 2020 年 4 月 1 日~3 月 31 日

6 社会活動

- 1) 社会活動への参加・協力（参加・協力先名称，活動内容，役割，対象者，活動地域，活動日数の順に記載）
 - ・日本醸造協会，WEB 理事会，非常勤理事，日本醸造協会理事，WEB，0.5
- 2) 法人及び職能団体（各協会，士会等）の役職
日本醸造協会 役職；非常勤理事

7 学内委員会活動

- 人権委員会（委員），入試・広報委員会（委員），遺伝子組換え実験安全委員会（委員）

氏名：長島 裕二

1 研究題目

1. 水産未利用資源の有効利用に関する研究， 2. 水産食品の安全性評価に関する研究， 3. 海洋生物毒の分析， 4. フグの毒化機構解明

2 著書

1. 桐明純，長島裕二，塩見一雄. 共著. 刺毒魚の毒素タンパク質「水圏生物のタンパク質科学の新展開」(尾島孝男，落合芳博編). 東京：恒星社厚生閣；2020：72-96

3 論文

1. T. Matsumoto, S. Kitajima, C. Yamamoto, M. Aoyagi, Y. Mitoma, H. Harada, Y. Nagashima. 共著. Cloning and tissue distribution of the ATP-binding cassette subfamily G member 2 gene in the marine pufferfish *Takifugu rubripes*. *Fisheries Science*. 2020；86：873-887
2. A. Kiriake, Y. Nagashima, S. Ishizaki, K. Shiomi. 共著（コレスポンディングオーサー）. Primary structures and conformations of stonefish toxin-like toxins from three species of rabbitfish, *Siganus pullus*, *Siganus unimaculatus*, and *Siganus virgatus*. *Fisheries Science*. 2020；86：889-901
3. Y. Kitani, Y. Nagashima. 共著. L-Amino acid oxidase as a fish host-defense molecule. *Fish Shellfish immunology*. 2020；106：685-690
4. 長島裕二，大城直雅. 共著（コレスポンディングオーサー）. 気候変動とマリントキシン. *水環境学会誌*. 2020；43(A)：365-369
5. 辰野竜平，梅枝真人，宮田祐実，出口梨々子，福田翼，古下学，井野靖子，高橋洋，長島裕二. 共著. 熊野灘産ムシフグ *Takifugu exacurus* の毒性. *食品衛生学雑誌*. 2020；62：28-32

4 学会等研究発表

1. 長島裕二，藤本健太，石崎松一郎，木谷洋一郎，佐藤根妃奈，岡井公彦. イソガニ体液テトロドトキシン結合タンパク質の一次構造. 一般発表（ポスター）. 令和3年度日本水産学会春季大会. オンライン（東京），2021.3.27
2. 長島裕二. フグの毒蓄積メカニズム. 招待講演. 金沢大学環日本海域環境57回環日セミナー. オンライン（金沢市），2021.2.16

5 学会活動

1) 所属学会

日本水産学会，日本食品衛生学会，日本中毒学会，International Society of Toxinology，マリントキシン研究会

2) 学術集会の主催

・第36回マリントキシン研究会，オンライン，2021.3.30

3) 学会，学術団体等でのその他の活動

- ・日本食品衛生学会，メルマガ編集委員会委員長
- ・日本食品衛生学会，活性化委員会委員
- ・日本食品衛生学会，食品衛生学雑誌 論文査読
- ・日本水産学会，*Fisheries Science* 誌 論文査読

6 社会活動

1) TV 出演, ラジオ出演, 新聞または一般雑誌への掲載等

- ・TBS ラジオ「アシタノカレッジ」出演, ふぐについて, 2021.2.9
- ・アクアカルチャーレポート 2021年2月12日 第413号, 「ふぐの日」にTBSラジオでフグの特集番組 新潟食料農業大学長島教授がリモートでフグ毒・免許制度等説明, 2021.2.12
- ・アクアカルチャーレポート 2021年3月号・第416号, TBSラジオ2月9日「アシタノカレッジ」 「冬のごちそう! フグの秘密」フグ毒取り巻く現状を詳説 対米輸出での苦労話も 出演: 新潟食料農業大学 長島裕二教授/NY レストラン「日本」馬越恭弘副社長, 2021.3.5

2) 社会活動への参加・協力

- ・文部科学省, 高等学校職業教育教科書「食品管理」改訂, 審査員

3) 法人及び職能団体(各協会, 士会等)の役職

- 一般社団法人食品環境検査協会 評議員
- 一般社団法人全国ふぐ連盟 顧問
- 新潟県職業能力開発協会 技能検定員

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

[科研費]

- ・2019-2021年度 基盤研究(C), フグ毒結合タンパク質の構造と機能に関する研究-フグ毒に対する生体防御機構-, 研究代表者(継続)

[学長裁量経費による活動等]

- ・地域との連携による「マコモタケ」を活用した加工品の開発, 分担(新規)

8 学内委員会活動

教務委員会(委員長), 新型コロナウイルス感染症対策本部会議(オブザーバー)

氏名: 横向 慶子

1 研究題目

1. ベビーリーフ野菜・香辛料・青汁の嗜好性と摂取タイミングが食後血糖値スパイクや生体調節機能に及ぼす影響(山崎香辛料振興財団助成), 2. 有色大豆の商品化に関するマーケティング調査, 3. 有色大豆を用いた加工品(パン・アイスクリーム)に関する研究, 4. 新発田市産アップルシードルの飲用最適温度と料理との相性研究, 5. リンゴ果汁の酵素的褐変防止に関する研究, 6. 村上市産緑茶に適したハーブティーのブレンド, 7. 村上鮭の塩分濃度による遊離アミノ酸の変化について, 8. 官能評価手法に関する検討(5基本味・QDA評価)

2 論文

1. 横向慶子. 単著. 「商品開発と商品創造」(キリンの飲料開発から)～商品開発の裏に科学あり. 総説. 新潟県高等学校教育研究会理科部会(化学分科会)令和2年度活動報告書. 2020年;60号:p11-p16(発刊済)
2. 横向慶子. 単著. 「味覚研究と商品創造」. 総説. 新潟県高等学校教材生物研究会 第30回大会講演会報告書. 2020年;30号:p1-p2(発刊済)

3 報告書

1. 横向慶子. 共同研究成果報告書(未発表のため内容は非公表). 2020-2021(分担)
2. 横向慶子. 有色大豆の商品化に関するマーケティング調査. 研究成果報告書. 2020-2021(代表者)
3. 横向慶子. アップルシードルの香味官能評価結果について. 報告書. 2020-2021(代表者)

4 学会活動

1) 所属学会

日本味とおい学会, 日本官能評価学会, 日本栄養・食糧学会

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等（講座・講演・研修・講習会名，内容，役割，対象者，開催地，開催年月日の順に記載）
 - ・新潟大学大学院キャリアマネジメントセミナー，第9回 商品創造／新商品開発～お客様においしさを届けるために～キリンの商品開発の事例から，非常勤講師，新潟大学大学院キャリアマネジメントセミナー登録者10名，新潟大学・兵庫県立大学大学院（Zoom），新潟市・神戸市，2020年10月21日
- 2) 社会活動への参加・協力（参加・協力先名称，活動内容，役割，対象者，活動地域，活動日数の順に記載）
 - ・「新発田市食の循環によるまちづくり」モデル地区推進事業実行委員会，新発田市産リンゴを用いたアップルシードルの事業化検討・アンケート作成・試飲結果のまとめ・QRコード提供・データ集計「アップルシードル試作醸造品に関する調査サポート」，実行委員 アドバイザー，ABODE すがたにの皆さん・新発田市役所・新発田振興局，新発田市，20日
 - ・新潟県高等学校教育研究会理科部会，令和2年度研究会における「商品開発と商品創造」（キリンの飲料開発から）～商品開発の裏に科学あり についての講演，講師，化学分科会メンバー 35名，新潟食料農業大学，胎内市，1日
 - ・新潟県高等学校教材生物研究会，第30回大会における「味覚研究と商品創造」についての講演，講師，教材生物研究会メンバー25名，新潟高校，新潟市，1日
- 3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の名称と役職
「新発田市食の循環によるまちづくり」モデル地区推進事業実行委員会「アップルシードル試作醸造品に関する調査サポート」実行委員
- 4) 法人及び職能団体（各協会，士会等）の役職
裏千家 国際茶道会（UIA）関東支部 エリアマネージャー，岩手県広報広聴課 希望郷いわて文化大使
- 5) 他の教育機関における評価委員
岩手県立大学 経営委員

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
〔民間グラント，受託研究等〕
 - ・2020，民間グラント，香辛料やベビーリーフ野菜の嗜好性と摂取タイミングが食後血糖値スパイクや生体調節機能に及ぼす影響（山崎香辛料振興財団助成，エスビー食品様よりベビーリーフおよび香辛料の提供，一正蒲鉾様よりカニカマの提供），研究代表者（新規）
 - ・2020，有色大豆の商品化に関するマーケティング調査，研究代表者（新規）
〔学長裁量経費による活動等〕
 - ・2020，研究，「胎内市で生産・加工・宅配を手掛ける青汁産業のマーケットイン視点での経営解析と将来予測」，共同研究者（新規）
 - ・2020，血糖値コントロールに関する研究，香辛料やベビーリーフ野菜の嗜好性と摂取タイミングが食後血糖値スパイクや生体調節機能に及ぼす影響（山崎香辛料振興財団助成），主担当（新規）
 - ・2020，魚肉タンパク質の血糖値に関する研究，魚肉タンパク質の血糖値変動に関して，主担当（一正蒲鉾様より，カニカマ・チクワの提供）
 - ・2020，青汁の嗜好性と摂取タイミングが食後血糖値変動に及ぼす影響（遠藤青汁様より青汁の提供）
- 2) 学外兼務講師等
 - ・日本女子大学，食品開発論，2010年～2022年
 - ・新潟大学大学院，キャリアマネジメントセミナー，2020年
 - ・兵庫県立大学大学院，産学連携実践講義，2021年・2022年
 - ・村上高等学校，お茶の抽出について，2020年10月5日
 - ・村上高等学校，情報やイメージによって変化する味，2020年11月6日
 - ・柏崎高等学校，情報やイメージによって変化する味，2020年10月14日
 - ・糸魚川高等学校，情報やイメージによって変化する味，2020年12月1日

- ・関根学園高等学校, 自分の味覚を調査しよう!官能評価体験, 2020年12月15日
- ・高志中等教育学校, おいしさの科学, 2021年2月13日

7 学内委員会活動

ヒトを対象とした研究に関する倫理委員会(委員長), 社会連携推進委員会(委員)

氏名: 渡邊 剛志

1 研究題目

1. 県北の地域微生物資源を利用した食品および農業に利用可能な有用微生物の探索と応用開発, 2. 地域発酵食品に存在する微生物の解析-有用乳酸菌・酵母の分離と応用開発-, 3. 微生物によるパイオマス多糖キチンの分解利用機構の解明と生物制御への応用

2 論文

1. I. Pentekhina, T. Hattori, D.M. Tran, M. Shima, T. Watanabe, H. Sugimoto and K. Suzuki. 共著(コレスポンディングオーサー以外). Chitinase system of *Aeromonas salmonicida*, and characterization of enzymes involved in chitin degradation. 原著論文. Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry (JCR). 2020; 84(9): 1936-1947 (発刊済)
2. Nakagawa YS, Kudo M, Onodera R, Ang LZP, Watanabe T, Totani K, Eijsink VGH, Vaaje-Kolstad G. 共著(コレスポンディングオーサー以外). Analysis of Four Chitin-Active Lytic Polysaccharide Monooxygenases from *Streptomyces griseus* Reveals Functional Variation. 原著論文. J. Agric. Food Chem. (JCR). 2020; 68(47): 13641-13650 (発刊済)
3. Sugimoto H, Nakajima Y, Motoyama A, Katagiri E, Watanabe T, Suzuki K. 共著(コレスポンディングオーサー以外). Unfolding of CBP21, a lytic polysaccharide monooxygenase, without dissociation of its copper ion cofactor. 原著論文. Biopolymers (JCR). 2020; 111(1): e23339 (発刊済)

3 学会等研究発表

1. 栗林喬, 畠山明, 浅野宏文, 古田悟, 原崇, 鈴木一史, 城斗志夫, 金桶光起, 小熊哲哉, 渡邊剛志. 新潟県内の清酒製造場における「蔵付き酵母」の分離とその醸造特性. 一般発表(口述). 令和2年度日本醸造学会大会. ②. オンライン開催(東京), 2020.10.21~10.27
2. Y. NAKAJIMA, A. MOTOYAMA, T. WATANABE, K. SUZUKI and H. SUGIMOTO. Unfolding mechanism of a lytic polysaccharide monooxygenase from *Serratia marcescens*, CBP21. 一般発表(ポスター). 第20回日本蛋白質科学会年会. ②. オンライン開催(札幌), 2020.7.6~7.9
3. I. PENTEKHINA, T. HATTORI, D. M. TRAN, M. SHIMA, T. WATANABE, H. SUGIMOTO and K. SUZUKI. Chitinases and LPMO from *Aeromonas salmonicida*: enzymatic properties of purified recombinant proteins. 一般発表(口述). 第34回日本キチン・キトサン学会大会. ②. オンライン開催(福井), 2020.8.27~8.28
4. Y. NAKAJIMA, T. WATANABE, K. SUZUKI and H. SUGIMOTO. Structural Stability and Unfolding Kinetics of a lytic polysaccharide monooxygenase, CBP21. 一般発表(ポスター). 第58回生物物理学会年会. ②. オンライン開催(高崎), 2020.9.16~9.18
5. 杉本華幸, 中村禄朗, 中島優一, 坪田侑里香, 渡邊剛志, 鈴木一史. 多糖モノオキシゲナーゼ, CBP21の変性機構と構造安定性. 一般発表(口述). 日本農芸化学会2020年度大会. ②. オンライン開催(福岡), 2020.3.25~3.28

4 学会活動

1) 所属学会

日本農芸化学会, 日本生物工学会, 日本キチン・キトサン学会, 日本応用糖質科学会, 日本醸造協会・日本醸造学会

5 社会活動

- 1) 社会活動への参加・協力(参加・協力先名称, 活動内容, 役割, 対象者, 活動地域, 活動日数の順に記載)

- ・新潟ビール醸造（株），分析技術に関する連携協議（共同研究），大学側代表（窓口），（関係者）新潟ビール醸造社員および本学教員・学生，基本的に本学，3日程度
- ・胎内市関係者，胎内地域活性化のために，胎内市と情報共有・連携しつつ，胎内オリジナル清酒や発酵食品を目指して胎内地域から有用微生物を分離する活動など，大学側代表（窓口），本学教員・学生および胎内市関係者，本学および胎内地域，20日程度

6 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

- ・新潟大学大学院，自然科学研究科 博士学位論文審査委員，2020
- ・新潟大学，自然科学系（農学）フェロー，2020
- ・新潟大学，フードサイエンスセンターメンバー，2020

7 学内委員会活動

学生委員会（委員）

氏名：岩坂 健志

1 研究題目

1. 社会的課題の解決・企業の社会的責任遂行のための金融機能， 2. 地域の社会的課題解決に取り組む社会的企業と地域振興の関係， 3. 発展途上国の課題をF決するための BOP ビジネス， 4. 企業の幹部養成のための資質と能力とその具体化， 5. ワーカーズコープ等新しい働き方， 6. 持続可能な社会の実現のための先人の知恵

2 著書

1. 岩坂健志，唐木宏一．共著．金融機能による社会的課題の解決．書籍．1版．東京：白桃書房；2020：1-100，175-217（発刊済）

3 論文

1. 岩坂健志．単著．金融機能を補完する社会システム．原著論文．季刊個人金融．2021；冬 15(4)：68-77（発刊済）

4 学会等研究発表

1. 岩坂健志．金融機能を補完する社会システム．一般発表．金融プラス・フォーラム．③．東京（オンライン），2020.11.15
2. 岩坂健志．商家の家訓にみるリスクマネジメント．一般発表．日本リスクマネジメント学会．②．東京（オンライン），2021.3.26

5 学会活動

1) 所属学会

日本リスクマネジメント学会，日本ソーシャルリスクマネジメント学会，金融プラス・フォーラム

2) 学会，学術団体等の役職

日本ソーシャルリスクマネジメント学会 評議員，金融プラス・フォーラム 幹事

6 社会活動

1) 社会活動への参加・協力（参加・協力先名称，活動内容，役割，対象者，活動地域，活動日数の順に記載）

- ・フードバンクにいがた，貧困家庭を対象とした食物支援，スタッフ，新潟市在住母子家庭，新潟市，3日
- ・にいがた協同ネット，社会的課題解決を目的とする各種団体の連合会，運営委員，県内各種団体，新潟県，8日

2) 法人及び職能団体（各協会，士会等）の役職

株式会社大八・社外取締役

7 学内委員会活動

図書・情報委員会（委員長）

氏名：金子 孝一

1 研究題目

1. 働き方改革に関する生産性課題（プレゼンティーズム）について， 2. 顧客満足にかかわる感性要因について， 3. 料飲需要の分析と AI 等 IOT 応用について， 4. 設備等バックヤードのプラットフォームと業態運営効率について

2 論文

1. Koichi Kaneko. 単著. FOODSERVICE 2021: CHECKLIST - Rebuilt customer trust. 一般. FOODSERVICE CONSULTANT (専門誌). 2020; Q4, 2020: 59-60 (発行済)

3 学会等研究発表

1. 金子孝一. プレゼンティーズム (WFun・WLQ-J) の測定に見る外食店舗の特性. 一般発表. 日本感性工学会第 22 回大会. 東京 (オンライン), 2020.9.9~9.11

4 学会活動

1) 所属学会

日本感性工学会, 日本フードサービス学会

2) 学術集会の主催

日本感性工学会, フードサービス部会研究会, 部会長, オンライン Zoom, 2020.9.9

3) 学会, 学術団体等の役職

日本感性工学会 フードサービス部会 部会長, 日本感性工学会 評議員

4) 学会, 学術団体等でのその他の活動

・日本感性工学会, 第 22 回全国大会の実施細則検討・プログラム企画, 実行委員, 2020.4.1~9.11
・日本感性工学会, 論文審査・編集委員会にて論文誌刊行, 論文査読, 編集委員, 2020.4.1~

5 社会活動

1) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の名称と役職

東北経済産業局 東北地域農工商等連携事業・農工商等連携支援事業評価委員会・委員長, 東北経済産業局 東北地域地域産業資源活用事業評価委員会・委員長

2) 法人及び職能団体 (各協会, 士会等) の役職

最適厨房研究会 理事 (企画委員会委員), (一社) 日本厨房工業会 設備士試験問題諮問委員

6 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

・宮城学院女子大学, 給食経営管理論Ⅱ, 2020.8.27~8.28 (集中講義)
・新発田高等学校, 総合学習講座, 2020.10.8 (出張講義)

7 学内委員会活動

入試広報委員会 (副委員長)

氏名：木下 勝一

1 研究題目

1. 新潟地域の地場中業企業の経営分析に関する研究, 2. 中小企業会計基準に関する研究, 3. 我が国における IFRS の選択的導入に伴うエンフォースメントに関する研究, 4. 公認会計士監査に対する監督制度の導入に関する国際比較研究

2 論文

1. 木下勝一. 単著. ドイツにおける監査人の監査・監督システムのエージェンシー関係論. 原著論文. 会計 (森山書店). 2020; 197(6): 714-728 (発刊済み)

2. 木下勝一. 単著. ドイツ公認会計士に対する監査業務の監視の改革動向. 原著論文. 産業経理 (産業経理協会). 2020; 78(2): 13-21 (発刊済み)

3 学会活動

1) 所属学会

日本会計研究学会, 国際会計研究学会

4 学内委員会活動

遺伝子組み換え実験安全委員会 (委員)

氏名: 高力 美由紀

1 研究題目

1. 「食」を活かした地域活性化ビジネス—エクイティ文化によるプラットフォーム形成, 2. フードサービスビジネスにおける継続と革新—新価値創造に向けて

2 論文

1. 高力美由紀, 単著. 株式会社仙台商産 代表取締役会長/株式会社仙台水産 取締役相談役 島貫 文好 氏に聞く『食文化提供企業としての役割と日本の魚食の未来』. 総説. 日本フードサービス学会会報 (学会誌). 2020: 43; 3-7 (発刊済)
2. 有馬晶弘, 藤原正樹, 高力美由紀. 共著 (コレスポンディングオーサー以外). エクイティ文化と ICT による大規模災害被災地中小企業の支援の可能性. 原著論文. 経営情報学会全国研究発表大会要旨集. 2020.11: 249-252 (発刊済)
3. 高力美由紀. 単著. 書籍紹介 2『フードバリューチェーンが変える日本農業』(大泉一貫著). 書評. 日本フードサービス学会会報 (学会誌). 2020: 42; 9-9 (発刊済)

3 学会等研究発表

1. 有馬晶弘, 藤原正樹, 高力美由紀. エクイティ文化と ICT による大規模災害被災地中小企業の支援の可能性. 一般発表. 経営情報学会. WEB, 2020.11.7~11.8

4 学会活動

1) 所属学会

日本フードサービス学会, 地域活性学会, 日本地域政策学会, 日本マーケティング学会, 日本フードシステム学会, 日本感性工学会, 東北農業経済学会

2) 学会, 学術団体等でのその他の活動

- ・日本フードサービス学会, 論文査読, 査読者, 2020年9月4日
- ・日本フードサービス学会, 論文査読, 査読者, 2020年10月27日
- ・日本フードサービス学会, 編集委員会, 委員, 2020年4月~

5 社会活動

1) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の名称と役職

横浜市中央卸売市場開設運営協議会 副議長, 横浜市中央卸売市場青果部市場取引委員会 副委員長, 山形県農業普及活動外部評価委員会 委員

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

[科研費]

- ・2017, 科研費/基盤研究 (C), エクイティ文化に基づく東北復興ビジネス・プラットフォームの構想と実現に関する研究, 研究分担者 (継続)

7 学内委員会活動

社会連携推進委員会 (副委員長), 学生委員会 (委員)

氏名：鈴木 孝男

1 研究題目

1. 持続可能な農山漁村地域の計画的な研究, 2. 人口減少時代の自治体政策, 3. コミュニティビジネス, 4. 雇用定住を生み出す農村ビジネス, 5. 震災復興, 減災・防災まちづくり

2 論文

1. 鈴木孝男. 単著. 里山の社会・文化を継承する農村計画への展開. 原著論文. 農村計画のパラダイム (日本建築学会). 2020: 53-54 (発刊済)
2. 鈴木孝男. 単著. 都市計画 Topics | 東北本州日本海側唯一の政令指定都市新潟市の最新まちづくり. 原著論文. 都市計画 (日本都市計画学会). 2020: 349: 7-7 (発刊済)
3. 鈴木孝男. 単著. 特集「コミュニティ復興」. 原著論文. 農村計画学会誌 (農村計画学会). 2021: 39 (4): 374-377 (発刊済)
4. 鈴木孝男. 単著. 福与徳文著『災害に強い地域づくり』. 書評. 農村計画学会誌. 2020: 39(4): 433-433 (発刊済)

3 学会活動

1) 所属学会

日本建築学会, 日本都市計画学会, 日本地域政策学会, コミュニティ政策学会, 地域活性学会

2) 学術集会の主催

- ・農村計画委員会集落復興小委員会 オンライン公開研究会, 実行委員, オンライン, 2020.12.10
- ・農村計画委員会集落復興小委員会 オンライン公開研究会, 実行委員, オンライン, 2021.2.16

3) 学会, 学術団体等の役職

農村計画学会 評議委員

4) 学会, 学術団体等でのその他の活動

- ・日本建築学会, 農村計画本委員会, 委員, 2010年8月～現在
- ・日本建築学会, 集落復興小委員会, 主査, 2010年8月 (主査は2018年)～現在
- ・日本建築学会, 農村地域づくり小委員会小委員会, 幹事, 2018年4月～現在
- ・日本都市計画学会, 東北支部総務企画, 委員, 2010年4月～現在

4 社会活動

1) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の名称と役職

胎内市市場運営委員会 (委員), 胎内市総合計画等審議会 (委員長), 七ヶ宿町ふるさと創生本部有識者会議 (委員長), 西川町総合政策審議会 (委員), 新潟市新潟市都市計画審議会 (委員), 新潟市都市計画マスタープラン策定検討委員会 (委員), 聖籠町総合計画審議会 (産業・観光部会長)

2) 法人及び職能団体 (各協会, 士会等) の役職

特定非営利活動法人まちづくり政策フォーラム (代表理事), 公益財団法人地域創造基金さなぶり (評議委員), 一般社団法人東松島ひとまちネット 復興まちづくり推進員事業 (アドバイザー)

5 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

- ・新潟県立五泉高等学校, 模擬授業, 2020.11.11

6 学内委員会活動

FD・SD委員会 (委員長), 教務委員会 (委員), ヒトを対象とする研究に関する倫理委員会 (委員)

氏名：早川 喜郎

1 研究題目

1. 地域農産物（野菜・果実等）の加工・利用に関する研究 ①佐渡産の柿を用いた新規加工品の開発（佐渡市） ②地域との連携による「マコモタケ」を活用した加工品の開発（胎内市）、2. さつまいも（はるかなた）の品質評価（生産者毎の品質評価）（胎内市，JA 胎内）、3. ベジアビオ社のトマト評価（ベジアビオ社）、4. 異分野融合研究（東京大学との共同研究）「新規遠赤外線デバイスによる米等の乾燥」、5. 果汁の高品質濃縮技術の研究（個人研究）

2 報告書

1. 早川喜郎, Llave Yvan. 受託研究. 加工専用果実生産支援事業. 研究成果報告書. 2020.4.1～2021.3.31. 共著（コレスポンディングオーサー）

3 学会等研究発表

1. 早川喜郎. マコモタケを活用した野菜加工品の開発. 一般発表（ポスター）. 日本食品工学会. ②. リモート, 2020.8.7～16

4 学会活動

1) 所属学会

日本食品工学会, 日本食品科学工学会, 新潟県食品技術研究会, 新たな米産業創出技術研究会

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等（講座・講演・研修・講習会名, 内容, 役割, 対象者, 開催地, 開催年月日の順に記載）
・フードスペシャリスト養成講座（信州大学）, 食品開発における原価管理, 講習会講師, 食品企業の開発担当者, リモート, 2020.10.17
- 2) 法人及び職能団体（各協会, 士会等）の役職
・新潟県食品技術研究会（役員）

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

[学長裁量経費による活動等]

- ・2020, 研究, 地域との連携による「マコモタケ」を活用した加工品の開発（胎内市）, 研究代表者（継続）
- ・2020, 研究, 「胎内市で生産・加工・宅配を手掛ける青汁産業のマーケットイン視点での経営解析と将来予測」, 共同研究者（新規）
- ・2020, 研究, 佐渡市南部地域と本学との, 果実の加工品を中心とする食と観光の開発における連携体制の構築（2020）, 共同研究者（継続）

7 学内委員会活動

入試・広報委員会（委員長）, 社会連携推進委員会（委員）

氏名：松村 順二

1 研究題目

1. 大学における実践的な創業教育の方法について, 2. 新規就農者の経営が安定軌道に乗るための効果的な就農準備と工程管理について

2 学会活動

1) 所属学会

農業経営学会, フードシステム学会

3 社会活動

- 1) 社会活動への参加・協力（参加・協力先名称, 活動内容, 役割, 対象者, 活動地域, 活動日数の順に記載）
・羽茂農業協同組合 羽茂農業振興公社, 加工専用果実生産支援（低コスト・省力化栽培による加工用おけさ柿の加工食品の開発に係る受託研究）, コーディネート, 羽茂農業協同組合 羽茂農業振興公

社, 佐渡市羽茂地域, 10 日

4 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

[学長裁量経費による活動等]

- ・2020, 受託研究関連, 佐渡市南部地域と本学との, 果実の加工品を中心とする食と観光の開発における連携体制の構築, コーディネート (新規)

5 学内委員会活動

環境整備委員会 (委員), 社会連携推進委員会 (委員), キャリアセンター (センター長)

氏名: 浅野 亮樹

1 研究題目

1. 土壌における微生物群集の解析, 2. 廃水処理過程における硫黄酸化細菌の解析

2 論文

1. Lee CG, Baba Y, Asano R, Fukuda Y, Tada C, Nakai Y. 共著. Identification of bacteria involved in the decomposition of lignocellulosic biomass treated with cow rumen fluid by metagenomic analysis. 原著論文. Journal of Bioscience and Bioengineering. 2020 ; 130(2) : 137-141 (発行済)
2. Hayakawa A, Funaki Y, Sudo T, Asano R, Murano H, Watanabe S, Ishida T, Ishikawa Y, Hidaka S. 共著. Catchment topography and the distribution of electron donors for denitrification control the nitrate concentration in headwater streams of the Lake Hachiro watershed. 原著論文. Soil Science and Plant Nutrition. 2020 ; 66(6) : 906-918 (発行済)
3. Takizawa S, Asano R, Fukuda Y, Feng M, Baba Y, Abe K, Tada C and Nakai Y. 共著. Change of Endoglucanase Activity and Rumen Microbial Community During Biodegradation of Cellulose Using Rumen Microbiota. 原著論文. Frontiers Microbiology. 2020 ; 11 : 603818 (論文番号) (電子媒体にて公開済)
4. 浅野亮樹, 早川敦, 福島淳, 中井裕, 志村洋一郎, 阿部みどり, 稲元民夫, 川田和. 筆頭 (コレスポন্ディングオーサー). 東北地方太平洋沖地震で津波浸水した農地土壌における微生物群集の長期的な変化. 総説・解説. 宮城獣医師会会報. 2020 ; 73(3) : 73-76 (発行済)

3 学会活動

1) 所属学会

微生物生態学会, ゲノム微生物学会, 日本畜産環境学会

2) 学会, 学術団体等の役職

日本畜産環境学会 理事

4 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

[科研費]

- ・2018, 科研費 基盤 C, 廃水処理における硫黄酸化細菌の株レベルの群集構造解析による生育特性の決定, 研究代表者 (継続)
- ・2017, 科研費 基盤 A, 機能性ルーメン微生物群集の高密度・コンパクト化による非食用バイオマスのメタン発酵, 研究分担者 (継続)

5 学内委員会活動

学生委員会 (委員), 遺伝子組換え実験安全委員会 (安全責任者), FD・SD 委員会 (委員)

氏名：伊藤 崇浩

1 研究題目

1. リビングマルチを利用したサツマイモの有機栽培技術の開発, 2. 土壌線虫群集動態による緑肥圃場の生物多様性の評価, 3. クラウン局所加温がイチゴの生育と収量の及ぼす影響の解析, 4. “La Potager du Tainai” (胎内国際野菜園) の設立を目指して～国際交流が猿害・過疎化に苦しむ中山間地域を救う～

2 著書

1. 岡田浩明 (監訳), 伊藤崇浩, 浦上敦子, 浴野泰甫, 北上雄大, 鈴木崇之, 立石靖. 共訳. 植物寄生性線虫の生物的防除 持続的農業における土壌生態系管理. 翻訳書. 第2版. 北海道: 日本線虫学会; 2021.03.31: 6章 (249-303), 10章 (432-467), 14章 (624-653) (発刊済)

3 学会等研究発表

1. 伊藤崇浩, 佐藤根妃奈, 趙鉄軍. 新潟県におけるイチゴの高設栽培においてクラウン局所加温が生育に及ぼす影響の解析. 一般発表 (口述). 日本農作業学会. ②. オンライン (東京農業大学). 2021.03.22～03.23

4 学会活動

1) 所属学会

農作業学会, 有機農業学会

5 社会活動

1) TV 出演, ラジオ出演, 新聞または一般雑誌への掲載等

(出演したメディアの種類・番組・掲載誌名, タイトル・放映内容, 出演・掲載年月日の順に記載)

・日本経済新聞 (電子版), 新潟・長野の大学, 遠隔講義相次ぎ始動, 2020年5月12日

・日本経済新聞 (朝刊), 内容: 栽培キットの紹介, 2020年5月13日

・UX テレビ 21 UX ニュース, 内容: 栽培キットの紹介, 2020年5月20日

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

[科研費]

・2018年度, 基盤研究 (B) (一般), 緑肥導入体系における土壌微生物および小動物の動態と作物生産性, 研究分担者 (継続)

[学長裁量経費による活動等]

・2020, 研究, リビングマルチを利用したサツマイモの有機栽培技術の開発, 栽培管理, 生育・収穫調査, 生物相調査, とりまとめ (新規)

・2020, 地域活動, “La Potager du Tainai” (胎内国際野菜園) の設立を目指して～国際交流が猿害・過疎化に苦しむ中山間地域を救う～, 調整, とりまとめ, 栽培管理 (新規)

・2020, 研究, イチゴにおける果皮の特性と品質保持に関わる研究, 生育調査 (新規)

・2020, 地域活動, 地域との連携による「マコモタケ」を活用した加工品の開発, 栽培に関する調査 (新規)

7 学内委員会活動

教務委員会 (委員), ヒトを対象とする研究に関する倫理委員会 (委員), 遠隔授業 WG (オブザーバー), コロナウイルス対策検討会議 (オブザーバー)

氏名：趙 鉄軍

1 研究題目

1. 農作物におけるスマートフードチェーンの研究開発, 2. 収量増加と品質保持の両立を目指したイチゴの栽培方法確立に関わる研究, 3. LED 育苗ユニット利用条件下トマト育苗条件最適化に関する研究, 4. 東南アジアにおける水銀使用時による持続的環境汚染修復と健康被害回避に関する研究

2 論文

1. Yamaura, H., Fujita, S., Ikeda, K., Takano, N., Kanno, K., Matsuo, S., Zhao, T., Nakano, A. and Iwasaki, Y. 共著. Year-round production of tomato fruits by low node-order pinching and high-density planting in subtropical area in Japan. 原著論文. Acta Hort. 2020 ; 1296 : 457-462 (発刊済)
2. Tiejun Zhao, Akimasa Nakano, Yasunaga Iwasaki, Hiroki Umeda. 筆頭. Application of Hyperspectral Imaging for Assessment of Tomato Leaf Water Status in Plant Factories. 原著論文. Applied Sciences. 2020 ; 10, 4665 (発刊済)
3. 大川千鶴, 黒田史絵, 川口哲平, 趙鉄軍, 中野明正. 共著. 底面給液型養液栽培における培地の違いが中玉トマトの生産性と根系に与える影響. 原著論文. 農業および園芸. 2020;96(03):217-220 (発刊済)

3 学会等研究発表

1. 趙鉄軍, 佐藤根妃奈, 稲本俊彦, 伊藤崇浩, 居城幸夫, 浅野亮樹, 王政, 安藤聡, 上田浩史. 新潟県での異なる栽培方法におけるミニトマトの収量および品質の品種間差異. 一般発表. 園芸学会. ②. オンライン, 2021.03
2. 佐藤根妃奈, 伊藤崇浩, 岩崎泰永, 趙鉄軍. 新潟県での養液栽培におけるイチゴの生育, 収量および品質の品種間差異. 一般発表. 園芸学会. ②. オンライン, 2021.03
3. 伊藤崇浩, 佐藤根妃奈, 趙鉄軍. 新潟県におけるイチゴの高設栽培においてクラウン局所加温が生育に及ぼす影響の解析. 一般発表. 農作業学会. ②. オンライン, 2021.03
4. 中野明正, 趙鉄軍, 川口哲平. 底面給液型養液栽培における酸素供給剤の培地添加はトマトの根の褐変を改善し収量を増加させる. 一般発表. 根の研究会. ②. 熊本, 2020.11

4 学会活動

1) 所属学会

園芸学会, 国際園芸学会, 日本農作業学会, 養液栽培研究会

2) 学会, 学術団体等でのその他の活動

- ・根の研究会, 論文査読, 査読委員, 2020年4月
- ・Food Science & Nutrition, 論文査読, 査読委員, 2021年1月, 2月

5 社会活動

1) 社会活動への参加・協力(参加・協力先名称, 活動内容, 役割, 対象者, 活動地域, 活動日数の順に記載)

- ・新潟北区「次世代農業」促進事業 (ICT等の新技術導入) 検討会 (10月27日, 3月25日), 検討会, メンバー, 農業法人など, 新潟県, 1
- ・新潟県スマート農林水産業マッチングイベント, 各発表に対し, 「感想や提案内容のマッチング推進・ブラッシュアップ」に向けた助言など, 講師, 農業法人など, 新潟県, 1

2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の名称と役職

- ・新潟北区「次世代農業」促進事業 (ICT等の新技術導入) 検討会 委員

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

[科研費]

- ・2019, 基盤研究 (B), 東南アジアにおける水銀使用時による持続的環境汚染修復と健康被害回避に関する研究, 研究分担者 (継続)

[民間グラント, 受託研究等]

- ・2018, 寄付金, LED 育苗ユニット利用条件下トマト育苗条件最適化に関する研究, 研究代表者 研究

分担者（継続）

〔学長裁量経費による活動等〕

- ・2020, 学長裁量経費, イチゴにおける果皮の特性と品質保持に関わる研究, 研究代表者（新規）
- ・2020, 学長裁量経費, 地域との連携による「マコモタケ」を活用した加工品の開発, 研究分担者（新規）
- ・2020, 学長裁量経費, リビングマルチを利用したサツマイモの有機栽培技術の開発, 研究分担者（新規）

7 学内委員会活動

学生委員会（委員）, 国際交流委員会（委員）

氏名：田副 雄士

1 研究題目

1. 製鋼スラグ系ケイ酸資材施用は, 山田錦（酒米）の収量・品質および葉の光合成を高めるか?, 2. 製鋼スラグ系ケイ酸資材の鉄は, 水田土壌の窒素肥沃度を向上させるか?, 3. 農耕地の持続的利用を目指した次世代型圃場総合診断システムの構築, 4. 光化学系 I 下流の電子伝達系における環境ストレス応答の新展開

2 論文

1. Tazoe Y, Ishikawa N, Shikanai T, Ishiyama K, Takagi D, Makino A, Sato F, Endo T. 筆頭（コレスボンディングオーサー）. Overproduction of PGR5 enhances the electron sink downstream of photosystem I in a C4 plant, *Flaveria bidentis*. 原著論文. *The Plant Journal*. 2020 ; 103 : 814-823（発行済）
2. Takagi D, Miyagi A, Tazoe Y, Suganami M, Kawai-Yamada M, Ueda A, Suzuki Y, Noguchi K, Hirotsu N, Makino A. 共著. Phosphorus toxicity disrupts Rubisco activation and reactive oxygen species defence systems by phytic acid accumulation in leaves. 原著論文. *Plant, Cell & Environment*. 2020 ; 43(9) : 2033-2053（発行済）
3. Suganami M, Suzuki Y, Tazoe Y, Yamori W, Makino A. 共著. Co-overproducing Rubisco and Rubisco activase enhances photosynthesis in the optimal temperature range in rice. 原著論文. *Plant Physiology*. 2020 ; 185(1) : 108-119（発行済）

3 報告書

1. 伊藤豊彰, 田副雄士. 受託研究. スラグ系ケイ酸質肥料施用による酒米（五百万石）の醸造特性（溶解性）低下抑制. 研究成果報告書. 2020-2021（研究分担者）

4 学会活動

1) 所属学会

日本植物生理学会, 日本土壌肥料学会, 日本作物学会, 日本光合成学会, International Society of Photosynthesis Research

5 社会活動

1) TV 出演, ラジオ出演, 新聞または一般雑誌への掲載等

（出演したメディアの種類・番組・掲載誌名, タイトル・放映内容, 出演・掲載年月日の順に記載）

- ・新潟日報, 新潟食料農業大学 オンライン実習 コロナ禍においてリモート授業が話題になっている中で, 独自のリモート実習を行っているとして, 本学の実習の取材を受けた（囲み記事）. 実習の目的や様子について, コメントした（名前掲載）. 写真有（本人は写っていない）, 2020/6/11

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

〔民間グラント, 受託研究等〕

- ・2020 年度, 鉄鋼スラグ系ケイ酸資材の農業利用に関する奨学寄附金, スラグ系ケイ酸質肥料施用水田における「五百万石」の光合成の高温耐性とデンプン構造との関係, 研究分担者（継続）

7 学内委員会活動

社会連携推進委員会（委員）, 環境整備委員会（委員）

氏名：阿部 憲一

1 研究題目

1. ウシの第一胃微生物を活用した廃棄物処理・資源循環システムの開発, 2. 食肉処理作業動作のデータ化・見える化

2 論文

1. Takizawa, S., Abe, K., Fukuda, Y., Feng, M., Baba, Y., Tada, C. & Nakai, Y. 共著. Recovery of the fibrolytic microorganisms from rumen fluid by flocculation for simultaneous treatment of lignocellulosic biomass and volatile fatty acid production. 原著論文. Journal of Cleaner Production. 2020 ; 257 : 120626 (発刊済)
2. Takizawa, S., Asano, R., Fukuda, Y., Feng, M., Baba, Y., Abe, K., Tada, C. & Nakai, Y. 共著. Change of Endoglucanase Activity and Rumen Microbial Community During Biodegradation of Cellulose Using Rumen Microbiota. 原著論文. Frontiers in Microbiology. 2020 ; 11 : Article 603818 (発刊済)

3 報告書

1. 阿部憲一, 中井裕. 受託研究. と畜・解体処理（特に牛の背割り）の自動化・効率化に関する研究開発. 成果報告書. 2018-2020 (研究分担者)

4 学会活動

1) 所属学会

廃棄物資源循環学会, 日本畜産環境学会

2) 学会, 学術団体等の役職

日本畜産環境学会・理事

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

[科研費]

- ・2017, 基盤A, 機能性ルーメン微生物群集の高密度・コンパクト化による非食用バイオマスのメタン発酵, 研究分担者（継続）

[民間グラント, 受託研究等]

- ・2018, 受託研究, と畜・解体処理（特に牛の背割り）の自動化・効率化に関する研究開発, 研究分担者（継続）
- ・2020, A-STEP 産学共同<育成型>, 牛ルーメン液を用いたリグノセルロース分解促進材の開発とメタン発酵高効率化, 研究分担者（新規）

[学長裁量経費による活動等]

- ・2020, 学長裁量研究, 中山間地での減農薬・無化学肥料水稻栽培の探究および生産者への提案 ～中山間地帯集落における持続可能な稲作の在り方とは？～, 研究代表者（新規）
- ・2020, 学長裁量研究, “La Potager du Tainai”（胎内国際野菜園）の設立を目指して～国際交流が猿害・過疎化に苦しむ中山間地域を救う～, 研究分担者（新規）
- ・2020, 学長裁量研究, リビングマルチを利用したサツマイモの有機栽培技術の開発, 研究分担者（新規）

6 学内委員会活動

図書・情報委員会（委員）, 入試・広報委員会（委員）, 学食懇話会（委員）, 将来構想 WG（委員）, 遠隔授業 WG（WG 長）

氏名：青山 浩子

1 研究題目

1. 農業法人における人的資源管理, 2. 農業・農村における女性の活躍, 3. 農業の6次産業化

2 著書

1. 青山浩子. 分担. ホクギンマンスリー. 小冊子. 夏季合併号. 新潟県：(株)ホクギン経済研究所；2020年7月：12-16（発刊済）
2. 青山浩子. 分担. 商工ジャーナル. 小冊子. 2020年10月号. 東京都：商工中金経済研究所；2020年10月：24-26（発刊済）
3. 青山浩子. 分担. AFCフォーラム 農と食の邂逅. 小冊子. 2020年4月号. 東京都：日本政策金融公庫；2020年4月：19-21（発刊済）
4. 青山浩子. 分担. AFCフォーラム 農と食の邂逅. 小冊子. 2020年5月号. 東京都：日本政策金融公庫；2020年5月：19-21（発刊済）
5. 青山浩子. 分担. AFCフォーラム 農と食の邂逅. 小冊子. 2020年6, 7月号. 東京都：日本政策金融公庫；2020年7月：19-21（発刊済）
6. 青山浩子. 分担. AFCフォーラム 特集水田農業継承のカタチ. 小冊子. 2020年11月号. 東京都：日本政策金融公庫；2020年11月：7-10（発刊済）
7. 青山浩子. 分担. AFCフォーラム 農と食の邂逅. 小冊子. 2021年3月号. 東京都：日本政策金融公庫；2021年3月：19-24（発刊済）

3 論文

1. 青山浩子, 納口るり子, 氏家清和, 前田佳良子, 澤田守. 共著（コレスポンドイングオーサー）. 露地野菜作法人の組織構造と人的資源管理. 総説論文. 農業経営研究（日本農業経営学会学会誌）. 2020；58(4)：27-32（発刊済）
2. 前田佳良子, 納口るり子, 氏家清和, 青山浩子, 澤田守. 共著（コレスポンドイングオーサー以外）. 大規模露地野菜作法人における従業員の独立志向と従業員満足度. 総説論文. 関東東海北陸農業経営研究（関東東海北陸農業経営研究会誌）. 2020；111号：55-60（発刊済）
3. 青山浩子, 坂上隆. 共著（筆頭）. 畜産経営における事業展開や地域連携, 及び人材育成の現状と課題. 会議録. 農業経営研究（日本農業経営学会学会誌）. 2020；58(1)：75（発刊済）
4. 青山浩子. 単著. 園芸振興を本格化させる新潟県農業～園芸振興基本戦略が目指すものは～. 総説論文. 野菜情報（独立行政法人農畜産業振興機構）. 2020；204号：6-13（発刊済）
5. 青山浩子. 単著. 農業を支える人材の新しい育成ルート 農業者が連携するパートナー人材とは. 解説. 農業と経済. 2020；11月号：45-54（発刊済）
6. 青山浩子. 単著. 「平成農業技術史」書評. 平成の時代, 多様化する課題に農業技術はどう応えたか. 書評. 季刊地域. 2020；2月号増刊：139（発刊済）
7. 青山浩子. 単著. 農家のひきだし 東京2020地域活性化にどう生かす?. 一般. 地上（家の光協会）. 2020；4月号：68（発刊済）
8. 青山浩子. 単著. 農家のひきだし 農業系サークルと交流しよう. 一般. 地上（家の光協会）. 2020；5月号：68（発刊済）
9. 青山浩子. 単著. 農家のひきだし 新型コロナウイルス感染拡大に農業・農村はどう向き合う. 一般. 地上（家の光協会）. 2020；6月号：68（発刊済）
10. 青山浩子. 単著. 農家のひきだし 農家の備蓄力が評価される時代に. 一般. 地上（家の光協会）. 2020；7月号：68（発刊済）
11. 青山浩子. 単著. 農家のひきだし チャートで消費者の心をくすぐる. 一般. 地上（家の光協会）. 2020；8月号：68（発刊済）
12. 青山浩子. 単著. 農家のひきだし 農産物直売所, 若い顧客を増やすには. 一般. 地上（家の光協会）. 2020；9月号：68（発刊済）

13. 青山浩子. 単著. 農家のひきだし 若者は農業界をどう見ている. 一般. 地上 (家の光協会). 2020 ; 10月号 : 68 (発刊済)
14. 青山浩子. 単著. 農家のひきだし ポストコロナのオンラインの生かし方. 一般. 地上 (家の光協会). 2020 ; 11月号 : 68 (発刊済)
15. 青山浩子. 単著. 農家のひきだし あなたの心強いパートナーは. 一般. 地上 (家の光協会). 2020 ; 12月号 : 68 (発刊済)
16. 青山浩子. 単著. 特集 都会の若者と地方の引力. 一般. 地上 (家の光協会). 2020 ; 1月号 : 55 (発刊済)
17. 青山浩子. 単著. 農家のひきだし ウェブサイトでの消費者直販を問う. 一般. 地上 (家の光協会). 2020 ; 2月号 : 68 (発刊済)
18. 青山浩子. 単著. 農家のひきだし 観光果樹園のノウハウ伝授プランで最優秀賞. 一般. 地上 (家の光協会). 2020 ; 3月号 : 68 (発刊済)
19. 青山浩子. 単著. ほんとうに強い農業をつくる. 一般. 農業ビジネスベジ (イカロス出版). 2020 ; vol.29 : 3 (発刊済)
20. 青山浩子. 単著. ほんとうに強い農業をつくる. 一般. 農業ビジネスベジ (イカロス出版). 2020 ; vol.30 : 3 (発刊済)
21. 青山浩子. 単著. ほんとうに強い農業をつくる. 一般. 農業ビジネスベジ (イカロス出版). 2020 ; vol.31 : 3 (発刊済)
22. 青山浩子. 単著. ほんとうに強い農業をつくる. 一般. 農業ビジネスベジ (イカロス出版). 2021 ; vol.32 : 3 (発刊済)

4 報告書

1. 青山浩子, 山野豊, 黄孝春, 今智之, VL カーペンター, 蟻田昌伸. 受託研究. 輸出促進に係るブランド保護策調査 (秋田県委託業務). 研究成果報告書. 2020年8月~2021年3月 (共著 (コレスポンディングオーサー以外))

5 学会活動

1) 所属学会

日本農業経営学会, 日本農業経済学会

2) 学会, 学術団体等でのその他の活動

- ・ 農業情報学会, 農業イノベーション大賞, 選考委員, 2020年4月~2021年3月
- ・ 日本農業経営学会, 報告論文査読, 査読者, 2020年4月~2021年2月

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等 (講座・講演・研修・講習会名, 内容, 役割, 対象者, 開催地, 開催年月日の順に記載)
 - ・ 大分県「おおいた農業経営塾」, コロナ禍における農業ビジネスの展望, 講演, 大分県内農業者, オンライン, 2020年10月27日
 - ・ かごしま経済同友会例会, 新たな農業ビジネスの可能性と展望, 講演, 鹿児島県内企業経営者, 鹿児島県, 2020年10月12日
 - ・ 高知大等 IoP 連携プログラム IoP 特別セミナー, 女性の感性をいかした農業ビジネス, 講演, 学生 (高知大, 高知工科大, 高知県立大), 農業者等, オンライン, 2020年11月25日
 - ・ 糸魚川市, 地域資源をいかした6次産業化について, 講演, 糸魚川市農業者, 農業関係者, 魚川市, 2020年12月11日
 - ・ 新潟市, 農ある暮らしをめざす新潟市の優位性, 講演, 新潟市職員, 新潟市役所, 2021年1月14日
 - ・ JA 新潟中央会 JA 担い手支援推進集会, 農業ビジネスの環境変化とJAの担い手支援について, 講演, 新潟県内JA職員, 新潟市, 2021年3月16日
 - ・ SDGs アワード表彰関連講演会, 新潟らしいSDGsとは 農と食の視点から, 講演, SDGsにいが

た関係者，新潟市，2021年3月22日

- ・令和2年度国際理解セミナーアジアを知る，韓国と日本の農業と食文化比較，講演，本学学生，教職員，一般者，新潟食料農業大学，2021年10月31日

2) TV出演，ラジオ出演，新聞または一般雑誌への掲載等

(出演したメディアの種類・番組・掲載誌名，タイトル・放映内容，出演・掲載年月日の順に記載)

- ・NHKラジオ「マイあさ」三宅民夫の真剣勝負，コロナ禍，“食”の現場では，2020年5月25日
- ・NHKラジオ「マイあさ」三宅民夫の真剣勝負，ポストコロナ見直される“中山間地域”の可能性，2020年7月27日
- ・NHKラジオ「マイあさ」三宅民夫の真剣勝負，新政権どうなる日本の農業，2020年9月25日
- ・NHKラジオ「マイあさ」三宅民夫の真剣勝負，“種苗法改正”日本の農業はどうなるの？，2020年11月30日
- ・NHKラジオ「マイあさ」三宅民夫の真剣勝負，どうなるコロナ禍で余る“コメ”，2021年2月22日
- ・南日本新聞，論点 格差社会を解決する農政を，2020年4月27日
- ・南日本新聞，論点 受賞作に見る農村の今，2020年5月25日
- ・南日本新聞，論点 直売所に若者を呼び込む，2020年6月29日
- ・南日本新聞，論点 観光と農業で逆境はね返す，2020年8月3日
- ・南日本新聞，論点 新規就農者をどう導くか，2020年9月7日
- ・南日本新聞，論点 コロナ禍に見える農業の変化，2020年10月19日
- ・南日本新聞，論点 農業で注目されるBCP，2020年11月24日
- ・「農業共済新聞」2021年1月13日（全国農業共済協会），コロナ禍における農業の在り方，2021年1月13日

3) 社会活動への参加・協力（参加・協力先名称，活動内容，役割，対象者，活動地域，活動日数の順に記載）

- ・日本農業経営大学校，ビジネスコンテストにおける審査，審査員，同大学校卒業生，東京及びリモート，3日

4) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の名称と役職

内閣府規制改革推進会議 専門委員，国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 評価委員，全国土地改良事業団体連合会 農業・農村整備優良地区コンクール 選考委員，農林水産省 民間部門農林水産研究開発功績者表彰 選考委員，新潟県優良農業経営体等表彰事業 選考委員，高知県 IoP プロジェクト研究課題等評価委員会 委員，農林水産省 食料・農業・農村政策審議会専門委員（経営所得安定対策小委員会委員長）

5) 法人及び職能団体（各協会，士会等）の役職

高知県 Next 次世代型施設園芸プロジェクト IoP 推進機構 理事

7 学内委員会活動

教務委員会（委員），人権委員会（委員）

氏名：斎藤 順

1 研究題目

1. 農業経営における情報化のインパクト， 2. 作業日誌アプリを用いたデータ蓄積と効率化， 3. ARグラスを用いた生産技術習得の可能性と課題

2 学会活動

1) 所属学会

地域農林経済学会，東北農業経済学会

2) 学会，学術団体等の役職

東北農業経済学会 理事

3 社会活動

- 1) 社会活動への参加・協力（参加・協力先名称，活動内容，役割，対象者，活動地域，活動日数の順に記載）
 - ・スマート農林水産業ビジネス研修会兼マッチングイベント，スマート農林水産業に関する「現場ニーズ」と県内企業とのマッチングを促進する研修会，コメンテーター，農業者，企業関係者，長岡，1日
 - ・はるかなたプロジェクト はるかなたブランドの今後について，JA 胎内市，農業者，胎内，2日（11/13，12/4）

4 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
〔学長裁量経費による活動等〕
 - ・2020，地域貢献を目的とした研究および分析，胎内市で生産・加工・宅配を手掛ける青汁産業のマーケットイン視点での経営解析と将来予測，ケール生産の収益性の検証および拡大の可能性の検討（新規）
 - ・2020，地域貢献を目的とした研究および分析，中山間地での減農薬・無化学肥料水稻栽培の探究および生産者への提案，栽培コスト試算の指導（新規）
- 2) 学外兼務講師等
 - ・新潟農業・バイオ専門学校，農業法規，4～9月
 - ・新潟農業・バイオ専門学校，農業経営，4～9月
 - ・新潟農業・バイオ専門学校，アグリビジネス論，9～2月
- 5 学内委員会活動
学生委員会（副委員長），入試・広報委員会（委員），教育研究計画WG（メンバー），遠隔授業WG（メンバー）

氏名：西牧 和也

1 研究題目

1. 文法における語形成の位置づけ：形態統語間の競合関係， 2. 語形成と言語間差異の相関関係：語形成における類型論的相違とその理論的説明， 3. 形態統語的環境と語形成の関係性

2 学会活動

1) 所属学会

日本英語学会，日本言語学会，日本英文学会，近代英語協会，筑波英語学会，新潟大学言語研究会

2) 学術集会の主催

・日本英文学会東北支部第75回大会，大会運営委員，オンライン，2020年11月21日～12月4日

3) 学会，学術団体等でのその他の活動

・日本英文学会東北支部，第75回大会研究発表の査読，査読担当，2020年6月20日～2020年6月27日

3 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

〔科研費〕

・2020年度，科学研究費 基盤C，具現パターン選択と言語間相違の文法的位置付け：競合理論的アプローチ，代表研究者（新規）

4 学内委員会活動

図書・情報委員会（委員），国際交流委員会（委員）

氏名：山中 亮

1 研究題目

1. 長距離走者を対象としたスプリントトレーニングに関する研究, 2. 陸上競技短距離選手を対象とした低酸素トレーニングの効果の研究

2 論文

1. Yamanaka R, Wakasawa S, Yamashiro K, Kodama N, Sato D. 筆頭. Effect of resistance training of psoas major in combination with regular running training on a performance of long-distance runners. 原著論文. International journal of Sports Physiology and Performance. 2020 ; 16(6) : 906-909 (発刊済)

3 学会活動

1) 所属学会

日本トレーニング科学会, 日本体育学会, 日本体力医学会

4 社会活動

1) 社会活動への参加・協力 (参加・協力先名称, 活動内容, 役割, 対象者, 活動地域, 活動日数の順に記載)

- ・日本陸上競技連盟 科学委員会, 日本トップレベル選手を対象とした競技会時の映像の撮影と分析およびフィードバック, 委員, 日本トップレベル選手, 全国, 計 15 日間
- ・日本スポーツ振興センターハイパフォーマンスサポート事業, 東京オリンピック男子 4×100m リレー代表候補選手の競技会時および合宿時のサポート, 外部協力者, 東京オリンピック男子 4×100m リレー代表候補選手, 全国, 計 14 日間

2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の名称と役職

新潟県胎内市スポーツ推進審議会 委員, 新潟県胎内市部活動在り方検討委員会 委員

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

[科研費]

- ・2019, 科学研究費, 長距離走者のパフォーマンスにもたらすスプリントトレーニングの効果の解明, 研究代表者 (継続)

2) 学内部活動の実績

陸上競技部 (男子 5,000m 走), 第 94 回北信越学生陸上競技対校選手権大会, 5 位, 富山, 2020/8/2, 監督

6 学内委員会活動

学生委員会 (委員長), 新型コロナウイルス感染症対策本部会議 (オブザーバー)

氏名：甲斐 慎一

1 研究題目

1. 筋肉カルノシン・アンセリン量調節メカニズムの解明, 2. 食餌性因子による筋肉での遺伝子発現解析・メタボローム解析, 3. 飼料による食肉の高品質化に関する研究

2 論文

1. 藤村忍, 甲斐慎一, 渡邊源哉. 共著 (コレスポンディングオーサー以外). 食餌性アミノ酸による筋肉グルタミン酸および機能性ジペプチド量の制御と肉質評価. 総説・解説. アミノ酸研究 (日本アミノ酸学会). 2020 ; 13(2) : 59-66 (発刊済)

3 学会等研究発表

1. 神田亜樹奈, 岡田徹, 呉成栄, 甲斐慎一, 島元紗季, 藤村忍. 食餌性 β -ヒドロキシ- β -メチル酪酸 (HMB) によるプロイラー筋肉の代謝への得共. 一般発表 (ポスター). 日本アミノ酸学会第 14 回学術大会. ②. オンライン開催, 2020.11.20

4 学会活動

1) 所属学会

日本畜産学会, 日本家禽学会, 日本アミノ酸学会

5 学内委員会活動,

教務委員会 (委員), 遠隔授業アンケート WG (メンバー)

氏名: 佐藤根 妃奈

1 研究題目

1. 環境汚染物質が魚類に与える影響, 2. 農作物の品質特性に関わる研究, 3. 生分解性プラスチックの分解に関わる微生物叢の解析

2 論文

1. Xiao Yuan, Tomohiko Nakao, Hina Satone, Kazuyuki Ohara, Yuri Kominami, Miho Ito, Teruki Aizawa, Tomoya Ueno and Hideki Ushio. 共著. (コレスポンディングオーサー以外). The Effects of Brown Algae-Derived Monosaccharide L-Fucose on Lipid Metabolism in C57BL/6J Obese Mice. 原著論文. Nutrients. 2020; 12(12): 3789 (公開中)

3 学会等研究発表

1. 佐藤根妃奈, 伊藤崇浩, 岩崎泰永, 趙鉄軍. 新潟県での養液栽培におけるイチゴの生育, 収量および品質の品種間差異. 一般発表 (ポスター). 園芸学会 令和3年春季大会. ②. オンライン, 2021.3.27~3.28
2. 趙鉄軍, 佐藤根妃奈, 稲本俊彦, 伊藤崇浩, 居城幸夫, 浅野亮樹, 王政, 安藤聡, 上田浩史. 新潟県での異なる栽培方法におけるミニトマトの収量および品質の品種間差異. 一般発表 (ポスター). 園芸学会 令和3年春季大会. ②. オンライン, 2021.3.27~3.28
3. 伊藤崇浩, 佐藤根妃奈, 趙鉄軍. 新潟県におけるイチゴの高設栽培においてクラウン局所加温が生育に及ぼす影響の解析. 一般発表 (口頭). 日本農作業学会 2021年度春季大会. ②. オンライン, 2021.3.21~3.23

4 学会活動

1) 所属学会

公益社団法人 日本水産学会, 日本内分泌攪乱化学物質学会 (環境ホルモン学会), 日本環境毒性学会, 園芸学会

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

[科研費]

・2019年度, 基盤研究 (C), フグ毒結合タンパク質の構造と機能に関する研究 - フグ毒に対する生体防御機構 -, 研究分担者 (継続)

[民間グラント, 受託研究等]

・2020年度, 金沢大学環日本海域環境研究センター, 共同研究 (一般), 魚類における有害有機フッ素化合物の体内動態と解毒機構の解明, 研究代表者 (新規)

・2020年度, 学長裁量研究費, 水田における被覆肥料殻の実態調査およびその生分解に寄与する微生物叢の解析, 研究代表者 (新規)

6 学内委員会活動

FD・SD委員会 (委員), 環境整備委員会 (委員), 学食懇話会 WG (メンバー)

氏名：栗林 喬

1 研究題目

1. ユニークな香味を生成する新規醸造微生物の開発, 2. 自然界由来の酵母や乳酸菌を利用した醸造・発酵食品の開発, 3. 食品の安全性・信頼性を担保する分析技術の開発

2 論文

1. 畠山明, 渡邊陽介, 有本圭吾, 栗林喬, 原崇, 城斗志夫. 共著 (コレスポンディングオーサー). 蔵付き酵母分離への Loop-mediated Isothermal Amplification (LAMP) 法の利用と分離株の醸造特性. 原著論文. 日本醸造協会誌. 2020; 115(9): 527-544 (発刊済)
2. 長井隆, 鈴木利明, 星野敦, 栗林喬, 原崇, 城斗志夫. 共著. 上槽中における製成酒の香気成分および遊離脂肪酸の挙動. 原著論文. 日本醸造協会誌. 2020; 115(12): 768-776 (発刊済)
3. 小林和也, 渡辺悠介, 栗林喬, 早福和彦, 上村啓, 西脇俊和. 共著. 柿品種「平核無」由来のタンニン酸耐性 *Saccharomyces cerevisiae* の分離. 原著論文. 新潟県農業総合研究所研究報告. 2021; 第 18 号: 71-76 (発刊済)

3 学会等研究発表

1. 栗林喬, 畠山明, 浅野宏文, 古田悟, 原崇, 鈴木一史, 城斗志夫, 金桶光起, 小熊哲哉, 渡邊剛志. 新潟県内の清酒製造場における「蔵付き酵母」の分離とその醸造特性. 一般発表. 日本醸造学会大会. オンライン, 2021.10.21~10.27

4 学会活動

1) 所属学会

日本醸造学会, 日本生物工学会, 日本農芸化学会, 日本菌学会, 日本分析学会, 日本食品科学工学会

5 社会活動

1) 社会活動への参加・協力 (参加・協力先名称, 活動内容, 役割, 対象者, 活動地域, 活動日数の順に記載)

- ・(株)越銘醸, 清酒製造に関する技術相談, 杜氏・社員, 相手先, 2020.04.04_0.5 日
- ・(株)越銘醸, 清酒製造に関する技術相談, 杜氏・社員, 相手先, 2020.04.11_0.5 日
- ・金鶏盃酒造 (株), 清酒製造に関する技術相談, 杜氏・社員, 相手先, 2020.12.27_0.5 日
- ・新洋技研工業 (株), 清酒製造に関する技術相談, 社員, 相手先, 2020.12.28_0.5 日
- ・市島酒造 (株), 清酒製造に関する技術相談, 杜氏・社員, 相手先, 2020.02.14_0.5 日
- ・金鶏盃酒造 (株), 清酒製造に関する技術相談, 杜氏・社員, 相手先, 2020.03.05_0.5 日
- ・市島酒造 (株), 清酒製造に関する技術相談, 杜氏・社員, 相手先, 2020.03.22_0.5 日

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

[科研費]

- ・2020~2021, 研究活動スタート支援, 新規果実様香気を生成する醸造用酵母の実用化, 研究代表者 (新規)

2) 学長裁量研究費, 学長特別研究費

(1) 学長裁量研究費採択一覧表

	研究者名	所属学科	研究課題名
1	阿部憲一	食料産業学科	中山間地での減農薬・無化学肥料水稻栽培の探求および生産者への提案～中山間地帯集落における持続可能な稲作の在り方とは?～
2	荒木 肇	食料産業学科	胎内市で生産・加工・宅配を手掛ける青汁産業のマーケットイン視点での経営解析と将来予測
3	Llave Perez Yvan Antonio	食料産業学科	佐渡市南部地域と本学との, 果実の加工品を中心とする食と観光の開発における連携体制の構築
4	伊藤崇浩	食料産業学科	リビングマルチを利用したサツマイモの有機栽培技術の開発
5	伊藤崇浩	食料産業学科	La Potager du Tainai (胎内国際野菜園) の設立を目指して～国際交流が猿害・過疎化に苦しむ中山間地域を救う～
6	佐藤根妃奈	食料産業学科	水田における被覆肥料殻の実態調査およびその生分解に寄与する微生物叢の解析
7	趙 鉄軍	食料産業学科	イチゴにおける果皮の特性と品質保持に関わる研究
8	早川喜郎	食料産業学科	地域との連携による「マコモタケ」を活用した加工品の開発

(2) 学長特別研究費採択一覧表

	研究者名	所属学科	研究課題名	資金配分元
1	浅野亮樹	食料産業学科	廃水処理における硫酸化細菌の株レベルの群集構造解析による生育特性の決定	独立行政法人日本学術振興会 (科研費)
2	阿部憲一	食料産業学科	と畜・解体処理 (特に牛の背割り) の自動化・効率化に関する研究開発	公益財団法人伊藤記念財団
3	荒木 肇	食料産業学科	新潟地域におけるヨーロッパ野菜の生産に関する研究	ベジヨー・ジャパン株式会社
			緑肥導入体系における土壌微生物および小動物の動態と作物生産性	独立行政法人日本学術振興会 (科研費)
4	居城幸夫	食料産業学科	ナシ穂木の休眠特性と花芽接ぎ栽培での優位性の解明	新潟県農業総合研究所園芸研究センター
5	伊藤豊彰	食料産業学科	鐵鋼スラッグの農業利用に関する研究助成	鐵鋼スラッグ協会
6	栗林 喬	食料産業学科	新たな果実様香気を生成する醸造用酵母の開発と酒類製造への応用	独立行政法人日本学術振興会 (科研費)
7	趙 鉄軍	食料産業学科	東南アジアにおける水銀使用時による持続的環境汚染修復と健康被害回避に関する研究	独立行政法人日本学術振興会 (科研費)
8	中井 裕	食料産業学科	牛ルーメン液を用いたリグノセルロース分解促進材の開発とメタン発酵高効率化	国立研究開発法人科学技術振興機構
			機能性ルーメン微生物群集の高密度・コンパクト化による非食用バイオマスのメタン発酵	独立行政法人日本学術振興会 (科研費)
9	長島裕二	食料産業学科	フグ毒結合タンパク質の構造と機能に関する研究 - フグ毒に対する生体防御機構 -	独立行政法人日本学術振興会 (科研費)
10	西牧和也	食料産業学科	具現パターン選択と言語間相違の文法的位置付け: 競合理論的アプローチ	独立行政法人日本学術振興会 (科研費)
11	松村順二	食料産業学科	低コスト・省力化栽培による加工用おけさ柿の加工食品の開発	羽茂農業協同組合
12	山中 亮	食料産業学科	長距離走者のパフォーマンスにもたらすプリントトレーニングの効果の解明	独立行政法人日本学術振興会 (科研費)
13	横向慶子	食料産業学科	香辛料やベビーリーフ野菜の嗜好性と摂取タイミングが食後血糖値スパイクや生体調節機能に及ぼす影響	公益財団法人山崎香辛料振興財団
			有色大豆の商品化に関するマーケティング調査及び有色大豆を用いた加工品に関する研究	新潟市農林水産部新潟市農業活性化研究センター
14	吉岡俊人	食料産業学科	研究助成寄附金	福井県立大学

3) 外部資金の獲得

(1) 文部科学省 ((独) 日本学術振興会) 科学研究費助成事業採択一覧表

(金額単位：千円)

	採択年度 (西暦)	研究 代表者名	研究種目	研究課題名	金額 (直接経費+間接経費)
	終了年度 (西暦)				
1	2017 年度	中井 裕	基盤 (A)	機能性ルーメン微生物群集の高密度・コンパクト化による非食用バイオマスのメタン発酵	42,120
	2020 年度				
2	2018 年度	荒木 肇	基盤 (B)	緑肥導入体系における土壌微生物および小動物の動態と作物生産性	16,640
	2020 年度				
3	2018 年度	浅野亮樹	基盤 (C)	廃水処理における硫黄酸化細菌の株レベルの群集構造解析による生育特性の決定	4,420
	2020 年度				
4	2019 年度	長島裕二	基盤 (C)	フグ毒結合タンパク質の構造と機能に関する研究－フグ毒に対する生体防御機構－	4,420
	2021 年度				
5	2019 年度	山中 亮	若手	長距離走者のパフォーマンスにもたらずスプリントトレーニングの効果の解明	4,160
	2022 年度				
6	2020 年度	西牧和也	若手	具現パターン選択と言語間相違の文法的位置付け：競合理論的アプローチ	2,210
	2022 年度				
7	2020 年度	栗林 喬	研究活動 スタート 支援	新たな果実様香気を生成する醸造用酵母の開発と酒類製造への応用	2,860
	2021 年度				

(2) 厚生労働省科学研究費補助金採択一覧表

該当なし

(3) その他の外部資金獲得一覧表

(金額単位：千円)

	研究者名	所属学科	研究課題名	資金配分元	金額 (直接経費+間接経費)
1	阿部憲一	食料産業学科	と畜・解体処理 (特に牛の背割り) の自動化・効率化に関する研究開発	公益財団法人伊藤記念財団	3,200
2	荒木 肇	食料産業学科	新潟地域におけるヨーロッパ野菜の生産に関する研究	ベジヨー・ジャパン株式会社	200
3	居城幸夫	食料産業学科	ナシ穂木の休眠特性と花芽接ぎ栽培での優位性の解明	新潟県農業総合研究所園芸研究センター	350
4	伊藤豊彰	食料産業学科	鉄鋼スラグの農業利用に関する研究助成	鉄鋼スラグ協会	1,000
5	中井 裕	食料産業学科	牛ルーメン液を用いたリグノセルロース分解促進材の開発とメタン発酵高効率化	国立研究開発法人科学技術振興機構	3,655
6	松村順二	食料産業学科	低コスト・省力化栽培による加工用おけさ柿の加工食品の開発	羽茂農業協同組合	300
7	横向慶子	食料産業学科	香辛料やベビーリーフ野菜の嗜好性と摂取タイミングが食後血糖値スパイクや生体調節機能に及ぼす影響	公益財団法人山崎香辛料振興財団	1,000
8	横向慶子	食料産業学科	有色大豆の商品化に関するマーケティング調査及び有色大豆を用いた加工品に関する研究	新潟市農林水産部 新潟市農業活性化研究センター	1,000
9	吉岡俊人	食料産業学科	研究助成寄付金	福井県立大学	902

(4) 新潟県内国公立大学の科学研究費助成事業配分額一覧 (2020 年度)

【国公立】

(金額単位：千円)

	大 学 名	採択件数	配分額	教員一人当たり	
				採択件数	配分額
1	長岡技術科学大学	109	365,040	0.537	1,798
2	新潟大学	794	1,747,850	0.355	781
3	上越教育大学	45	81,510	0.328	595
4	新潟県立大学	26	40,560	0.299	466
5	新潟県立看護大学	20	20,410	0.385	393
6	長岡造形大学	4	6,630	0.087	144

【私立】

(金額単位：千円)

	大 学 名	採択件数	配分額	教員一人当たり	
				採択件数	配分額
1	新潟医療福祉大学	106	198,510	0.289	541
2	新潟工科大学	11	24,700	0.234	526
3	新潟食料農業大学	7	15,340	0.219	479
4	日本歯科大学新潟短期大学	2	4,810	0.133	321
5	事業創造大学院大学	2	4,810	0.125	301
6	新潟薬科大学	18	25,220	0.214	300
7	国際大学	10	10,920	0.270	295
8	新潟国際情報大学	7	7,150	0.159	163
9	長岡大学	1	3,120	0.045	142
10	長岡崇徳大学	3	2,860	0.125	119
11	敬和学園大学	4	3,120	0.129	101
12	新潟青陵大学	9	10,010	0.032	35
13	新潟経営大学	2	650	0.071	23
14	新潟リハビリテーション大学	1	520	0.030	16

※本表は日本学術振興会「研究者が所属する研究機関別採択件数・配分一覧 (令和 2 年度)」

https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/27_kdata/kohyo/r02_01.html を基に作成した。

※配分額は直接経費と間接経費の合計額である。

※本表は教員一人当たりの配分額の多い順に掲載した。なお、各大学の教員数 (学長除く) は、HP 上で公開されている情報より抽出した。

※教員一人当たりの採択件数は小数点以下第 4 位を、配分額は千円未満を四捨五入した。

8. 図書館

- 1) 蔵書数 ※1
- | | | | |
|---------|--------|---------|--------|
| 胎内キャンパス | 8,172冊 | 新潟キャンパス | 4,463冊 |
|---------|--------|---------|--------|
- 2) 年間受入冊数 ※1
- | | | | |
|---------|------|---------|---------|
| 胎内キャンパス | 143冊 | 新潟キャンパス | 401冊 ※2 |
|---------|------|---------|---------|
- 3) 利用状況
- | | | | | |
|----------|---------|----------|---------|----------|
| (1) 開館日数 | 胎内キャンパス | 225 日 | 新潟キャンパス | 205 日 |
| (2) 開館時間 | 胎内キャンパス | 1,759 時間 | 新潟キャンパス | 1,595 時間 |
| (3) 入館人数 | 胎内キャンパス | 2,156 人 | 新潟キャンパス | 286 人 |
| (4) 貸出冊数 | 胎内キャンパス | 461 冊 | 新潟キャンパス | 76 冊 |

4) データ推移

(1) 蔵書データ

	図書			視聴覚 資料	雑誌		
	蔵書数	和書	洋書		種数	和雑誌	洋雑誌
2018年	11,988	11,395	487	106	131	125	6
2019年	12,091	11,492	491	108	131	125	6
2020年	12,635	12,036	491	108	131	119	12 ※3

(2) 利用データ

	開館日数	入館者数	貸出冊数	複写依頼
	日	人	冊	件
2018年	222	5,162	126	24
2019年	227	5,039	685	35
2020年	225 ※4	2,442	537	15

※1 視聴覚資料数含む。

※2 寄贈図書数含む。

※3 電子ジャーナル含む。

※4 但し、コロナ対策として 4/24～10/6、1/7～1/15、3/22～3/31 の期間は、学生の利用については、貸出、文献複写を郵送対応とした（教職員は、事前連絡により利用可能とした）。

9. 学生関係

1) 収容定員

学部	学科	入学定員
食料産業学部	食料産業学科	180名

2) 入試広報活動

(1) オープンキャンパス等の開催

期 日	内 容	
3月19日(木)～4月12日(日)	第1回 Web オープンキャンパス	受験生・保護者等 66名参加
4月25日(土)	第1回オープンキャンパス	中止
4月29日(水)～5月10日(日)	第2回 Web オープンキャンパス	受験生・保護者等 51名参加
5月23日(土)	第2回オープンキャンパス	中止
5月30日(土)～6月14日(日)	第3回 Web オープンキャンパス	受験生・保護者等 72名参加
6月20日(土)	第3回オープンキャンパス	中止
6月27日(土)～7月12日(日)	第4回 Web オープンキャンパス	受験生・保護者等 60名参加
7月7日(火)	第1回高校教諭対象大学説明会【LIVE配信】	高等学校教諭 2校 2名参加
7月8日(水)～7月17日(金)	第1回高校教諭対象大学説明会【動画視聴型】	高等学校教諭 19校 20名参加
7月18日(土)	第1回夏のオープンキャンパス	受験生・保護者等 143名参加
8月7日(金)～8月23日(日)	第5回 Web オープンキャンパス	受験生・保護者等 56名参加
8月8日(土)	第2回夏のオープンキャンパス	受験生・保護者等 104名参加
8月10日(月)～8月14日(金)	個別オープンキャンパス	受験生・保護者等 31名参加
8月29日(土)	第3回夏のオープンキャンパス	受験生・保護者等 17名参加
8月31日(月)～9月4日(金)	オンライン模擬試験対策	受験生・保護者等 20名参加
9月1日(火)～9月18日(金)	第2回高校教諭対象大学説明会【動画視聴型】	高等学校教諭 5校 5名参加
9月5日(土)・6日(日)	アカデミックインターンシップ	受験生・保護者等 77名参加
9月12日(土)～9月27日(日)	第6回 Web オープンキャンパス	受験生・保護者等 33名参加
9月19日(土), 26日(土), 27日(日)	9月個別相談会	受験生・保護者等 5名参加
10月1日(木)	高校教諭対象大学説明会 胎内 C	高等学校教諭 2校 2名参加
10月3日(土)	第4回オープンキャンパス	受験生・保護者等 24名参加
10月9日(金)～10月25日(日)	第7回 Web オープンキャンパス	受験生・保護者等 13名参加
10月17日(土)～10月31日(土)	10月個別相談会	受験生・保護者等 5名参加
10月19日(月)～10月23日(金)	オンライン模擬試験対策	受験生・保護者等 19名参加
11月3日(火・祝)	第5回オープンキャンパス	受験生・保護者等 45名参加
11月13日(金)～11月29日(日)	第8回 Web オープンキャンパス	受験生・保護者等 17名参加
11月14日(土)	11月東京出張大学説明会	受験生・保護者等 23名参加
11月30日(月)～12月4日(金)	オンライン模擬試験対策	受験生・保護者等 6名参加
12月5日(土)	第6回オープンキャンパス	受験生・保護者等 38名参加
12月19日(土)	12月東京出張大学説明会	受験生・保護者等 2名参加
12月19日(土)～1月3日(日)	第9回 Web オープンキャンパス	受験生・保護者等 15名参加
1月16日(土)～1月31日(日)	第10回 Web オープンキャンパス	受験生・保護者等 20名参加
2月19日(金)～2月28日(日)	第11回 Web オープンキャンパス	受験生・保護者等 14名参加
3月13日(土)	春のオープンキャンパス	受験生・保護者等 42名参加
3月20日(土)～3月28日(日)	春の Web オープンキャンパス	受験生・保護者等 10名参加

(2) 進学相談会

進学相談会は、4月～3月にかけて新潟県、秋田県、宮城県、福島県、山形県、群馬県、栃木県、長野県、静岡県、東京都、の各都道府県において74会場で実施し、190名の参加があった。

(3) 高校ガイダンス・高校出張講義

高校ガイダンスは、4月～3月にかけて新潟県内・県外の延べ139校に参加し、670名の参加があった。また、本学教員による高校出張講義は、4月～3月にかけて新潟県内・県外の高校で延べ31講座を実施し、605名の参加があった。

3) 入学者選抜方法

(1) 食料産業学部 食料産業学科

入学 定員	選抜試験区分別募集人員											
	総合型選抜											
	主体性 重視型	地域 選抜型	スポーツ型					自己推薦型				
			A 日程	B 日程	C 日程	D 日程	E 日程	A 日程	B 日程	C 日程	D 日程	E 日程
180名	15名	10名	10名	15名	5名	若干名	若干名	若干名				

選抜試験区分別募集人員											
学校推薦型選抜								外国人留学生選抜			
公募制		専門・総合制		指定校制							
前期 日程	後期 日程	前期 日程	後期 日程	前期 日程	後期 日程	2次 募集	3次 募集	A 日程	B 日程	C 日程	D 日程
5名	若干名	5名	若干名	20名	5名	若干名	若干名	10名			

選抜試験区分別募集人員									
一般選抜			共通テスト利用利用入試					社会人 選抜	
前期 日程	中期 日程	後期 日程	A 日程	B 日程	C 日程	D 日程	E 日程		
40名	10名	10名	10名	5名	5名	若干名	若干名		若干名

4) 入学者選抜試験結果

(1) 1年次入学者選抜試験結果

学部	学科	入学 定員	志願 者数	志願 倍率	受験 者数	合格 者数	実質 倍率	入学 者数
食料産業学部	食料産業学科	180名	355名	2.0倍	346名	345名	1.0倍	166名

(注1) 合格者数は、正規合格者数を表記(繰上合格者は含まない)。

(注2) 実質倍率は、受験者数÷合格者数で算出。

(2) 3年次編入学選抜試験結果

学部	学科	入学 定員	志願 者数	志願 倍率	受験 者数	合格 者数	実質 倍率	入学 者数
食料産業学部	食料産業学科	若干名	4	-	4	4	-	4

5) 在籍学生数 (2021年3月31日現在)

(1) 学部 (人)

学部	学科	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
食料産業学部	食料産業学科	150	135	95	-	380
合計		150	135	95	-	380

6) 異動学生数 (2021年3月31日現在)

(1) 学部 (人)

学部	学科	学年	休学者	退学者	除籍者	復学者
食料産業学部	食料産業学科	1年生	1	6	0	0
		2年生	1	4	1	1
		3年生	0	1	0	0
		4年生	-	-	-	-
合計			2	11	1	1

7) 学生生活

(1) 学生生活に関する指導

学生委員会を中心に、新型コロナウイルス感染防止、交通安全、駐車マナー、学内駐車許可証の確認、大学敷地内禁煙等について指導を実施した。定期的に構内巡回を行い、学内での日常の学生生活状況の把握および生活指導に努めた。また、学内ポータルサイトを通じて、学外も含めた学生生活全般について注意喚起、指導を実施した。

- ① アパートでの一人暮らしにおける注意 …………… ゴミ出し、騒音、施設、駐輪、駐車
- ② 交通安全に関する注意 …………… 自動車、バイク、自転車、歩行、自動車、バイクの免許取得者へ注意
- ③ SNS の利用に関する注意 …………… プライバシー侵害や違法行為の発信、誹謗中傷など
- ④ 夜間の生活における注意 …………… 騒音、集会、花火、不審者、ストーカー行為
- ⑤ 違法薬物に関する注意 …………… 麻薬、覚醒剤、危険ドラッグ
- ⑥ 訪問販売・悪徳商法や宗教勧誘に関する注意 …… 勧誘、脅迫、怪しいセミナー
- ⑦ 夏季休暇に向けた注意 …………… 長期休暇の注意
- ⑧ 新型コロナウイルス感染防止の注意 …………… 来学、対面授業の際の注意
- ⑨ 特殊詐欺に関する注意 …………… 悪徳商法などの特殊詐欺に関する注意
- ⑩ 心肺蘇生法 (AED 含む) 講習 …………… 心肺蘇生法、AED の使用方法に関する動画配信
- ⑪ 夜道に関する注意 …………… 女子学生へ日暮れが早くなった夜道への注意
- ⑫ 雪道での交通安全講習 …………… 冬道 (雪道) の運転の講習
- ⑬ 年末年始休暇に向けた注意 …………… 年末年始休暇の注意
- ⑭ 春季休暇に向けた注意 …………… 長期休暇の注意

(2) オリエンテーション

新入生に対して、学生生活の諸注意や履修手続き、プレイスメントテスト受験等についての全体オリエンテーションを実施した。新型コロナウイルス感染防止のため、実施時期を2020年5月に変更し、さらに新入生を4グループに分け、感染症対策を徹底した上で実施した。2日目の午後に留学生に対しては別途留学生オリエンテーションも実施した。前期授業のほとんどがインターネットを利用した遠隔授業であったため、2020年10月に後期の対面式授業へ向けてのオリエンテーションを実施した。

また、新2年生、新3年生に対しては、後期の対面式授業が始まる前の2020年9月に、3年次への編入学生に対しては、2020年度が始まる前の2020年3月にそれぞれオリエンテーションを実施した。

新入生オリエンテーション

①日時……1 日目：2020 年 5 月 7 日（木） 午前 9：10～12：00 頃 午後 13：10～16：00 頃

2 日目：2020 年 5 月 8 日（金） 午前 9：10～12：00 頃 午後 13：10～16：00 頃

留学生オリエンテーション：上記 2 日目の午後、全体オリエンテーション終了後 17：00 頃まで

②会場……新潟食料農業大学 胎内キャンパス J 棟 201 講義室

③スケジュール

1 日目（午前）スケジュール

時 間	項 目	担 当	内 容・備 考
9：10～9：15	学部長挨拶	中井学部長	
9：15～9：30	書類回収 学生証配布	学務課	書類回収・学生証配布
9：30～9：35	総務課からの説明	総務課	施設、スクールバス説明
9：35～9：55	学務課からの説明	学務課学生係	学生生活、奨学金について
9：55～10：25	学務課からの説明	学務課教務係	授業や履修登録、学内ポータルサイトについて
10：25～10：35	休 憩		
10：35～11：20	PC 設定について	フードコース 阿部先生	PC 設定、学内ポータルサイト設定について
11：20～12：00	遠隔授業について	フードコース 阿部先生	遠隔授業の受け方、 Microsoft Teams の設定確認 等

1 日目（午後）スケジュール

時 間	項 目	担 当	内 容・備 考
13：10～13：15	学部長挨拶	中井学部長	
13：15～13：30	書類回収 学生証配布	学務課	書類回収・学生証配布
13：30～13：35	総務課からの説明	総務課	施設、スクールバス説明
13：35～13：55	学務課からの説明	学務課学生係	学生生活、奨学金について
13：55～14：25	学務課からの説明	学務課教務係	授業や履修登録、学内ポータルサイトについて
14：25～14：35	休 憩		
14：35～15：20	PC 設定について	フードコース 阿部先生	PC 設定、学内ポータルサイト設定について
15：20～16：00	遠隔授業について	フードコース 阿部先生	遠隔授業の受け方、 Microsoft Teams の設定確認 等

2 日目（午前）スケジュール

時 間	項 目	担 当	内 容・備 考
9：10～9：15	学部長挨拶	中井学部長	
9：15～9：30	書類回収 学生証配布	学務課	書類回収・学生証配布
9：30～9：35	総務課からの説明	総務課	施設、スクールバス説明
9：35～9：55	学務課からの説明	学務課学生係	学生生活、奨学金について
9：55～10：25	学務課からの説明	学務課教務係	授業や履修登録、学内ポータルサイトについて
10：25～10：35	休 憩		
10：35～11：20	PC 設定について	フードコース 阿部先生	PC 設定、学内ポータルサイト設定について
11：20～12：00	遠隔授業について	フードコース 阿部先生	遠隔授業の受け方、 Microsoft Teams の設定確認 等

2 日目（午後）スケジュール（留学生オリエンテーションも実施）

時 間	項 目	担 当	内 容・備 考
13：10～13：15	学部長挨拶	中井学部長	
13：15～13：30	書類回収 学生証配布	学務課	書類回収・学生証配布
13：30～13：35	総務課からの説明	総務課	施設，スクールバス説明
13：35～13：55	学務課からの説明	学務課学生係	学生生活，奨学金について
13：55～14：25	学務課からの説明	学務課教務係	授業や履修登録，学内ポータルサイトについて
14：25～14：35	休 憩		
14：35～15：20	PC 設定について	フードコース 阿部先生	PC 設定，学内ポータルサイト設定について
15：20～16：00	遠隔授業について	フードコース 阿部先生	遠隔授業の受け方， Microsoft Teams の設定確認 等
16：00～16：10	休 憩		
16：10～17：10	留学生 オリエンテーション	学務課学生係	授業への出席，ビザ更新について 等

1 年生（後期）オリエンテーション

①日時……2020 年 10 月 7 日（水） 13：10～14：50

②会場……新潟食料農業大学 胎内キャンパス F 棟 102 大講義室，J 棟 201 講義室
学生を 2 教室に分け，説明時間をずらして対面式で実施

③内容

1. 学長講話
2. 副学長挨拶
3. 教務委員会からの連絡
4. 学生委員会からの連絡
5. 教員紹介
6. 施設，スクールバス利用等感染症防止ガイドライン説明

2 年生（後期）オリエンテーション

2 年生全員を対象として 9 月 28 日（月）に遠隔で実施した

3 年生（後期）オリエンテーション（コース毎に実施）

アグリコース 9 月 23 日，フードコース 9 月 24 日，ビジネスコース 9 月 28 日に，それぞれ遠隔で実施した。

編入学生オリエンテーション（3 年次編入生対象）

①日時……2020 年 3 月 25 日（水） 9：10～12：00

②会場……新潟食料農業大学 胎内キャンパス J 棟 201 講義室

③内容

1. コース長挨拶
2. 本学修得科目及び単位数確認
3. カリキュラム説明（Campus Guide 中心）
4. 時間割説明
5. 履修指導

(3) 健康診断

学校保健安全法に基づき、すべての学生が安心・安全で充実した学生生活を送ることができるよう、学生生活への支援の一環として、10月12日(月)、10月13日(火)、10月14日(水)に新潟食料農業大学の学生定期健康診断を実施した。なお、本学の学生定期健康診断(結核定期健康診断)は新潟市結核予防費補助金事業に基づく補助金の交付を受けて実施した。

(4) 心理相談

臨床心理士(女性)による心理相談を週1回行っている。相談室は前期C棟104、後期J棟103で開室している。

①相談日……木曜日 午前11時00分～午後2時00分

②相談員……臨床心理士

③相談件数……23件(前期19件、後期4件)

(5) 奨学金制度(2021年3月31日現在)

主な奨学金制度として、本学独自の奨学金制度および日本学生支援機構の奨学金制度がある。2020年度の実績は次の通り。

①本学独自の奨学金制度(給付型)

名称	新潟食料農業大学奨学金制度	新潟食料農業大学学資融資奨学金制度
制度内容	対象者に奨学金を給付する	教育ローンの利子相当額を給付する
出願資格	経済的理由により修学が困難であり、かつ成績が優秀な学生	経済的理由により修学が困難である学生
採用人数	10名(2年次～4年次)	10名を上限(毎年審査の上決定)
給付金額	(年額)25万円	(年額)各自が利用している教育ローンの今年度利子相当額
選考方法等	書類審査及び面接	書類審査及び面接
募集時期	9月頃(予定)	9月頃(予定)

2020年度採用実績

学年	新潟食料農業大学奨学金	新潟食料農業大学学資融資奨学金	合計
2年生	3件	0件	3件
3年生	3件	0件	3件
合計	6件	0件	6件

②日本学生支援機構(給付型)

(原則)返還の義務なし

学年	給付型奨学金	合計
1年生	10件	10件
2年生	13件	13件
3年生	6件	6件
合計	29件	29件

③日本学生支援機構（貸与型）第一種奨学金・・・無利子

第二種奨学金・・・有利子（年利率 3% を上限とする変動制）

学 年	第一種奨学金	第二種奨学金	合 計
1 年生	18 件	42 件	60 件
2 年生	22 件	31 件	53 件
3 年生	12 件	22 件	34 件
合 計	52 件	95 件	147 件

(6) 学友会

本会は、文化活動、スポーツ活動並びに地域活動を通じて、学生相互の親睦、資質の向上及び健康の増進を図り、明るい学園生活の発展に寄与することを目的として組織している。定期総会を開催し、予算、決算、その他重要事項を審議した。また、学友会が中心となり大学祭（橙和祭）及び新入生向けクラブ・サークル紹介行事の運営を行った。

①顧問

山中 亮 食料産業学科 講師

佐藤 雄太郎 事務局 学務課

須貝 沙織 事務局 学務課

②役員

会 長……西森 涼太……食料産業学科

副会長……飛田 惟織……食料産業学科

会 計……野口 嶺音……食料産業学科

(7) 大学祭

学友会主催による第 3 回大学祭「橙和祭」を 11 月 8 日（日）に開催した。コロナ禍のため、参加者は在學生に限定し、学年を超えた交流を図り、新たな視点・可能性を生み出すきっかけとすることを目的とした。実施内容は学生交流会（バレーボール）、バンド演奏・仮装コンテスト（動画配信）で例年とは異なっていたものの、盛況な雰囲気であった。

(8) クラブ活動

指定強化部 3 団体（※）、活動支援クラブ 3 団体

	クラブ名	代表学生名	顧問名
1	自転車競技部※	多田 雄飛	中井 裕・山口 英生・中井 琢
2	男子ラグビー部※	石川 智也	斎藤 順・谷崎 重幸
3	柔道部※	佐藤 葵	居城 幸夫・星野 力
4	陸上競技部	森 崇智	山中 亮
5	卓球部	稲村 海人	伊藤 豊彰
6	バドミントン部	横山 諒	伊藤 崇浩

(9) 学生表彰

該当者なし

学校法人 新潟総合学園
新潟食料農業大学年報

2020（令和2）年度

発行日 2022年3月20日

編集・発行 新潟食料農業大学
〒959-2702 新潟県胎内市平根台 2416
TEL：0254-28-9855
FAX：0254-28-9856
URL：<https://www.nafu.ac.jp>

制作 株式会社ウイザップ